SHOGAKUKAN

悲劇の改革者

史記

横山光輝

3

CHINESE HISTORY[SHIKI]

MITSUTERU YOKOYAMA PRESENTS

BIG GOLD COMICS

BIG GOLD COMICS

史記 3

横山光輝 MITSUTERU YOKOYAMA PRESENTS CHINESE HISTORY SHIKI

小学館

9784091890436

ISBN4-09-189043-1

C0379 P670E

19103790067 03

定価670円
(本体650円)

BIG GOLD COMICS

CHINESE HISTORY[SHIKI]

ビッグゴールド・コミックス

史記①～③……横山光輝
妖怪博士の朝食①～②……水木しげる
平成野球草子①～②……水島新司
ケースハード①～②……松本零士
アトンの娘①～②……里中満智子
博愛の人①～②……ジョージ秋山
迷路のない町……齋藤なずな
紅にほふ①……竹宮恵子

黄河の神に生贄の娘を捧げるという迷信を打破し、民衆の生活のために灌漑工事を敢行した魏の官僚・西門豹!!
楚の法体系を改め、強国とした、流浪の兵法家・呉起!!
孫子の兵法の創始者といわれる孫武と孫臏の〝勝つための条件〟とは!?
法治国家への改革を断行し、秦を強国へと導いたが、自らの作った法体系によって処刑された商鞅!!
『ビッグゴールド』誌で人気連載中の横山『史記』いよいよ第3巻!!

横山光輝

MITSUTERU YOKOYAMA PROFILE

昭和29年に「音無しの剣」でデビュー。「鉄人28号」「おてんば天使」「伊賀の影丸」等で不動の地位を確立する。昭和42年より「水滸伝」を連載、さらに昭和46年からライフワークともいえる「三国志」の連載を開始する。「バビル2世」「時の行者」等、SFの傑作も多い。「史記」は、古代中国史全体を見極めようとする新しいライフワークだ。

SHOGAKUKAN

悲劇の改革者

史記

横山光輝

3

BIG GOLD COMICS

BIG GOLD COMICS

史記 3

横山光輝 MITSUTERU YOKOYAMA PRESENTS/CHINESE HISTORY[SHIKI]

小学館

BIG GOLD COMICS

CHINESE HISTORY[SHIKI]

SHOGAKUKAN

覇者への道

史記

横山光輝

③

BIG GOLD COMICS

史記〈3〉悲劇の改革者 目次

CHINESE HISTORY [SHIKI]

MITSUTERU YOKOYAMA PRESENTS

第1話 因習打波……5

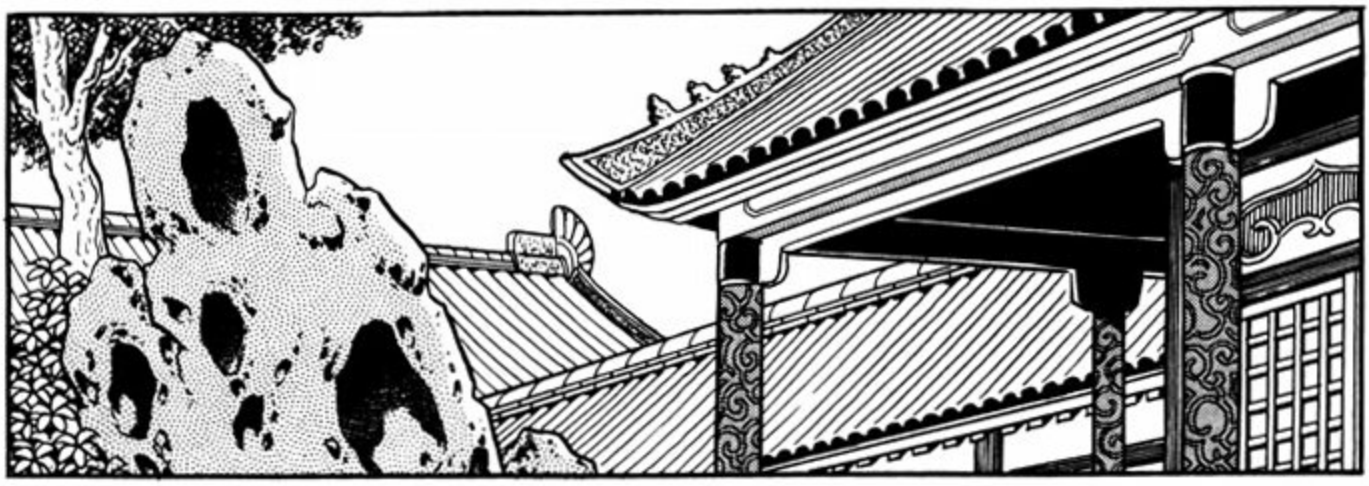
第2話 改革者の悲劇……35

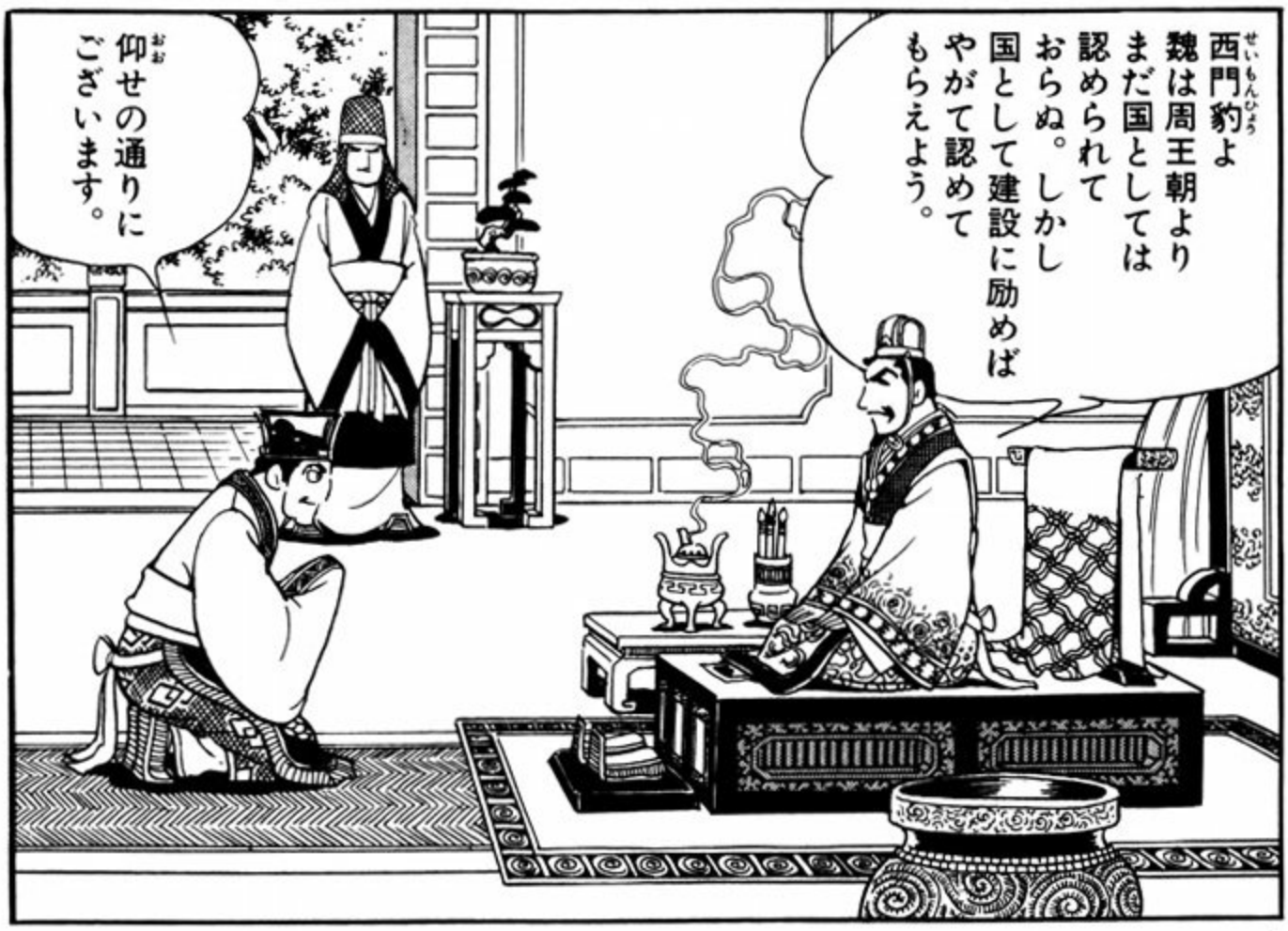
第3話 孫子の兵法……105

第4話 業因強国策……193

第1話
因習打破

※大夫＝世継になれぬ公子や功臣が領地をもらって大夫となった。




西門豹よ魏は周王朝よりまだ国としては認められておらぬ。しかし国として建設に励めばやがて認めてもらえよう。
仰せの通りにございます。

3

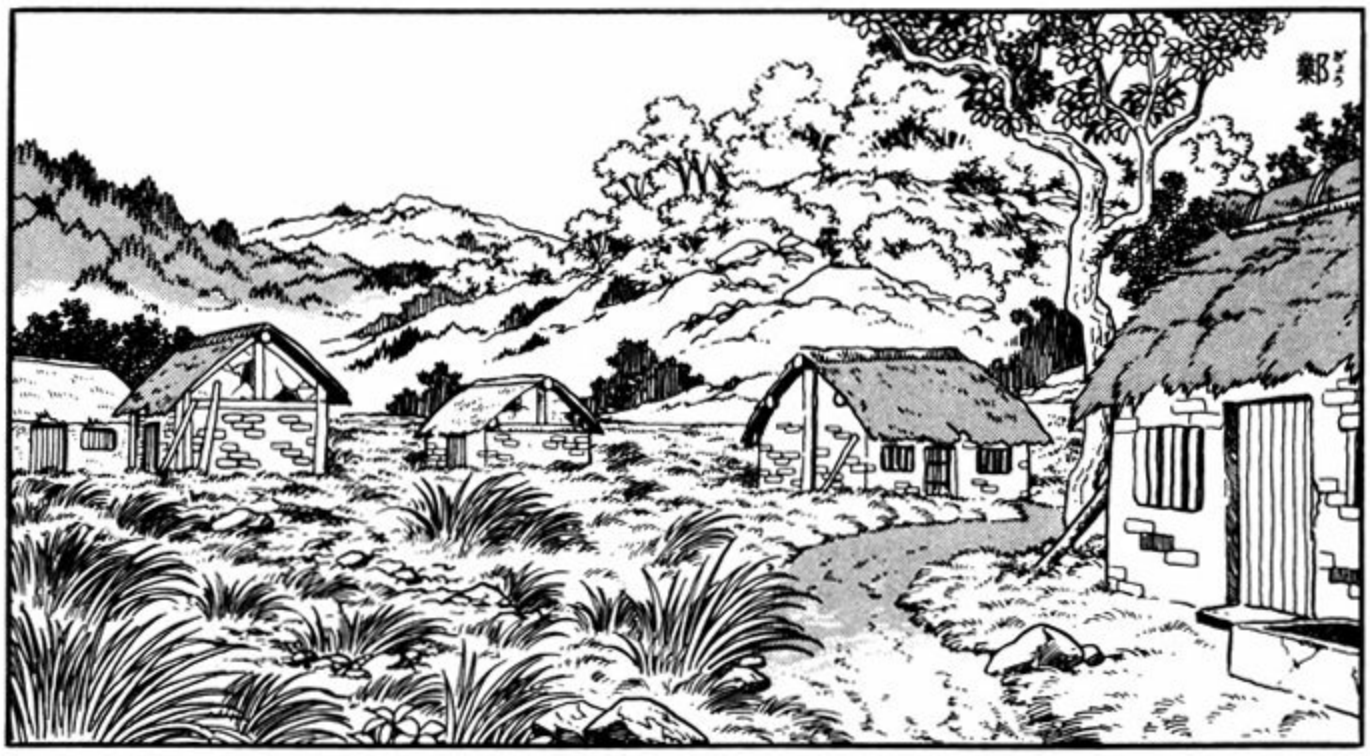
ところで、わが国の東部にある鄴を中心とする河内地方の荒廃ぶりがひどい。鄴は趙・斉・衛の諸国と国境を接する重要な地じゃ。

その荒廃の原因を調べた結果、たび重なる黄河の氾濫と地元有力者のあくどい搾取によるものとわかった。

よって、その鄴を立て直すためにそちを鄴の県令(県の長官)に任命する。農耕を盛んにし悪徳有力者を排除し人民を安んじよ。
ははーっ。

4

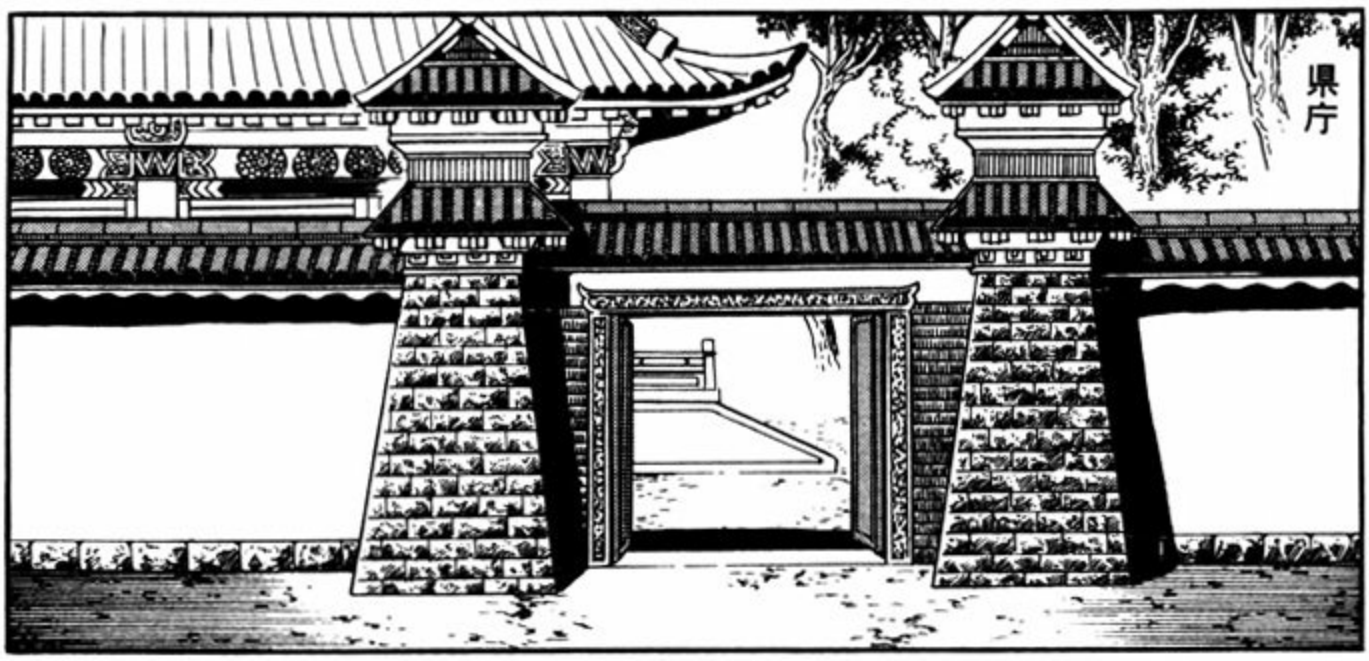
西門豹も魏の文侯に俸禄でもって召し抱えられた官僚の一人であった。

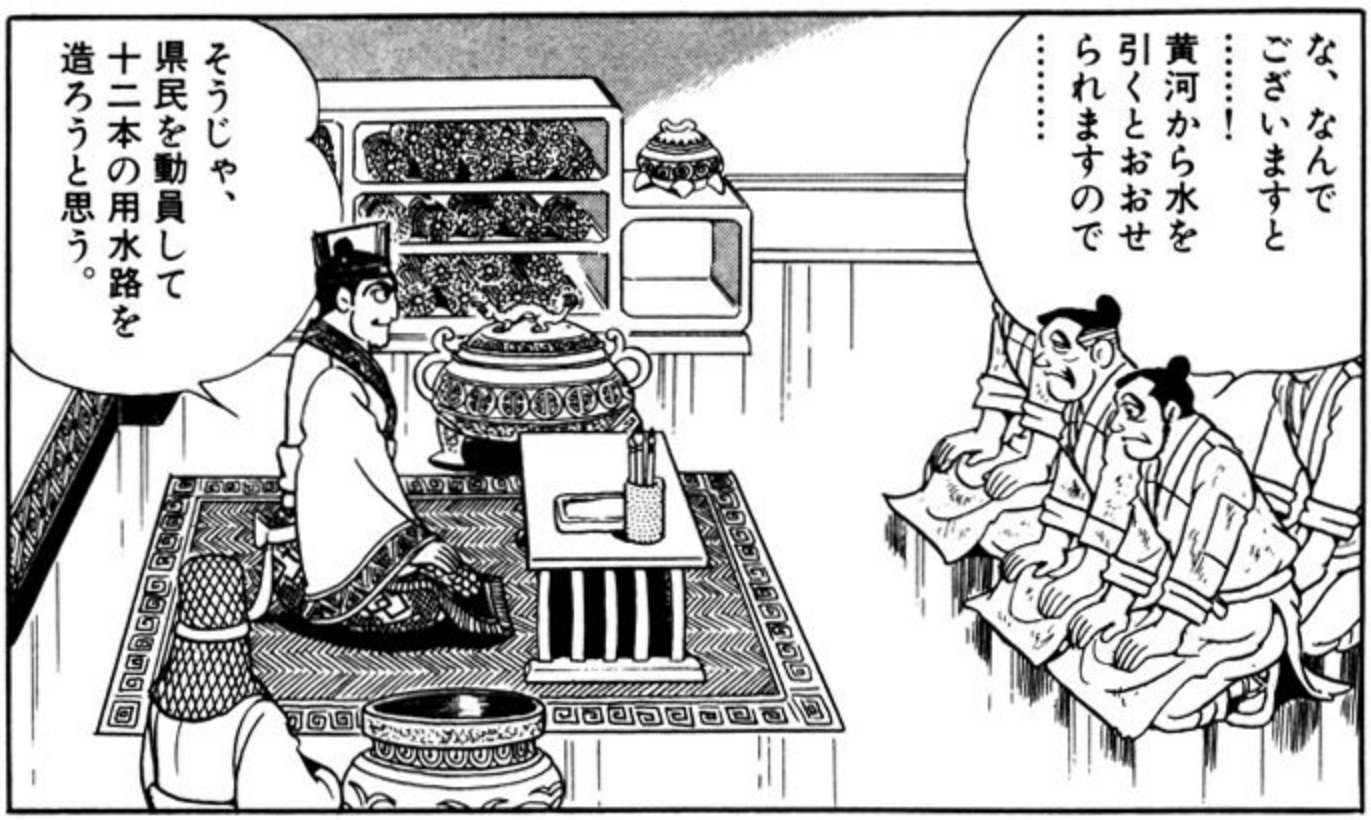


5

この黄河から用水路を引けば農地は一挙に拡大する。

6


県庁


な、なんでございますと……！黄河から水を引くとおおせられますので……
そうじゃ、県民を動員して十二本の用水路を造ろうと思う。

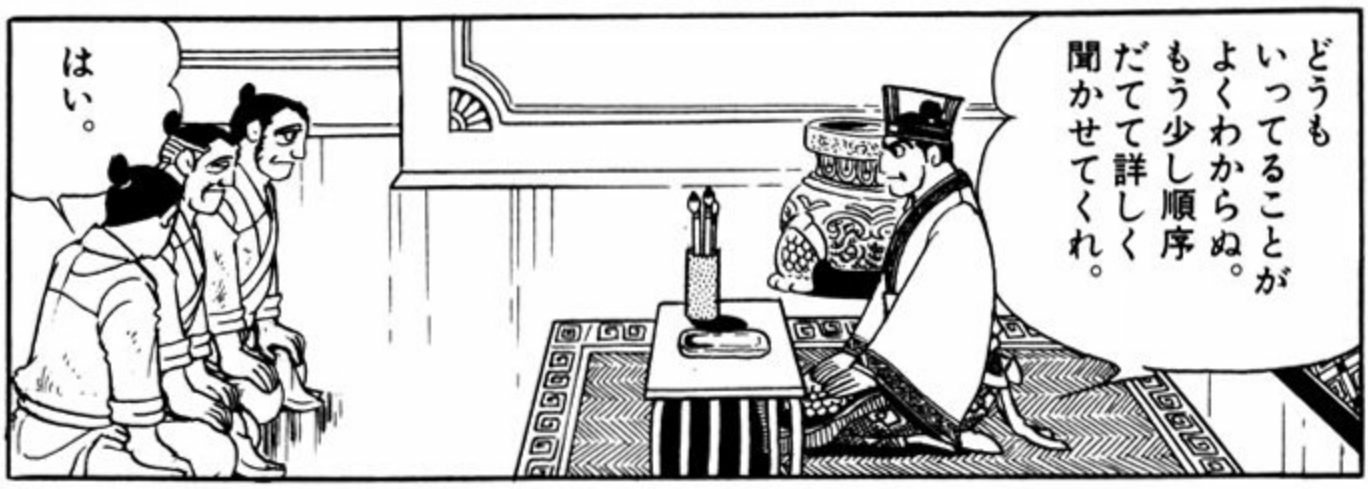
ブルルル、そんなこと誰も応じませぬ。

どうしてだ……？

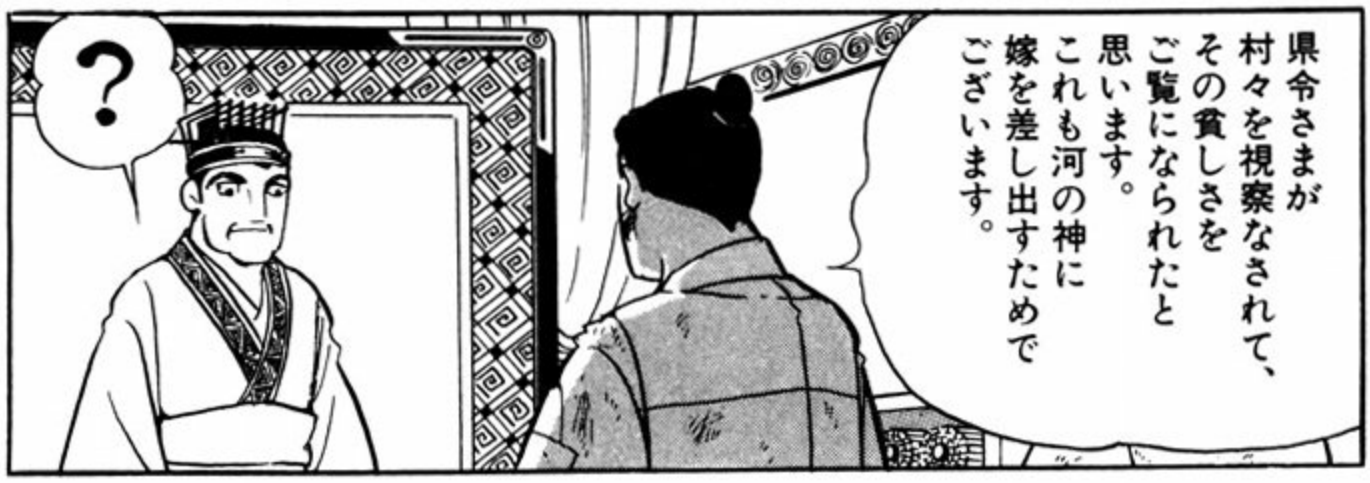
黄河には神様が住んでおられます。そんなことをすれば神様はたちまちお怒りになり河を氾濫させてしまいます。
ほう、河に神様がいるのか……

それがため、毎年若い娘を一人神に差し出しておりまする。

?


どうもいってることがよくわからぬ。もう少し順序だてて詳しく聞かせてくれ。
はい。

8


県令さまが村々を視察なされて、その貧しさをご覧になられたと思います。これも河の神に嫁を差し出すためでございます。
?

※三老＝土地の長老の中から選ばれ、地方の教化をつかさどる職。

おい、正直に申しあげろ！
そ、そうか……

実は残りの金は三老と巫女とお役人が山分けにするそうにございます。

な、なにっ!?

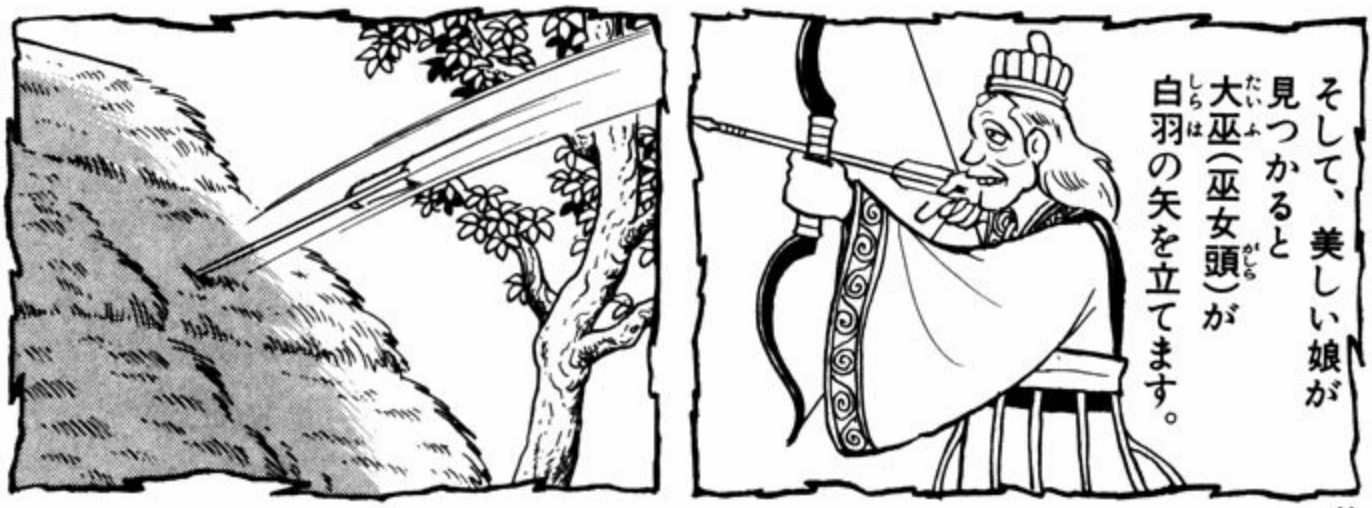
それで誰も不平をいわぬのか……!?
でも、みんな土地の有力者ですしお役人ですから……

五十万銭あれば死刑もまぬがれるというのに、それを毎年とは……県が荒廃するわけだ……

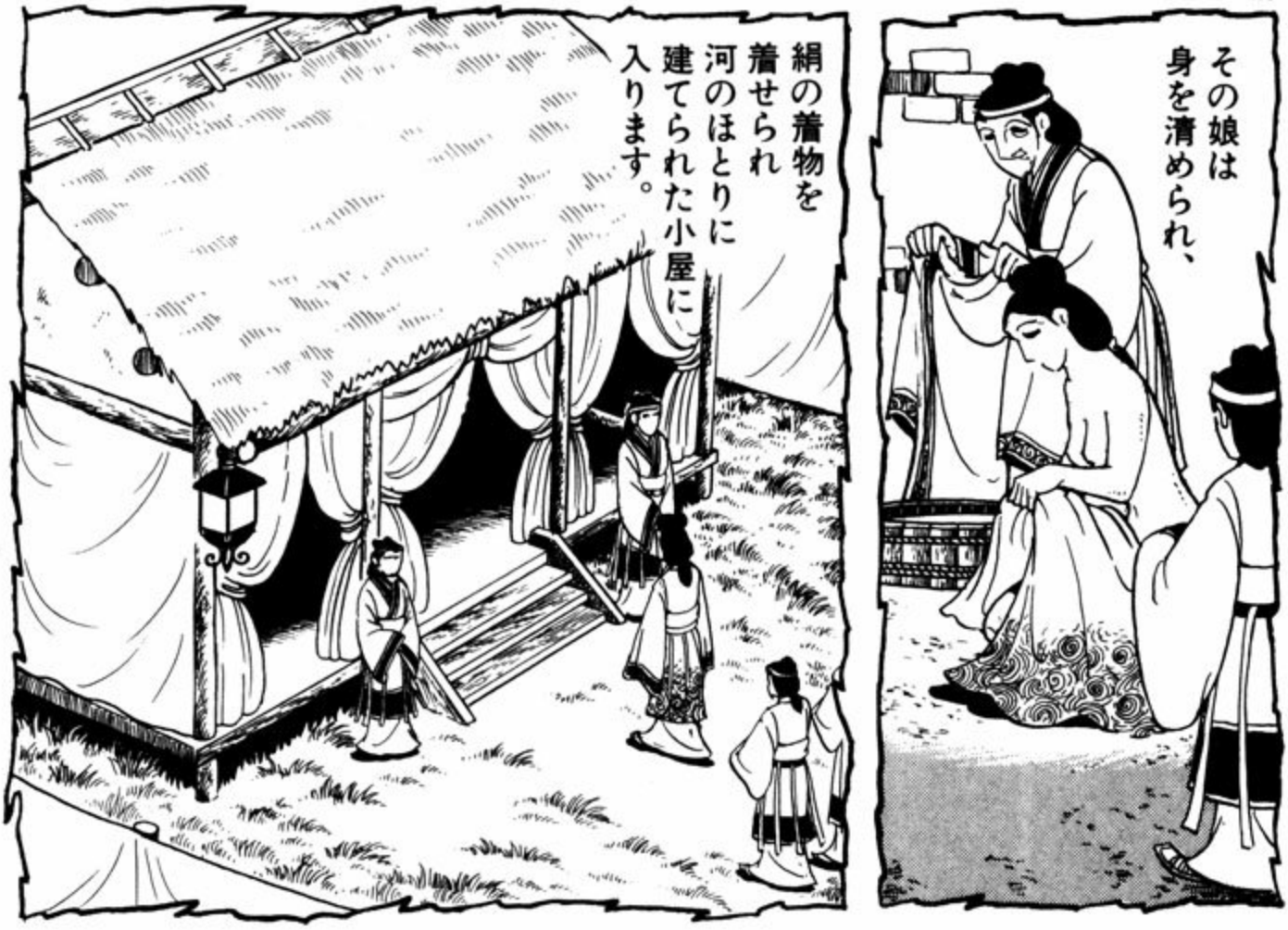
10

それで河の神に嫁がせる娘は誰が決めるのじゃ。
それは巫女にございます。

毎年、その時期になりますと巫女が村々をまわり美しい娘を捜します。


そして、美しい娘が見つかると大巫(巫女頭)が白羽の矢を立てます。

11


その娘は身を清められ、
絹の着物を着せられ河のほとりに建てられた小屋に入ります。

そして牛肉、
酒、飯を供えます。

十日たちますと
いよいよ嫁入りです。
嫁にする娘を
飾りたて

花嫁の輿(こし)にのせ

12

そのまま
河に流します。

やがて輿は
河に沈んでいきます。
これで河の神への
嫁入りは終わる
のです。

13

それゆえ県令さまが黄河から水を引くなど……誰も神を恐れて協力いたしませぬ。

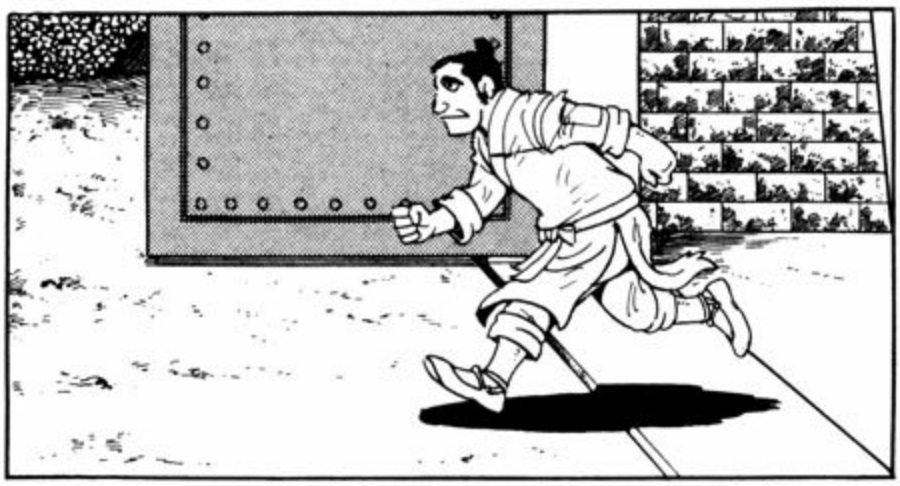
なるほどよくわかった。

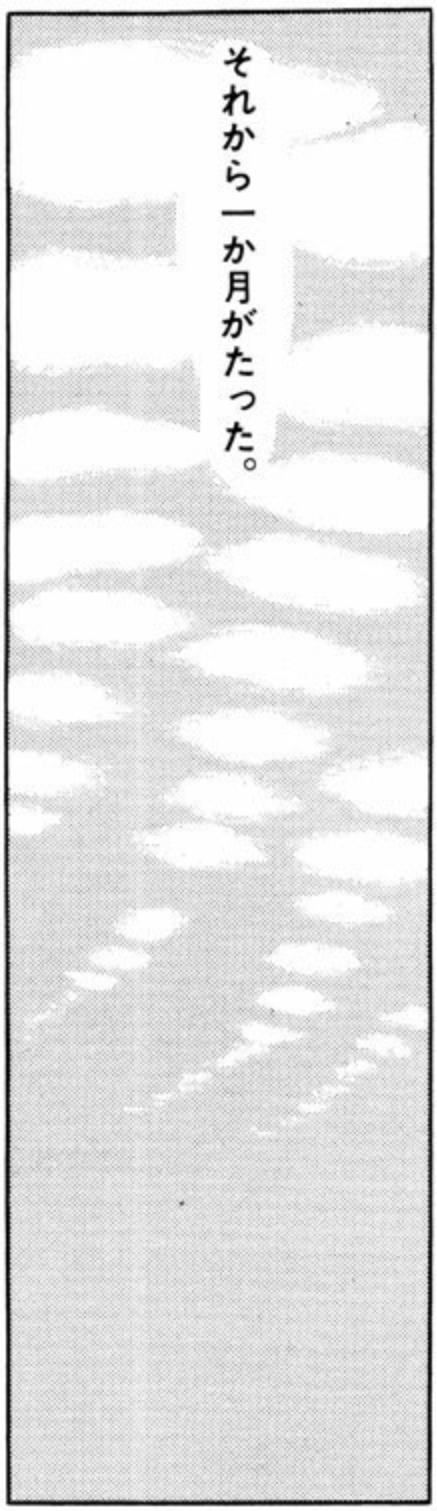
いやあ、ここに着任してまだ日も浅い、そういう習慣があるとは知らなかった。その婚礼の儀式の日が来たら教えてくれ。

はい、あと一か月ほどでございます。その日が来ましたらお知らせいたします。

14

ふうむ、その迷信を打ち破らねば用水路などとても造れぬ。



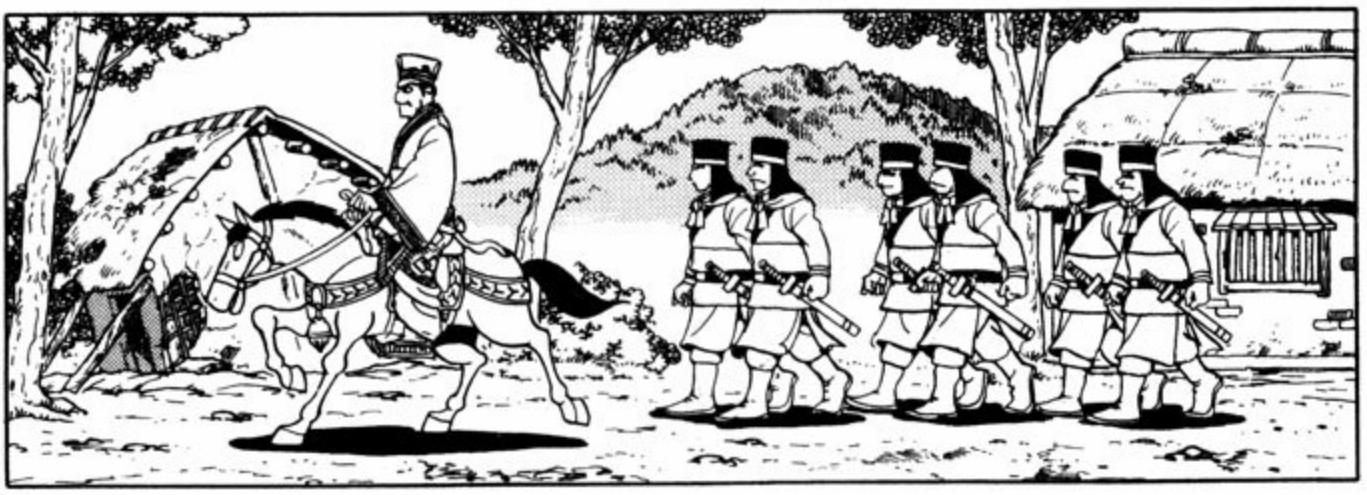

それから一か月がたった。

申しあげます。河の神の花嫁が決まりましてございます。儀式は今日から始まります。

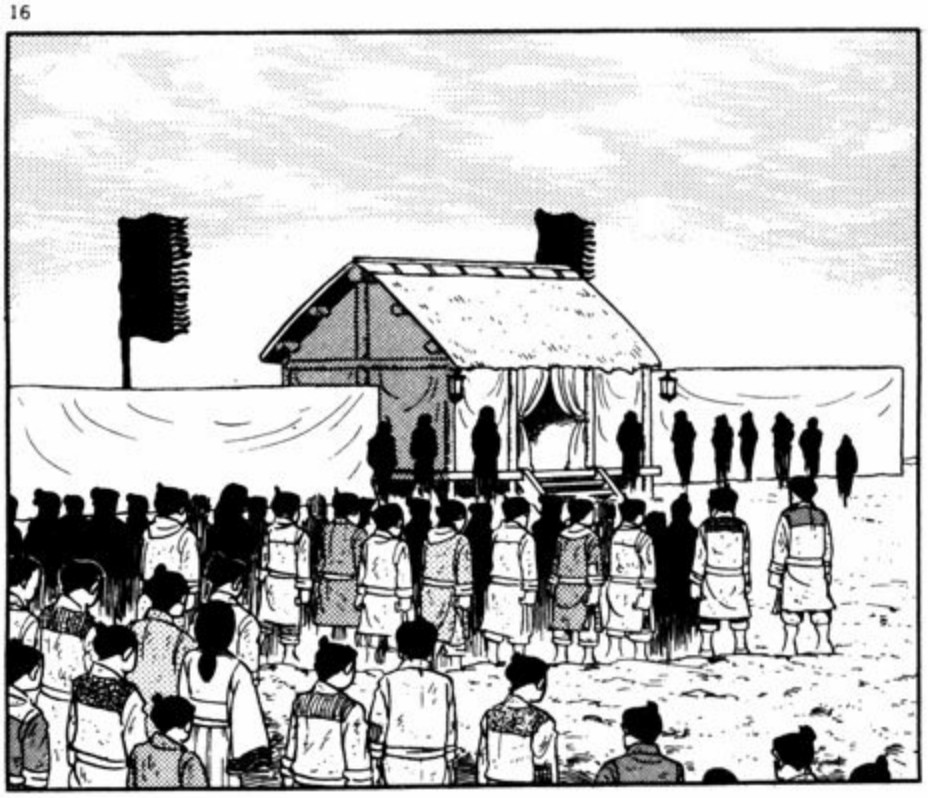
15

よし、河の神に礼を失せぬようこの目で確かめる。

その方達、
わしの命じたことは
忠実に実行せよ。
命令にさからう者は
打ち首とする。



16



17

なにっ、これが美人だと……？

大巫……
はい。

その方、河の神に伝えに行ってくれ。もっといい娘を送りますゆえしばらくお待ちください…とな。

18

大巫を河の神のもとへお送りせよ。

は、はい。

ひーっ!!

ヒエーッ

ザバ
ン

あ…
あわ……

おかしいのう。
いっこうに戻って
参らぬ。

よし、
大巫の弟子よ、
そちが
迎えに行ってくれ。

ひーっ！

ドボン

おかしい。弟子も戻って参らぬ。また迎えを出さねば……

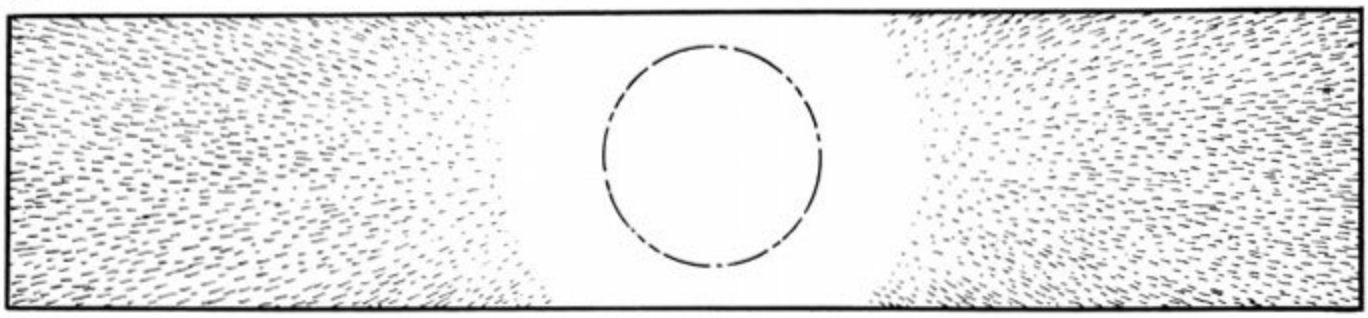
よし、こんどは二人にしてみよう。
ひーっ！

いやいや……

ヒィィ

20

ザブ
ザブ



遅い！女では話がまとまらぬのかのう……

三老よ。

ひぇーっ！

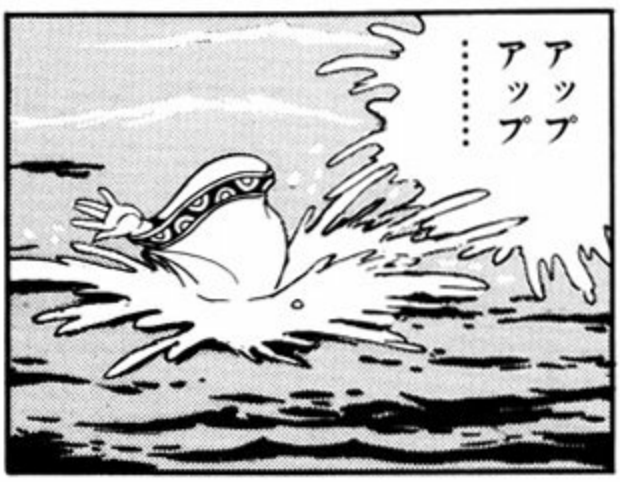
巫女では話が通じぬらしい。そち達に行ってもらおう。

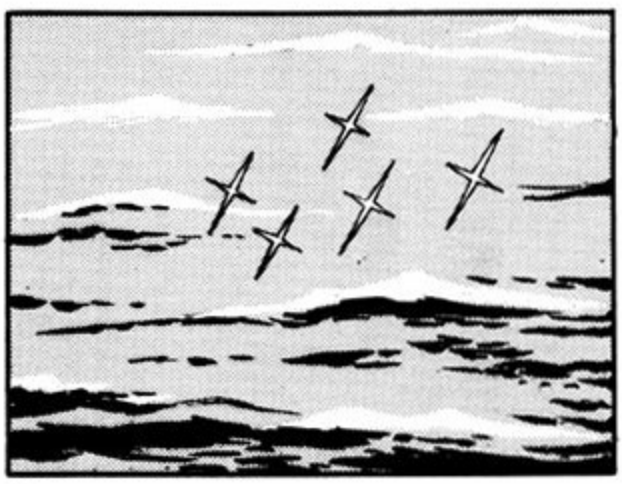
ワワワ……

21

なにを震えている。おまえ達は河の神と親しいのであろう。おまえ達ならば話は通じよう。うまくまとめて参れ!!

わあぁ！


アップ
アップ
……



22

どうしたんだろう。三老も帰って来ぬぞ。

やはりまた迎えを出さねばならぬ。残っている者で河の神の信頼の厚いものといえば……

この儀式を執り行なうため多額の税金を集めた役人じゃな……

ひーっ！

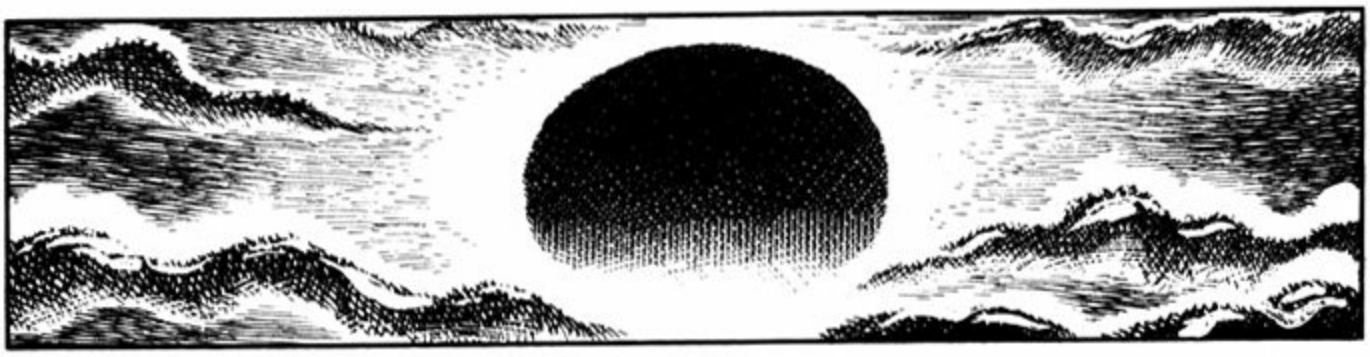
お許しくださいませ。
なにとぞお助けくださりませ。
なぜじゃ……？

この儀式を行なうために毎年、数百万銭の金を集めたおまえ達じゃ。河の神もよく尽したと褒めてくれるであろう。

23

な、なにとぞその使いはお許しくださりませ。

ふーん、ではもう少し待ってみるか……

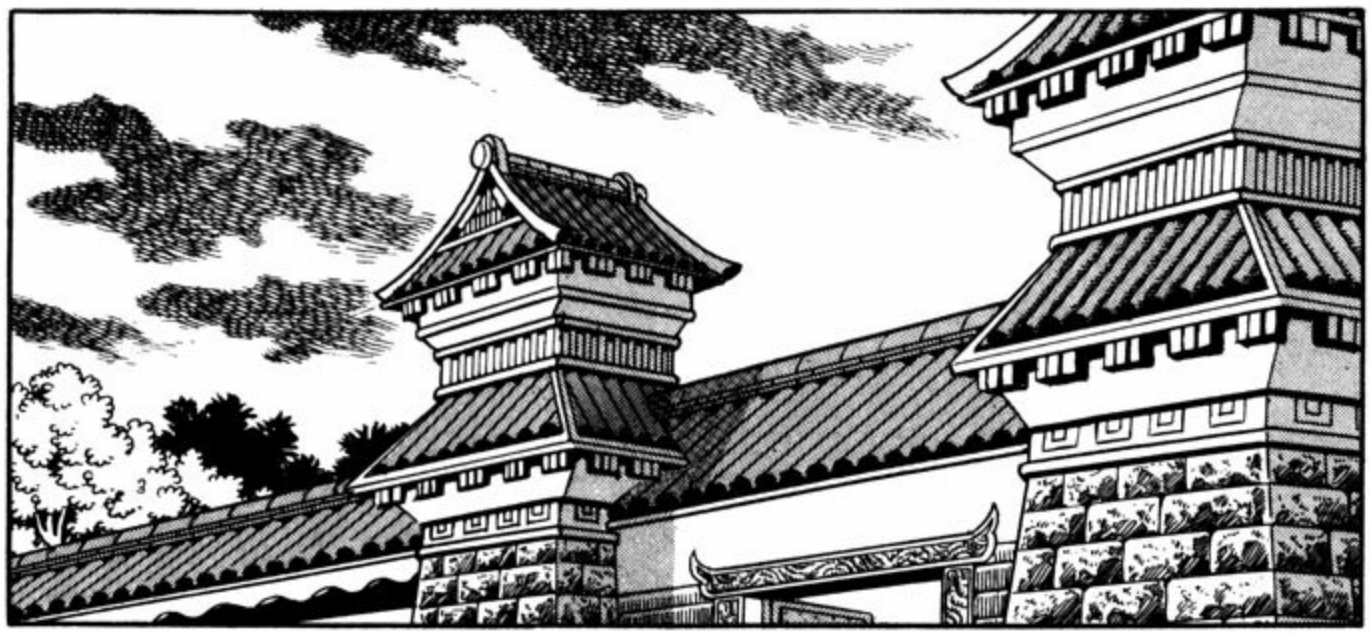


みなの者、立つがよい！

河の神は客を歓迎して帰さぬようだ。みな、もう帰ってよい。

24

鄭の役人も村人達も度肝をぬかれ、その後 誰も河の神に嫁を差し出そうとはいわなくなった。西門豹はこうして迷信を一掃した。



その方達長老を呼んだのはほかでもない。村から働き手を出してもらいたい。
はァ……

25

十二本の用水路を造り黄河より水を引く。

村の人口によって人数が割当てである。しかと守れ。

これが割当て表です。

十二本の用水路なんて大事業じゃ。
なんで用水路など造るんじゃ。今のままで充分食べていけるがのう。

26

人々は嫌がったが、お上の命令とあれば逆らえなかった。ただちに県民は動員され……

工事が始められた。

27

不平をゆう者には
いわせておけ。
その者達は先を
見通す目がない。

その者達に
政策をわからせる
必要もない。
結果が彼等の
ためになれば
よいのだ。

28

そうよのう。
わしのこの仕事が
人々に感謝
されるのは
百年後
かもしれぬ。
でも、きっと評価
されよう。

やがて鄴の農業は大きく
発展した。魏の国力は
日増しに増大し戦国の
強国としてのしあがった。
一片の情もはさまずに
仕事をする官僚は
この頃から脚光をあび
はじめた。
前四〇三年、周王朝は
魏を認め、諸侯の列に
加えた。

29

第２話

改革者の悲劇

——戦国時代初期——
孫子と並び称される
兵法家がいた。
呉起(ごき)である。
兵法書「呉子(ごし)」を記し
「孫・呉の兵法」と
高く評価された。

2

〈戦国時代　初期の中国〉

呉起は衛の生まれで
家は裕福であった。

彼は世に出て
名を成したいと考え
諸国を旅して
仕官の口を求めた。

しかし、無名の呉起に
おいそれと仕官の口は
かからなかった。

呉起は
財産を使い果し
仕官をあきらめて
衛の町に帰って来た。

母上、
申し訳ありませぬ。
仕官も出来ず
家まで潰して
どうお詫びして
よいか……

運がなかったのです
仕方がありません。
でも いずれおまえの
才能に気づく人も
現われましょう。
貧しても志だけは
忘れずにのう。

4

母は理解を示したが
町の人々は呉起を
笑い者とした。

見ろよ、親不孝者が大きな顔をして歩いているぜ。
まったく馬鹿な男だ。名声を得るために家を潰し、母親を飢えさせているんだからな。

身分不相応な夢を見るからこういうことになるんだ。

へへへ、いったい何様になるつもりだったのかのう。

もともと呉起は名誉に非常に敏感な人間であった。笑い者にされるのは耐えられなかった。

※尾羽打ち枯らす＝タカの尾や羽根が傷ついてみすぼらしい様子から、落ちぶれて、みすぼらしいことをいう。

なんだと……!!

おめえが……!?

はっははは

何がおかしい!!
大きな口をたたくな！それだけの腕があれば仕官の口も決まったろうよ。
そうだそうだ。

ぬうっ!!

おっ、本気で剣を抜いたぜ。

面白い！相手してやろうじゃねえか！
そうよそうよ。

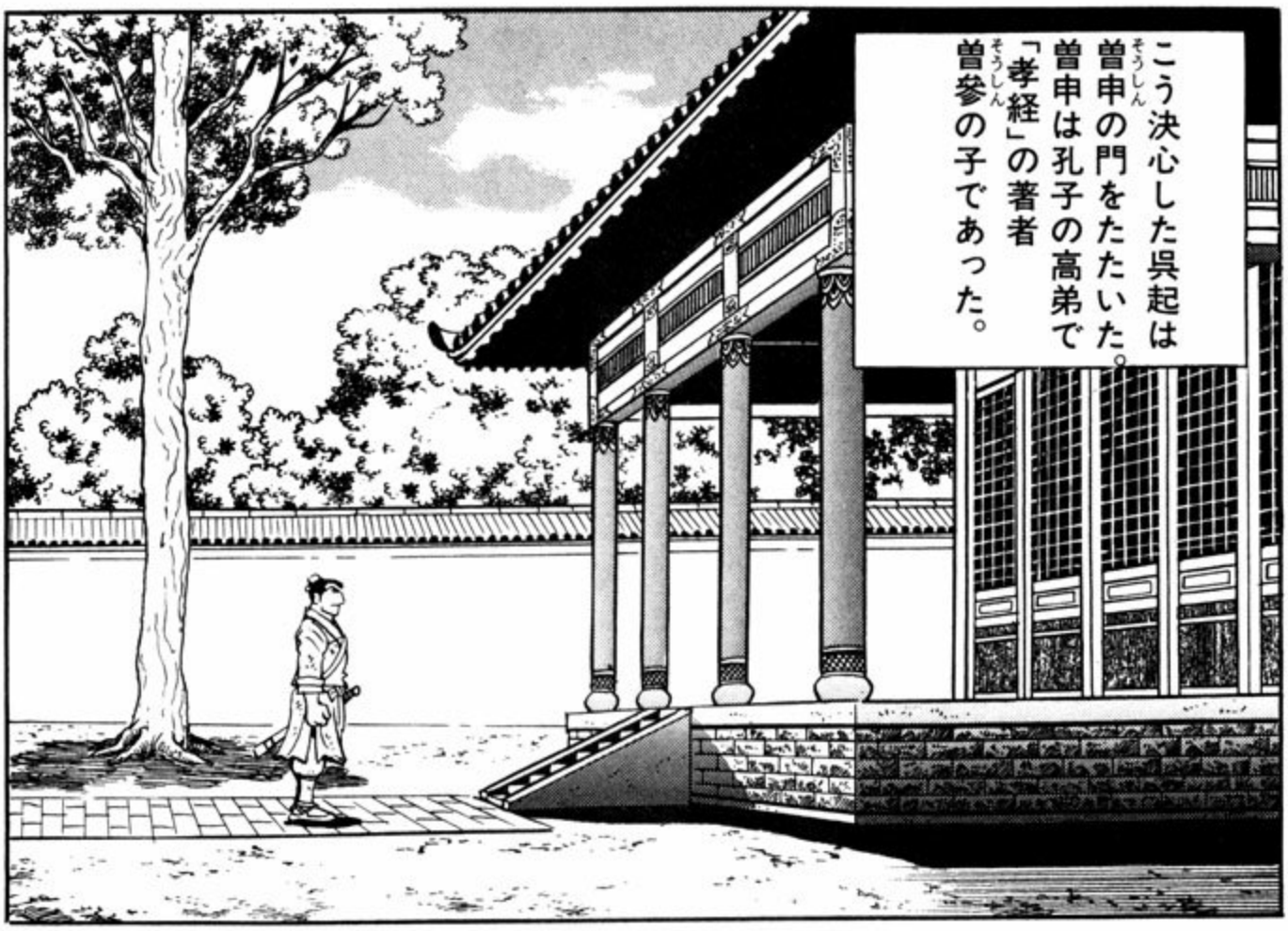
8

もうここには住めぬ……。

9

呉起はそのまま衛を逃げだした。

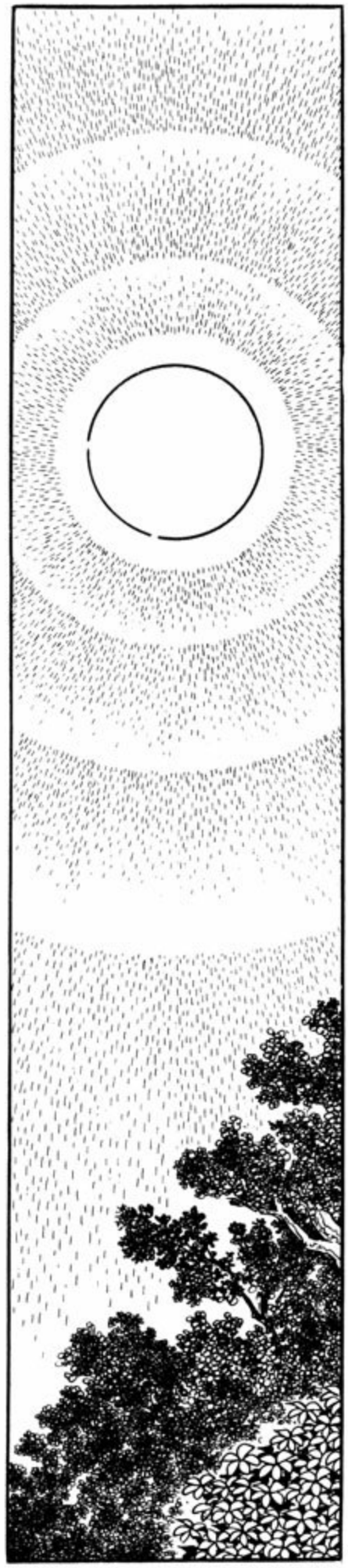
世に出るには
もっと学問を
せねば！


こう決心した呉起は
曾申（そうしん）の門をたたいた。
曾申は孔子の高弟で
「孝経（そうしん）」の著者
曾参の子であった。

10

呉起は
ここで儒学を
懸命に学んだ。

なにっ、母上が亡くなられたと……!?
はい、最後まであなたさまの身を安じておられました。



母上……

申し訳ありませぬ……。

お葬式に出られますか?

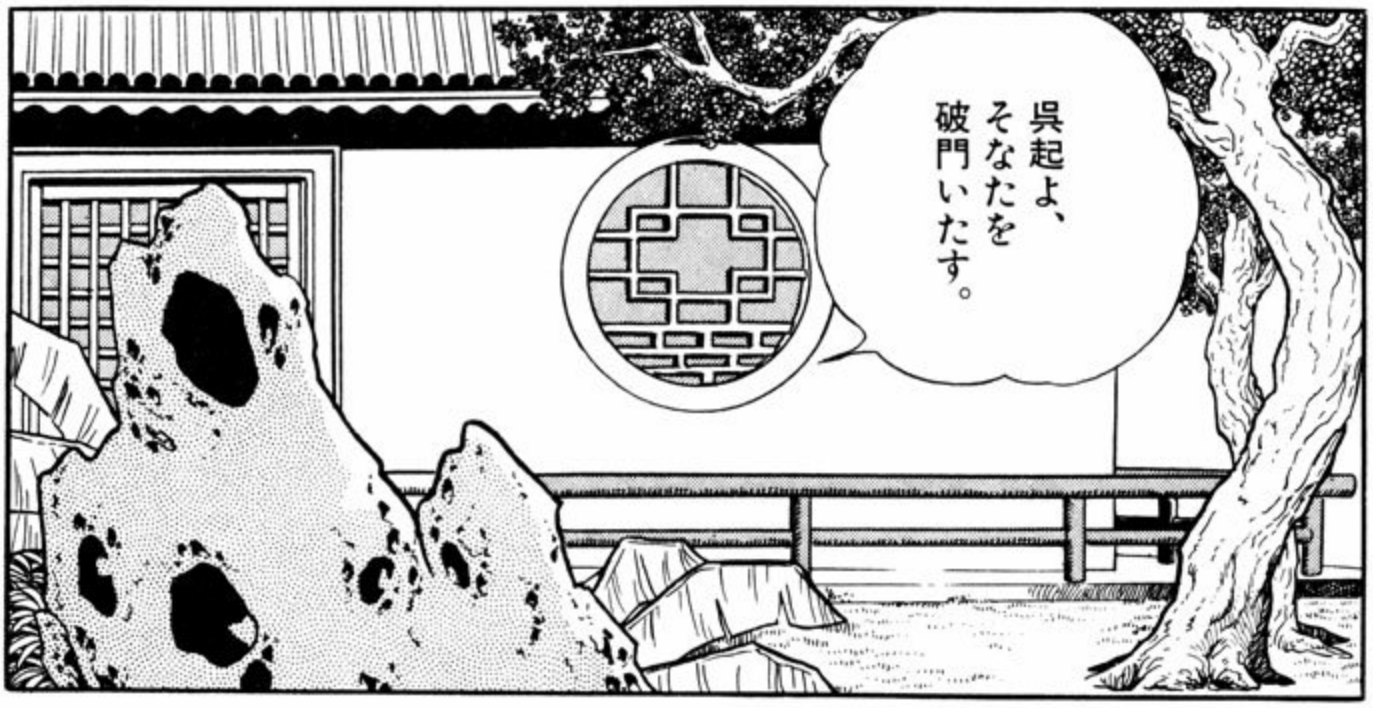
わたしが衛で事件を起こしたのは知っていよう。帰れるわけがなかろう。
さようでございますな。

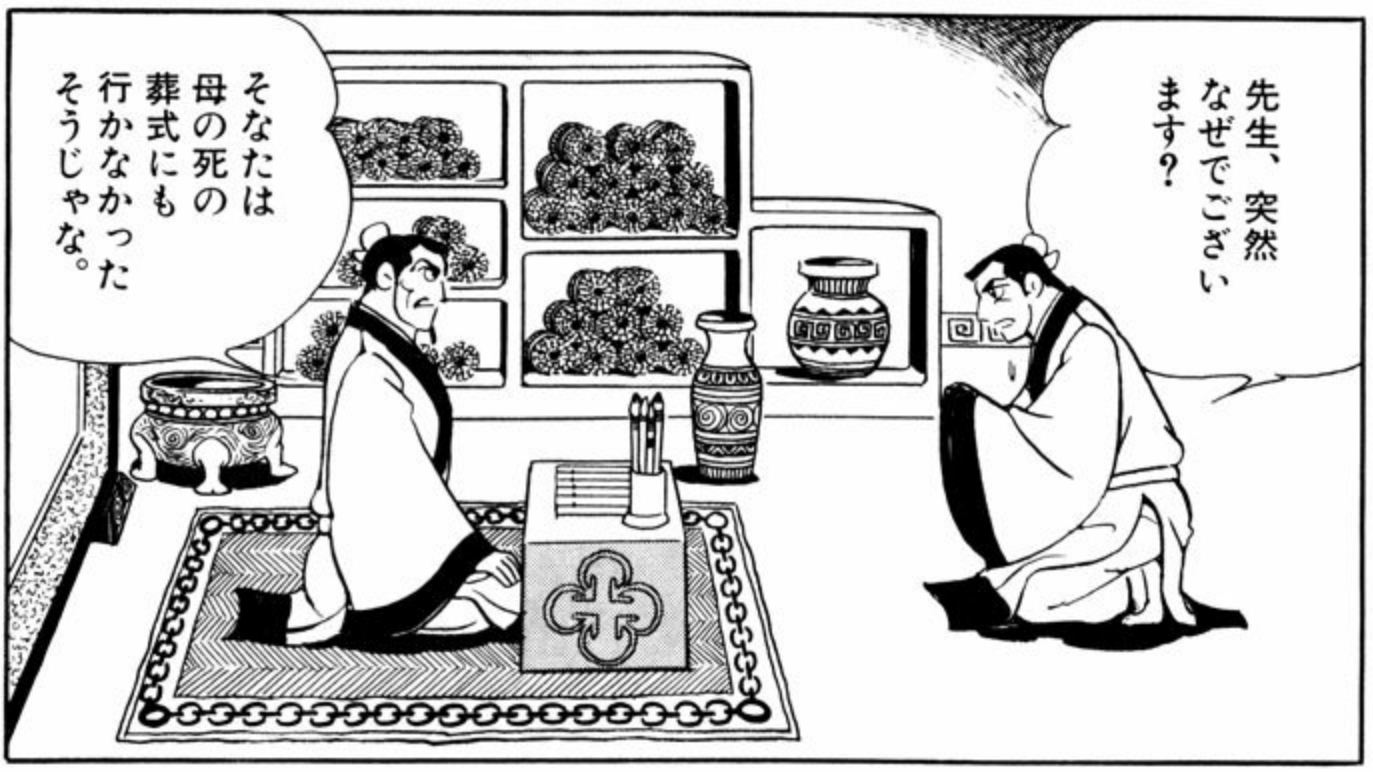
これはわたしの全財産だ。

これで線香の一本も上げてくれ。
わかりました。

12

母上……重ね重ねの親不孝をお許しください…。


呉起よ、そなたを破門いたす。


先生、突然なぜでございます？
そなたは母の死の葬式にも行かなかったそうじゃな。

儒学は「孝」についても説いている。それを学びながら教えに背く行動をとるとは何事か。そなたは出世のためだけに学問を学ぶのか。

そのような者に学問を教える気はない。早々に立ち去りなされ！

……

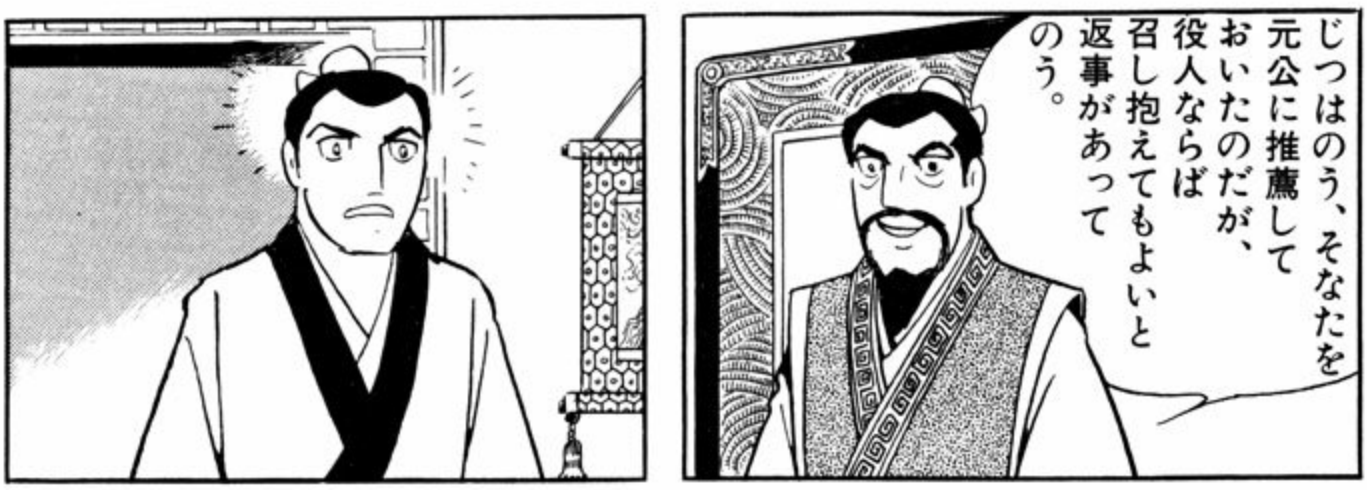
呉起は母の葬式に行けなかった理由を口には出せず、そのまま曾申のもとを去った。

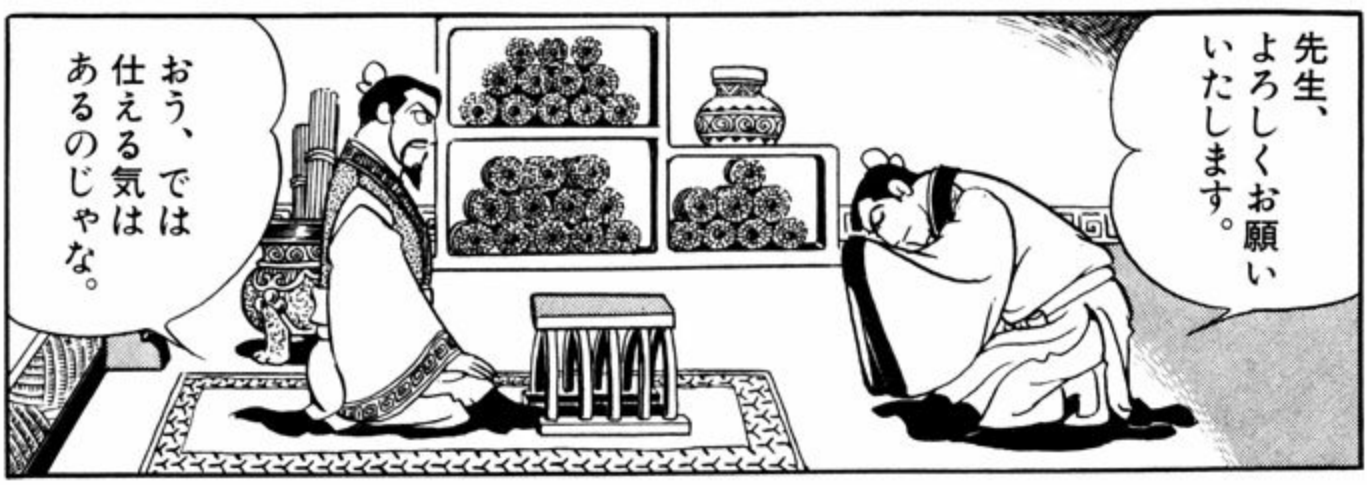
14

呉起は魯へ向かった。魯は孔子の生まれた土地で、学問の都であるが国としては小国であった。

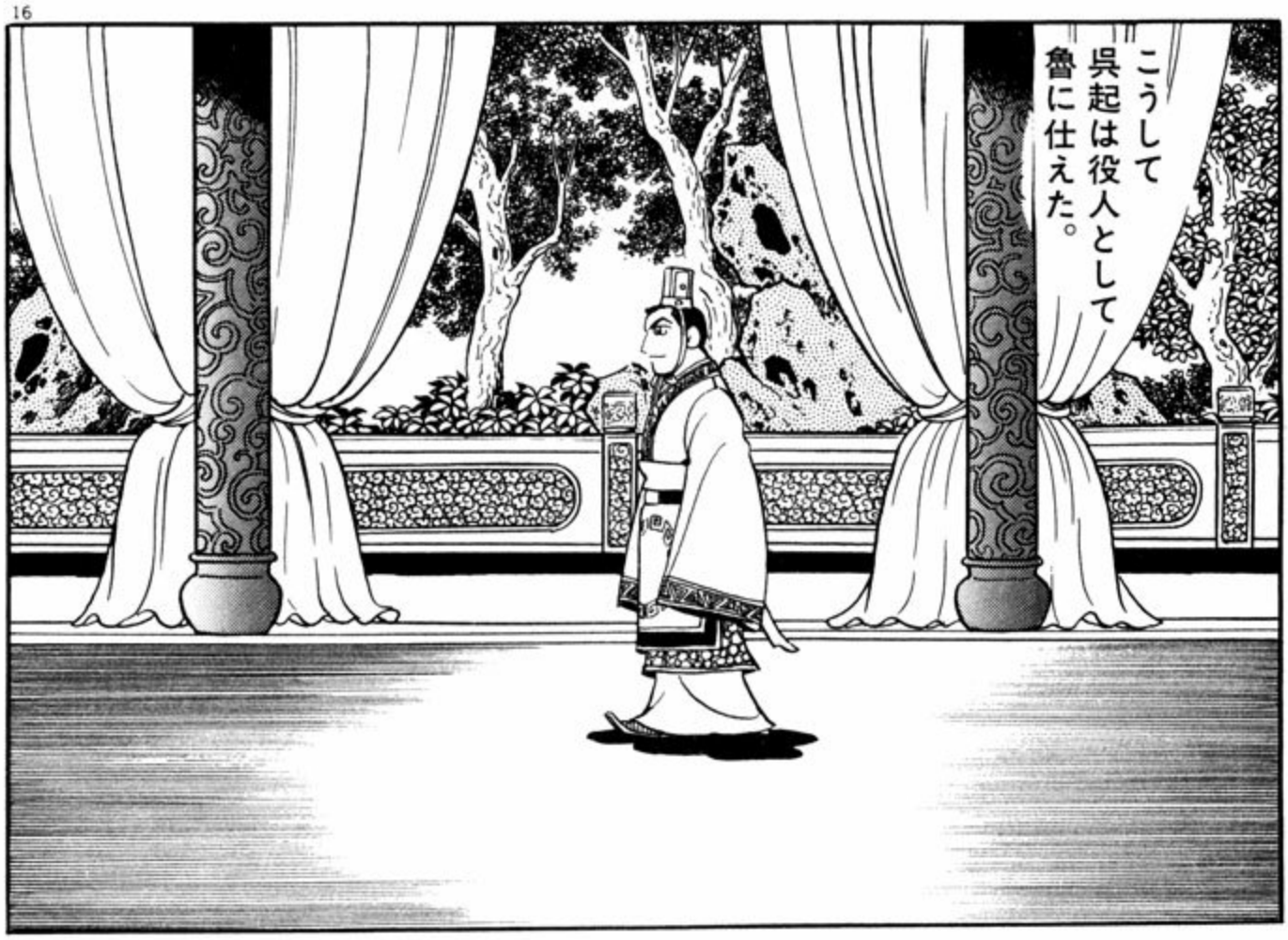
彼は ここで
兵法学者の門を
たたいた。

15

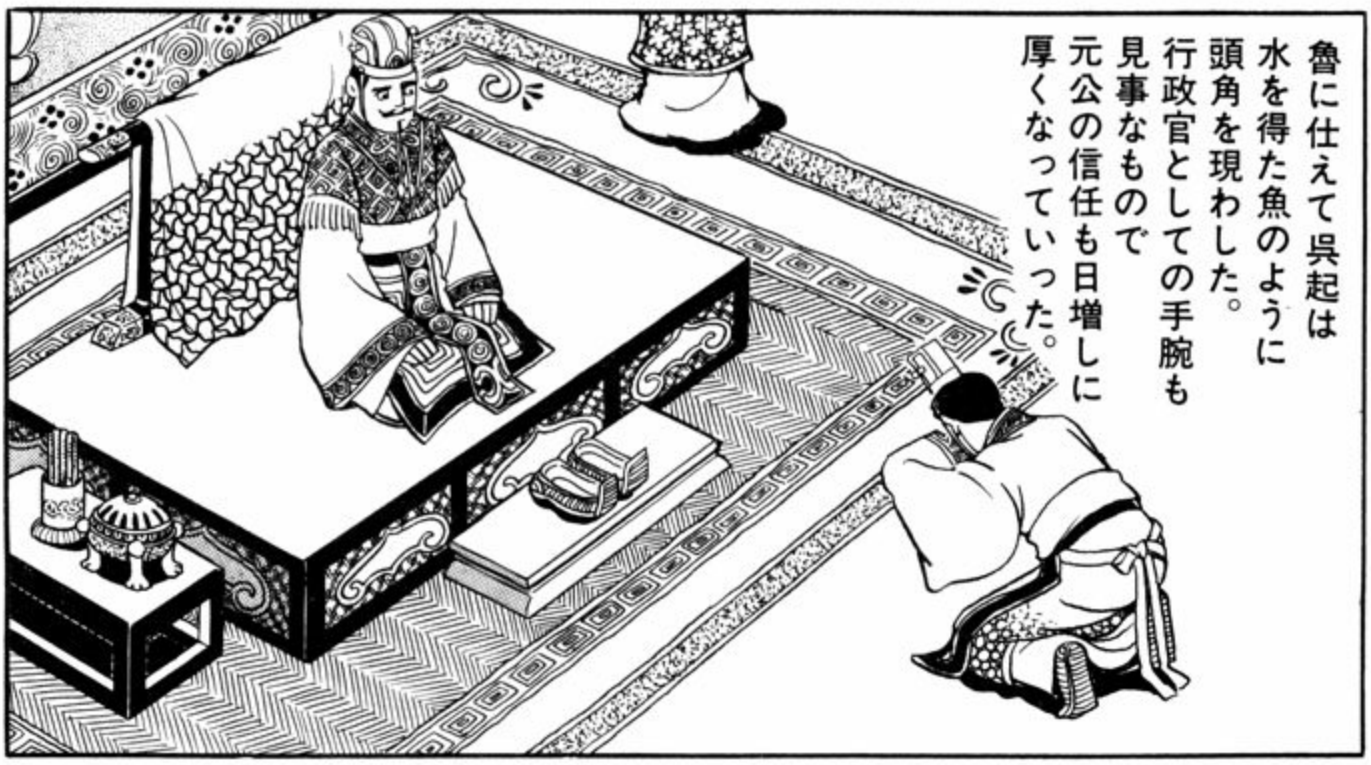

じつはのう、そなたを元公に推薦しておいたのだが、役人ならば召し抱えてもよいと返事があってのう。


先生、よろしくお願いいたします。
おう、では仕える気はあるのじゃな。

16


こうして呉起は役人として魯に仕えた。

生活の
安定した呉起は
妻を娶った。
妻は斉の生まれの
女性であった。


魯に仕えて呉起は
水を得た魚のように
頭角を現わした。
行政官としての手腕も
見事なもので
元公の信任も日増しに
厚くなっていった。

17

しかし 信任が
厚くなればなるほど
呉起の評判は
悪くなっていった。
「出る杭は打たれる」と
いうが妬み嫉みが
悪評を生んでいった
のである。

ある日、突然
隣国・斉が魯に
攻め入った。

18

国境守備軍は
懸命に防戦に
つとめた。

なにっ、斉が国境にせまったと!!

はい、国境守備軍は援軍を求めて来ておりまする。

むむむ……

19

斉は強国、なんとかせねばこの都にまで押し寄せてくる……。

そうじゃ、呉起は兵法を学んだという。呉起に援軍の将をまかせよう。

20

なにっ、わしの妻が斉の人間ゆえ信用できぬと!?

はい、そのように進言する者がおり大王さまはお悩みになっておられます。

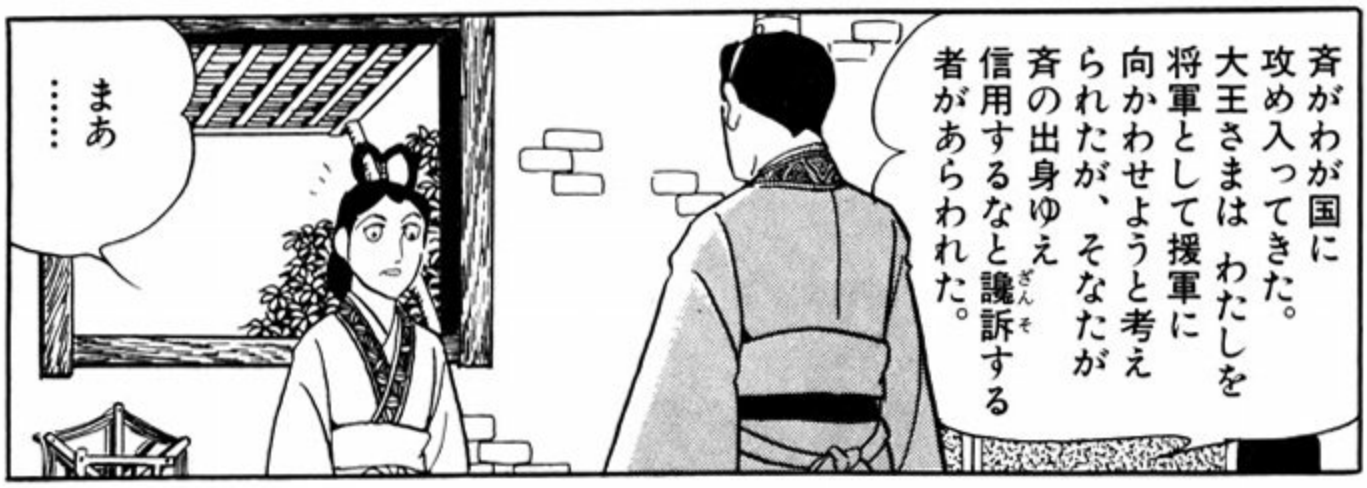
馬鹿な！ 魯に仕えれば
魯のために尽す。
それが家臣の
つとめではないか！

よく
知らせてくれた
礼をいう。
はい。

妻よ……

そなたと
離婚せねば
ならなくなった。

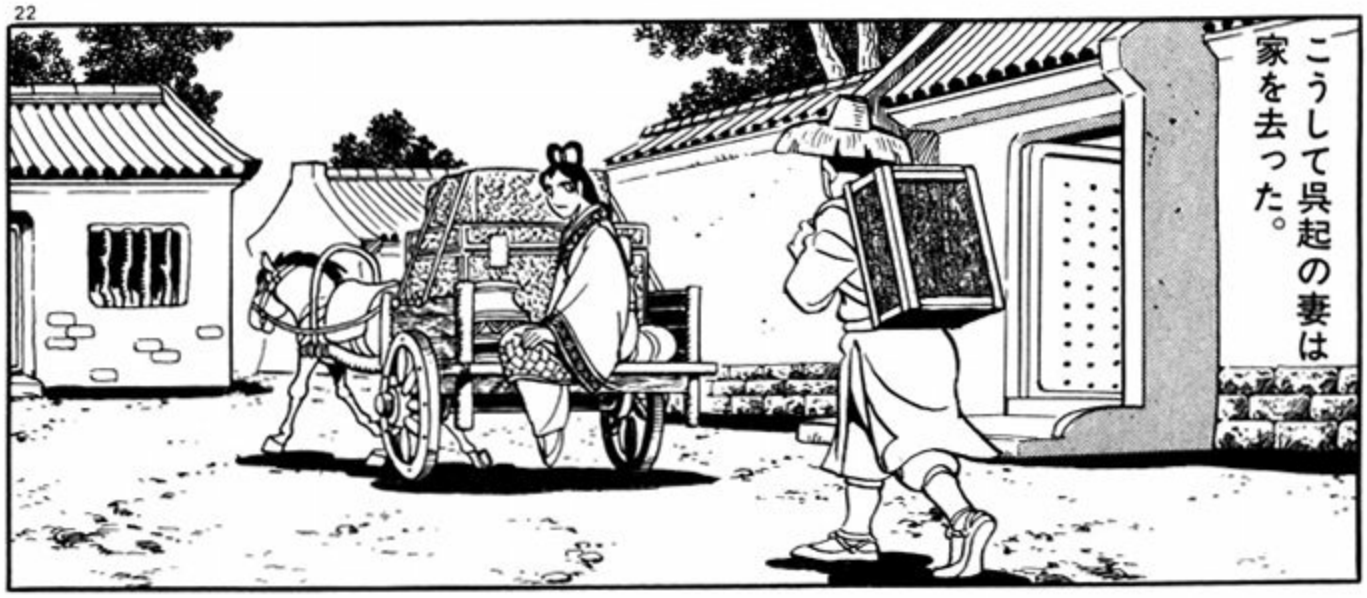
いきなり
どうしてで
ございまする？


斉がわが国に攻め入ってきた。大王さまは わたしを将軍として援軍に向かわせようと考えられたが、そなたが斉の出身ゆえ信用するなと讒訴する者があらわれた。
まあ……

わしも魯に仕えた以上魯のために働きたい。余計な疑いを持たれぬためにも離婚いたしたい。

わかりました。縁あって夫婦になりましたが、それがあなたにとって不利になるというのなら身を引きましょう。立派にお働きくださりませ。

22


こうして呉起の妻は家を去った。

なにっ、出陣したいと!?

はい、それがしは兵法を学びました。国家存亡の危機にそれを役立て、大王さまのご恩に報いたいと思いまする。

おお、よくぞ申してくれた。

23

よし、そちを援軍の将に任命する。

ははーっ、ご期待にお応えいたしまする。

呉起は勇んで出陣した。

呉起

そして夜襲…

24

火攻めなど…

兵法を駆使し、斉の大軍を蹴散らしたのである。

魯

25

呉起は意気揚々と凱旋(がいせん)した。

魯

呉起

だが、しばらくすると都に変な噂が流れた。

いやあ、呉起将軍は衛で三十人もの人を殺したそうな。

いや、それだけではない。母親の葬儀にも出ず曾申さまに破門されたそうな。

今度だって、妻を殺し将軍になったそうな。

出世のためならなんでもする人だな。

26

いやあ、まずいことをしてくれた。斉のような強国に戦で勝てば他の強国も魯を警戒し討とうと動きだすだろう。

それにのう、魯と衛は
おなじ周王朝から
わかれた兄弟の国だ。
それなのに
衛の国の犯罪者を
魯が重用すれば
衛に対して
義理が立たんぞ。
まったくその通りだ。
魯と衛のためにも
呉起を登用しては
ならん。

魯の元公もこうした
意見に動かされ、
呉起を解雇した
のである。

27
呉起は次の仕官を
求めて魏へ向かった。
魏の文侯は広く
人材を求めていると
聞いたからである。

魏は春秋時代の大国
晋が韓、魏、趙の
三氏に分裂し
まだ正式には国として
認められていなかった。
それゆえ魏の文侯は
国力をつけるため
天下に広く人材を
求めていたのである。

28

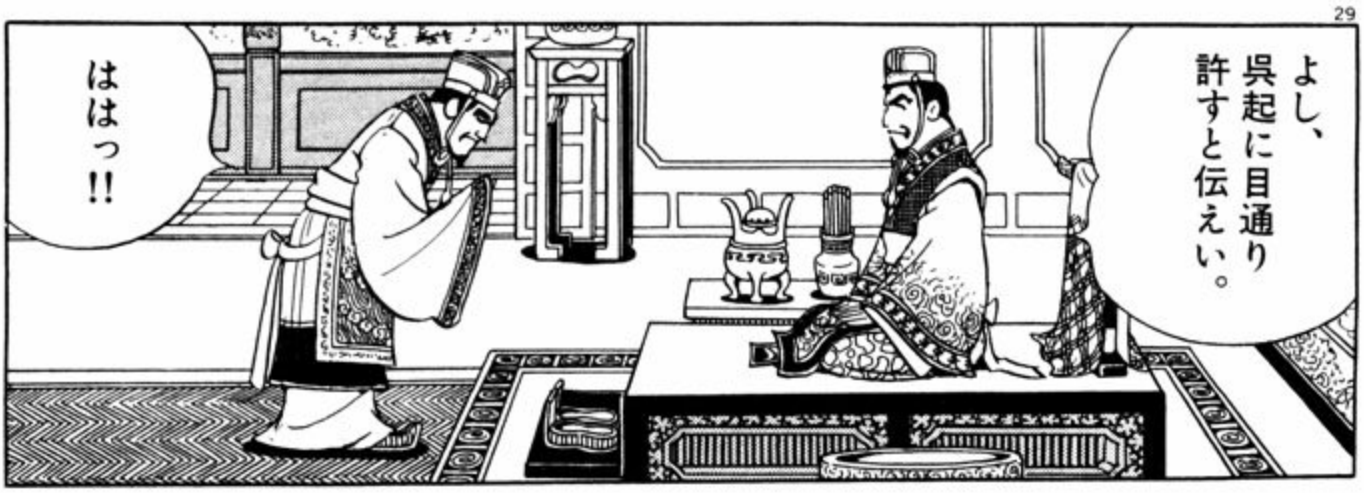
李克よ、
呉起という男が
仕官を願い
出てきたが、
どのような人物か
知っておるか？

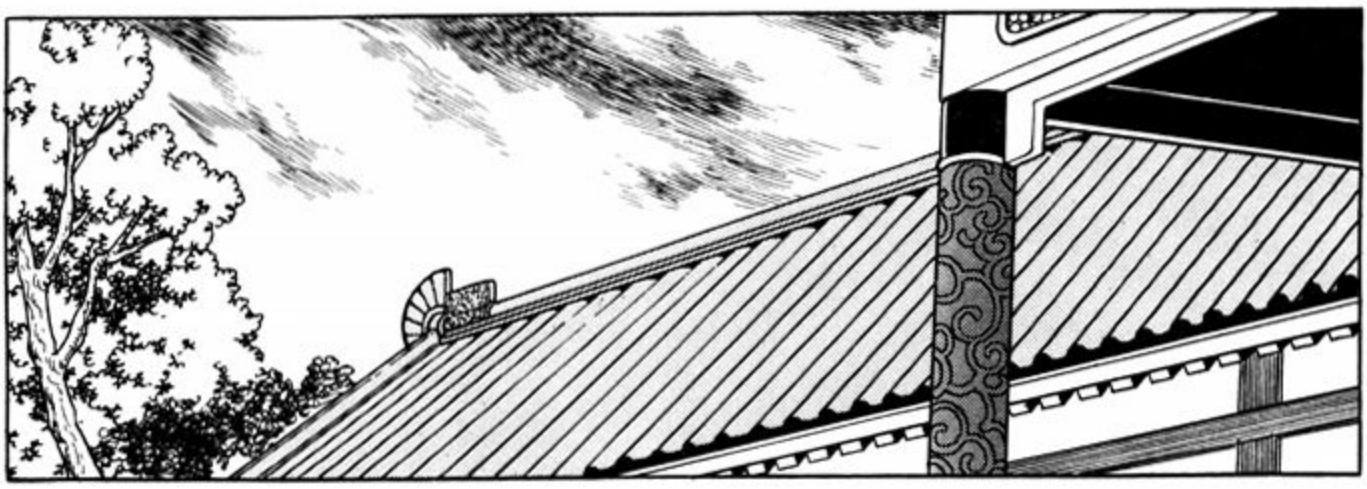
おお、
呉起でございます
ますか、
斉の大軍を
蹴散らした男で
ございまするな。

その話を聞いた時すぐに調べさせました。あまりいい噂は聞きませんでしたが、こと戦に関しては斉の一代の名将司馬穰苴(しばじょうしょ)も足元におよばない天才でしょう。

なに司馬穰苴よりも上と申すか…!?

29





呉起よ、そなたを将軍に任命する。
ははーっ。

30

今、秦はわが領土を虎視眈眈と狙っている。そちは西河の秦の城邑を攻略せよ。

ははっ。

魏軍はただちに出陣した。

この時、呉起は馬にも乗らず普通の兵士のスタイルで出陣し食べる物も持参である。

31

寝る時も蓆(むしろ)も敷かず最下級の兵士と同じ生活をして労苦を分かった。

兵士の士気は異常に高まり、

魏

魏

秦の西河(せいか)の

32

五城邑(じょうゆう)を全て奪取した。

そればかりか 魏の北辺の中山を討ち、韓、趙まで服従させ魏を列強の一国にのしあげさせたのである。

33

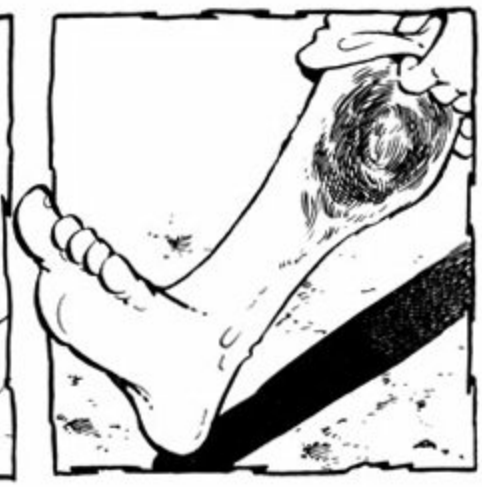
この魏軍の快進撃のなかで「吮疽の仁」という有名なエピソードがある。

ガクッ

どうした？負傷したのか!?
あっ、将軍……

じつは足の傷からはれものになりました……。

ほう、見せてみよ。



これはいかん！すぐ膿(うみ)を出さなくては毒が体にまわる。

34

ヌカッ

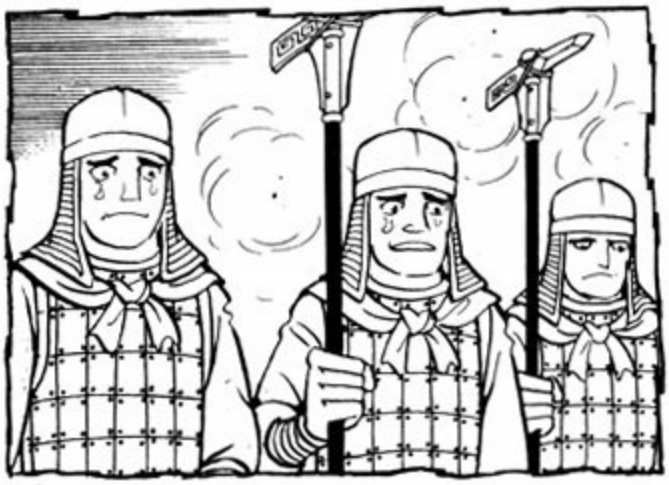
チュッ
将軍……！

ペッ

この膿は吸いとらねばならん。

将軍……

ペッ



よし、もうこれで大丈夫だ。薬をぬってきつくしばっておくがよい。

ありがとうございます。

この話はたちまち兵士の郷里に伝わった。

ええっ、将軍がわたしの息子の膿を吸ってくださった……

そうだってよ、部下への思いやりは大変なものだってよ。

わあーっ

36

おい、息子さんは兵卒なのに将軍がご自身で膿を吸いだしてくださったんだ。なぜ泣く…？

そ、それが悲しいのでございます。

先年、わたしの主人も同じように呉起将軍に膿を吸っていただきました。

わたしの主人はそれに感激し、戦場では一歩も後に引かず討ち死にしたのでございます。

わたしの息子も父親と同じように戦いましょう。あの子はどこで死ぬのかと考えまして悲しくなりました。

37

文侯はこの功により呉起を西河の太守に封じて秦、韓に備えさせたのである。

前三八七年
名君といわれた
魏の文侯が没し、

38

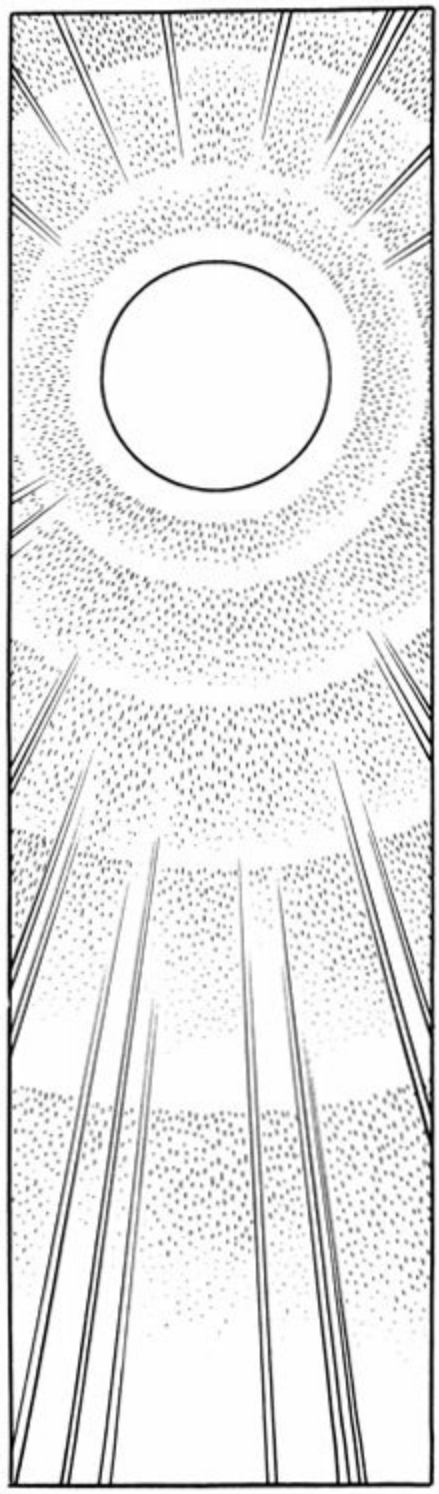
その子・武侯が後を継いだ。
代が変われば側近も変わる
のだが、呉起はひきつづき
西河の太守に封じられた。

行政手腕にも
すぐれた呉起は
見事に西河を治め、
その名は高まる
一方であった。
人々はいずれ呉起が
宰相になるだろうと
噂しあった。

39

だが、世間の予想に
反して 武侯は
新宰相として
田文を任命
した。

呉起の心中には
なにか納得
できないものが
あった。



田文どの少しお尋ねしたいことがござる。
おお、呉起どの何事でござるかの？

全軍の将として兵士が喜んで死におもむくようにさせ、敵国の侵略をあきらめさせた……その功績は田文どのとそれがしではどちらが上でござりましょう？

40

それはあなたのほうですな。

では、百官を統率し万民に親しまれ、国庫を豊かにしたという点ではどちらが上にござりましょう？

それも あなたの
ほうじゃ。

西河を守り
秦軍が東進をあきらめ
韓、趙を服従させた
のは……？
それも
呉起どのの
功績じゃ。

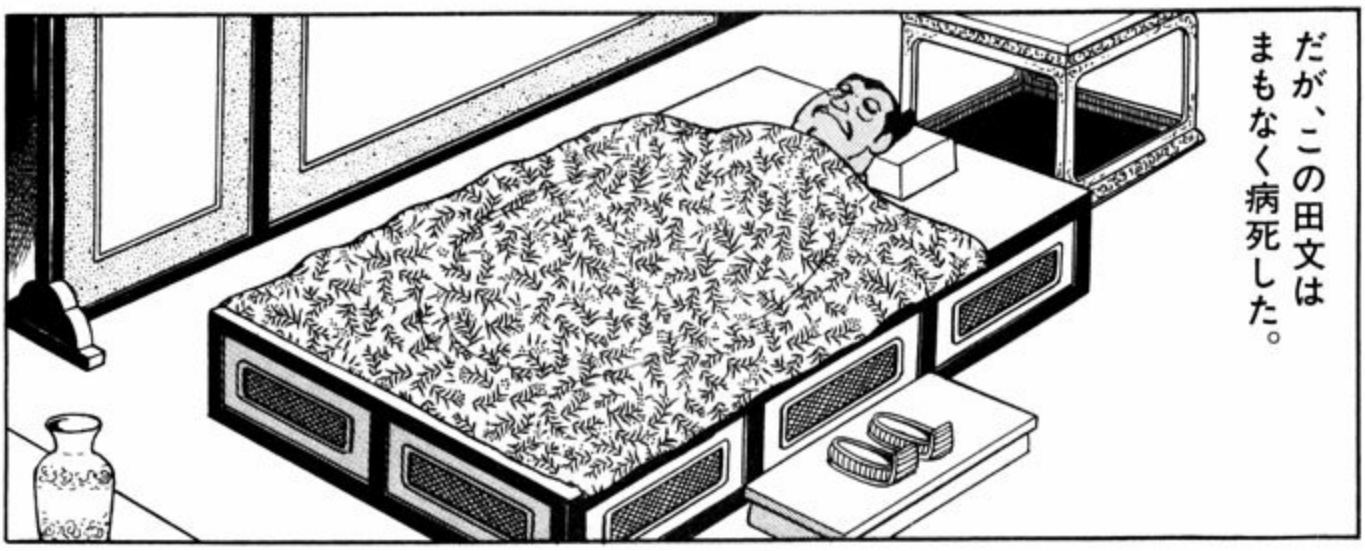
三つのことが いずれも
それがしが上なのに
あなたの方が位が上とは
いったいどういうことで
ございましょう。
では、
それがしが
質問いたす。

わが君は まだお若く、
重臣たちもまだ完全に
支持していない。
また百官も
信頼していない。
人望といい政治力といい
貴公とは雲泥の差で
ござる。

国が一つにまとまる
ためには、
貴公とそれがしでは
どちらが
宰相として適任で
ござるかの？

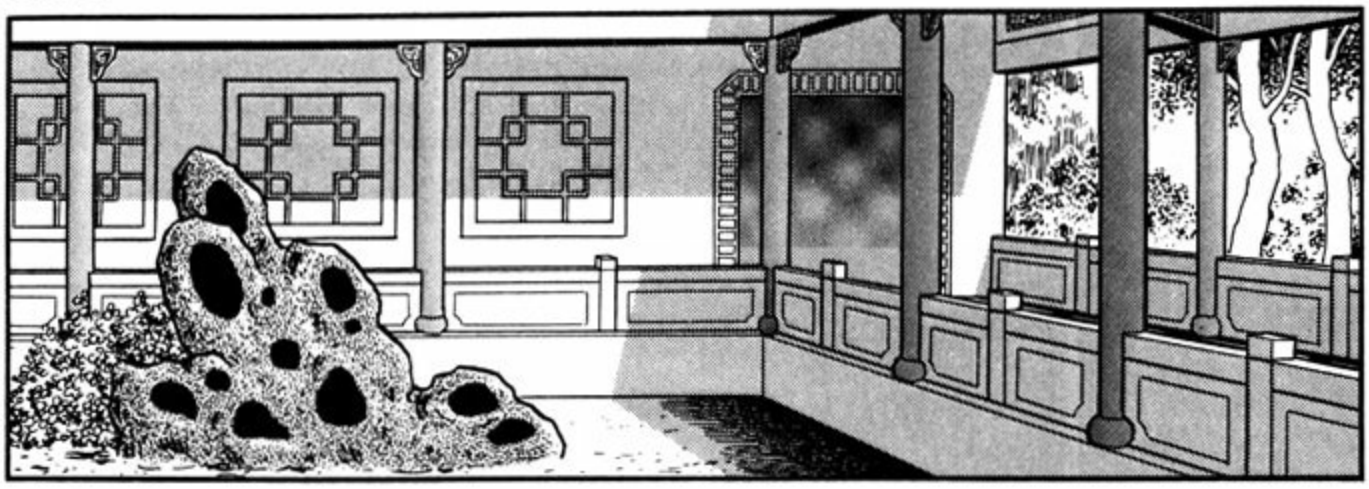
そうか、天に日は二つあってはならぬといっているのか……。

やはりあなたが適任でございます。
わたしが位が上なのはそういうことでござる。


だが、この田文はまもなく病死した。

42

新宰相として魏の公女を娶っている公叔が任命され勢力をふるった。



宰相、何をイライラなされています。

うむ、呉起のことでのう。

あの男がいると政治がやりにくくてのう。

呉起を失脚させる方法はございます。

なにっ、どういう方法だ？

呉起さまはバカ正直で、ことのほか名誉を重んじます。その性格を利用するのです。
もっとくわしく申せ。

こんど、わが君にお会いになった時「呉起はたいした人物です。各国からも引く手あまたの人物でございます。呉起がいつまでもわが国にとどまっているかどうか心配でございます」と言上なさるのでございます
ふむふむ……

わが君は、きっとどうすればよいとご下問なされるでございましょう。

うむ、当然じゃな。

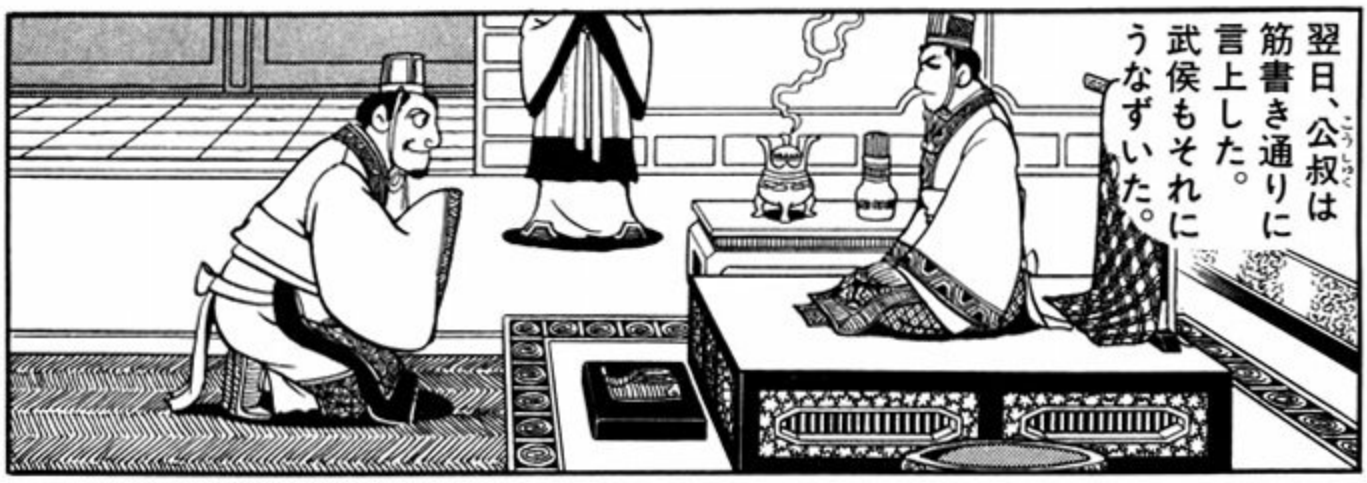
44

そこで、こういうのです。「公女を娶らせるといってお試しになってはいかがでしょうか…。呉起が魏にとどまるつもりならば喜んで受けるでしょうが、そのつもりがなければ辞退するでしょう。これで本心がわかります」と……。

そして、呉起を呼びよせ公女を娶る話を伝え、そのあと呉起をつれてこのお屋敷にご帰館なされるのです。そして奥方さまには呉起の前でわざと腹を立て宰相さまを罵倒するように事前に打ち合わせておくのです。それを見れば 呉起は公女を娶るのを きっと辞退いたしましょう。

なるほど、そうなればわが君は呉起を信じなくなる。

よし、明日さっそく武侯にそう申しあげよう。


翌日、公叔は筋書き通りに言上した。武侯もそれにうなずいた。

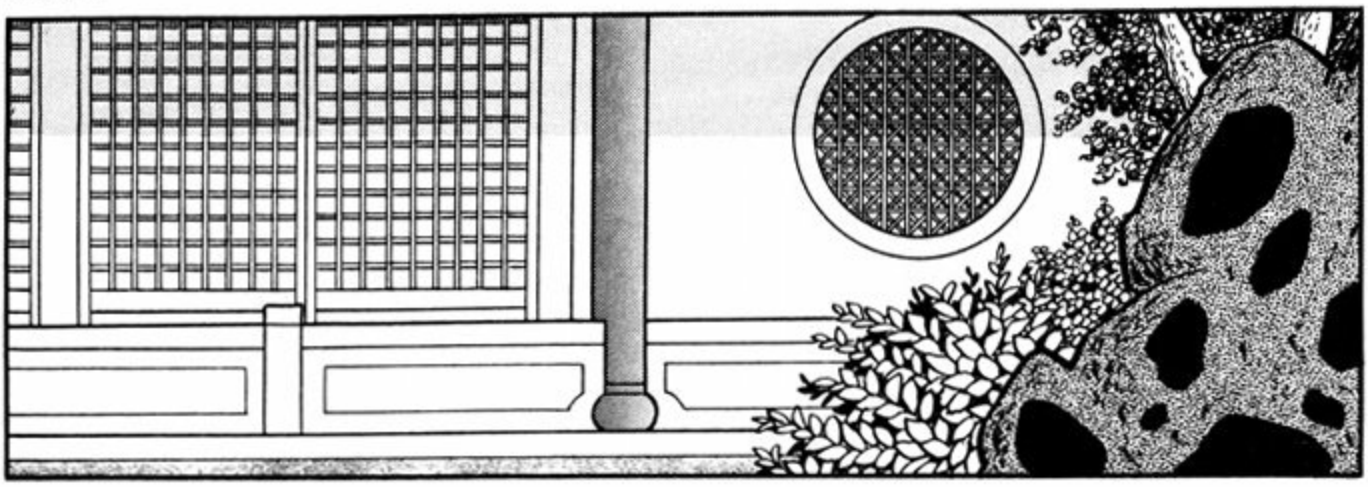
えっ、それがしに公女を嫁に……。
さよう。これで貴公も王の一族となれる。

そのあと 呉起を
自分の屋敷に
つれて来た。

だが、呉起が
そこで見たものは
公女の奥方が
自分の夫である宰相を
下僕の如くあつかい
罵倒する姿であった。
呉起には耐えられない
光景であった。

46

芝居とは知らぬ
呉起は、武侯に
公女の降嫁(こうか)の
辞退を申し出た。

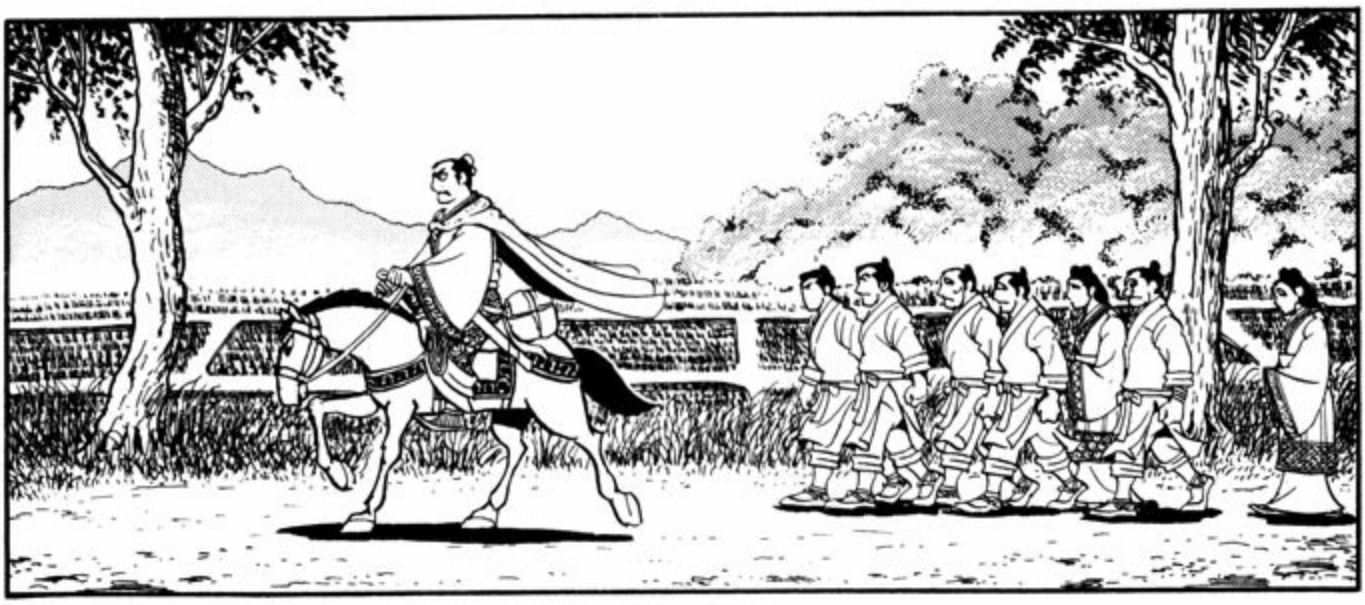


旦那さま、本当に今の地位を捨てて魏を去るのでございますか？
ああ、本気だ。

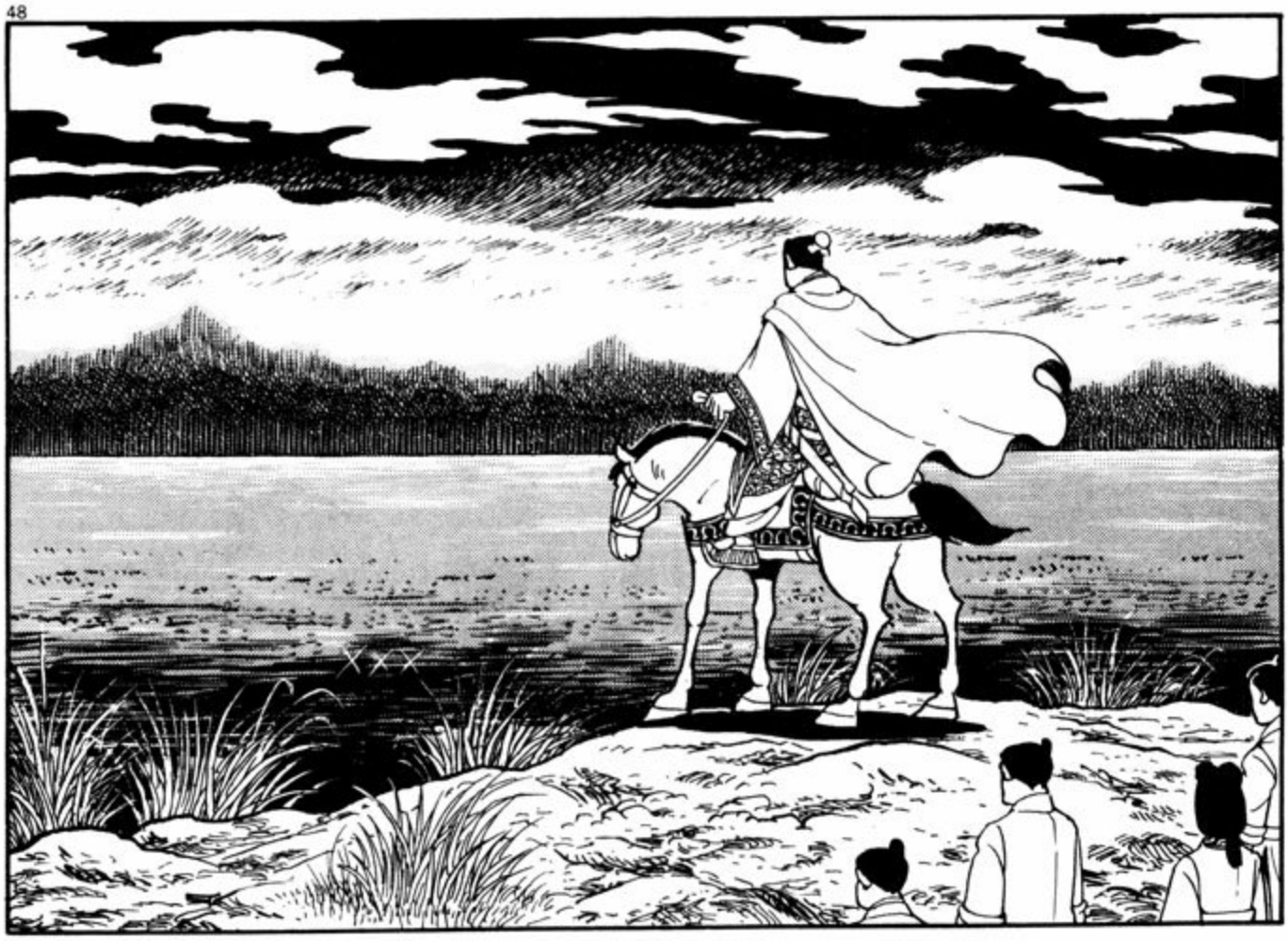
近頃、武侯はわたしを信用なさらぬ。このままではいつかぬれぎぬを着せられわたしは罪に問われよう。

そろそろわしは出立する。残った物はみなで分けよ。
はい……。

みな達者でな。



48



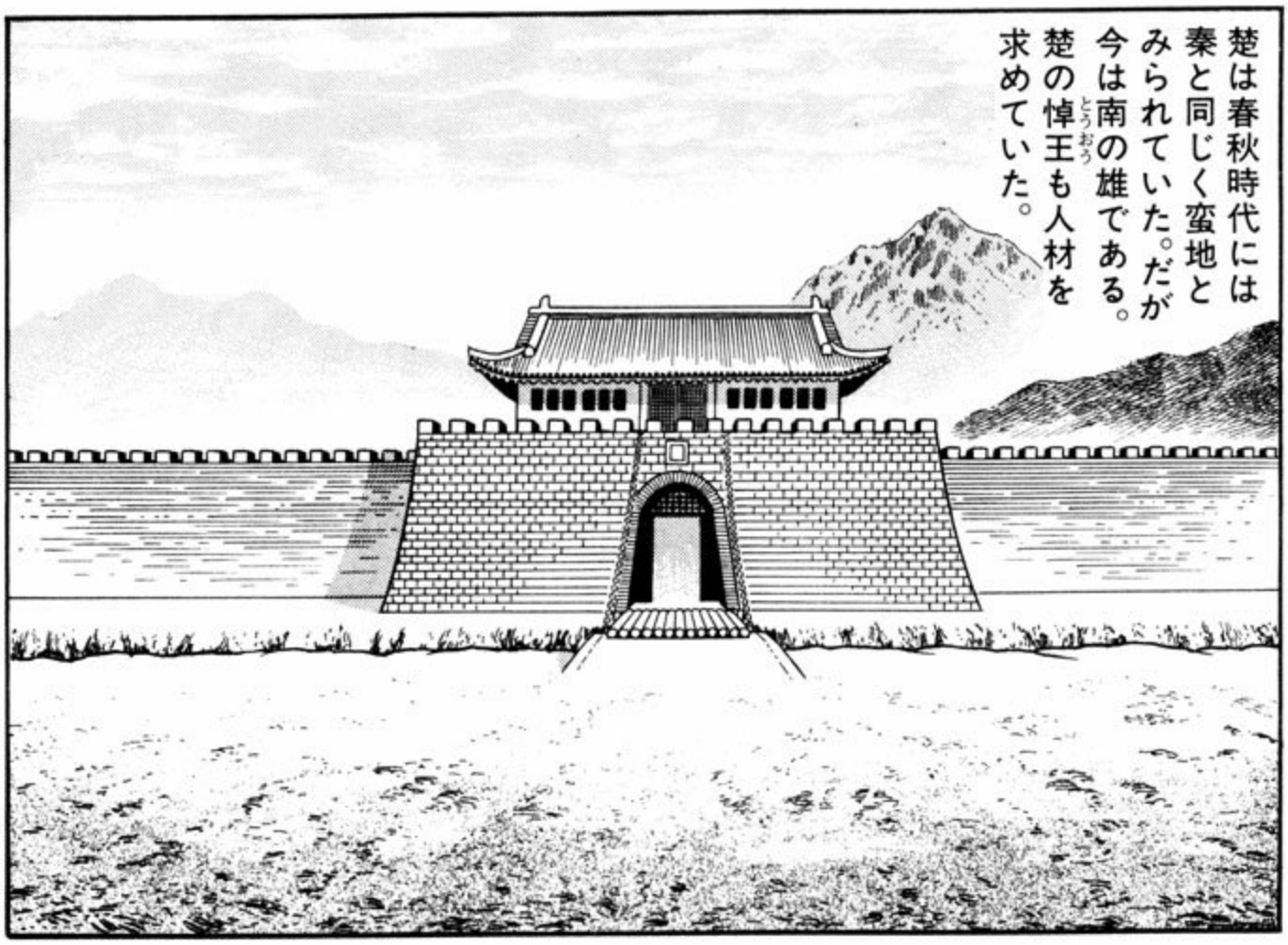
旦那さまは魏のために尽されました。悔し涙にございまするか…？

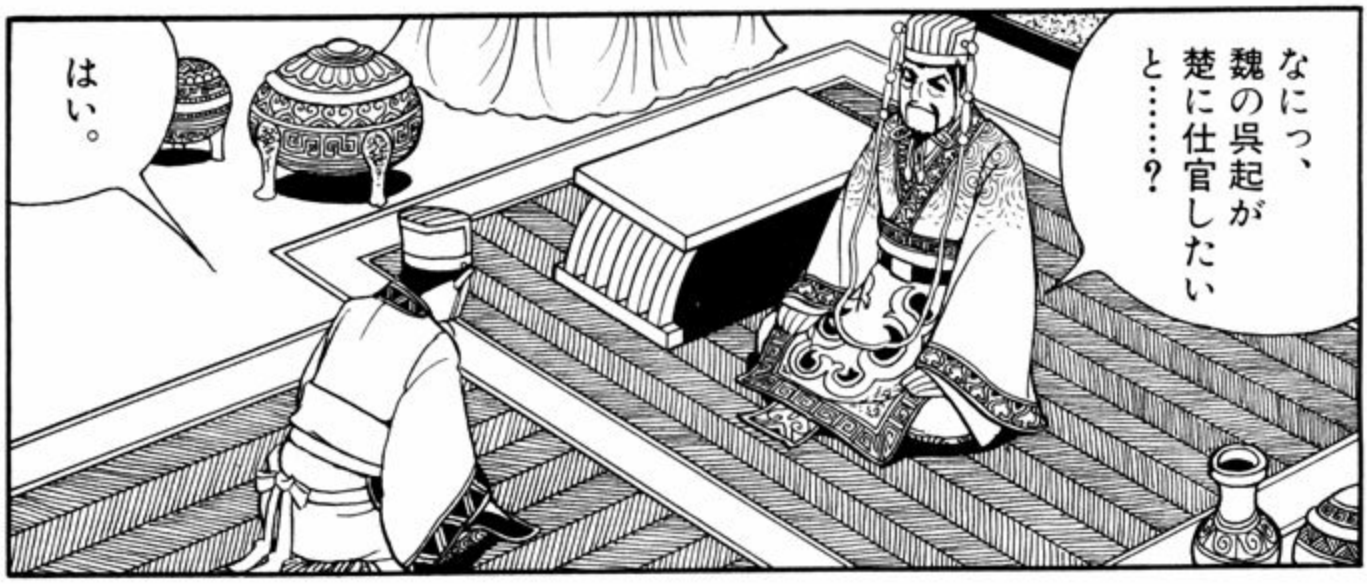
いや、このままでは魏はいつか滅ろぶ。それが哀れでのう。

よし、見送りはここまでじゃ。

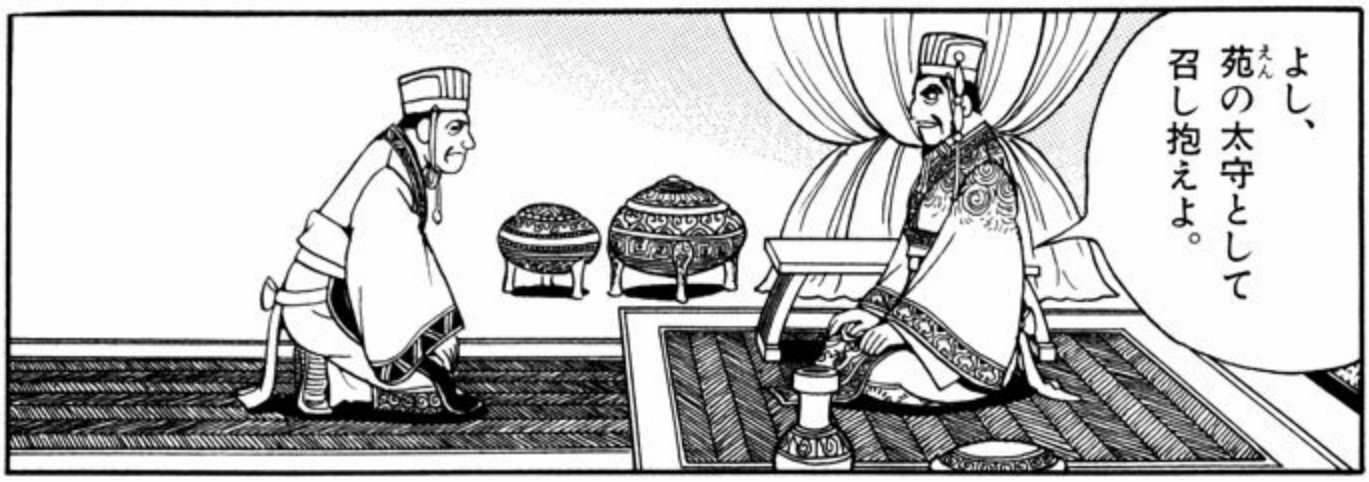
49

呉起はこうして魏を去り、楚へ向かった。


楚は春秋時代には秦と同じく蛮地とみられていた。だが今は南の雄である。楚の悼王(とうおう)も人材を求めていた。


なにっ、魏の呉起が楚に仕官したいと……？
はい。

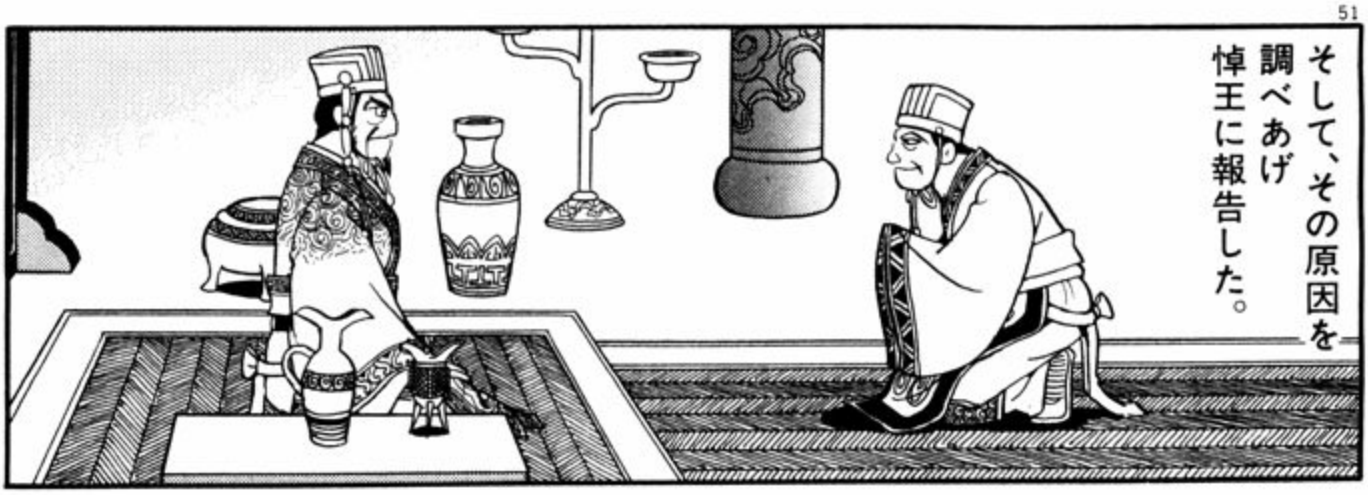
呉起といえば、行政においても兵法家としても魏になくてはならぬほどの重要な人物。宰相として迎えてもおかしくない人物がなぜ楚に……？


よし、
苑の太守として
召し抱えよ。

それからもう一つ
呉起が
なぜ魏を捨てたか
理由を調べよ。

ははっ。

ただちに間者は
魏に走った。


そして、その原因を
調べあげ
悼王に報告した。

それから一年……

呉起よ、そなたの苑の太守としての行政は見事なものである。本日より楚の宰相に封ずる。

えっ!!

52

光栄に存じます。ご期待に背かぬよう身を粉にして働きまする。

ところで、今は誰もが虎視眈眈と天下を狙っている。強国にするためにはどうすればよいと考える。

門閥政治を廃止し
法によって
国を治めることに
ございます。

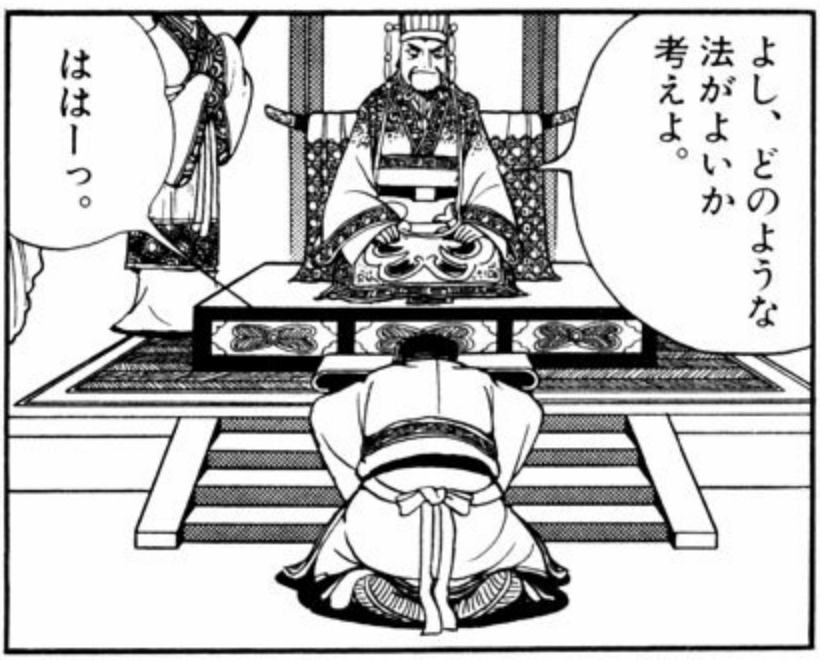
なにっ、
法でもって
国を治める？

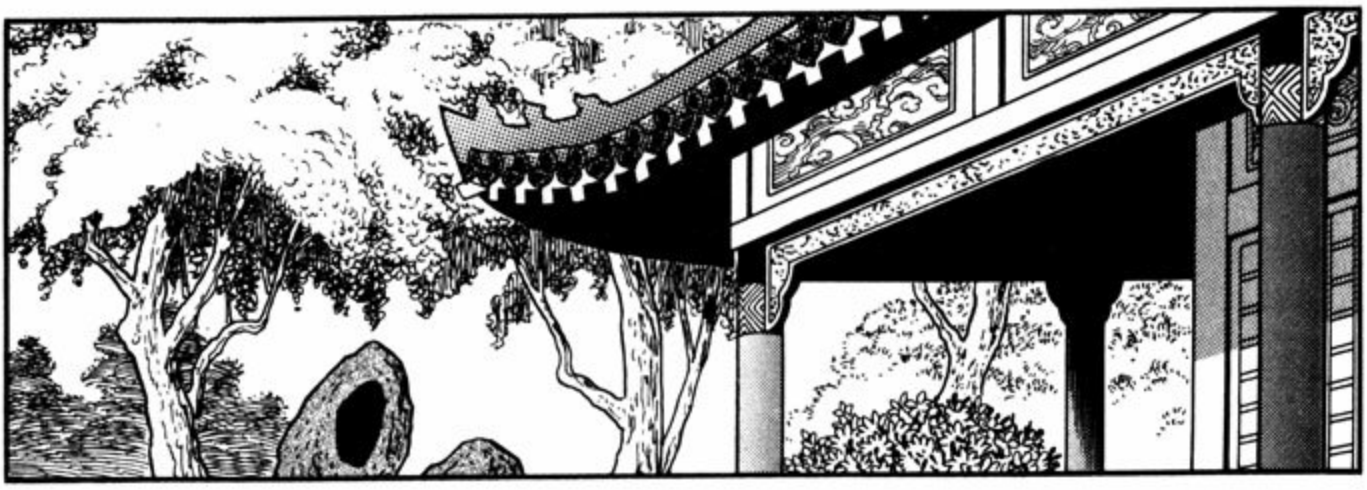
国の指導者は
一人でなければ
なりませぬ、
法を決定するのも国王。
そして公子や公女で
あろうとも
その法を守らせれば
国は統一され
強くなりまする。

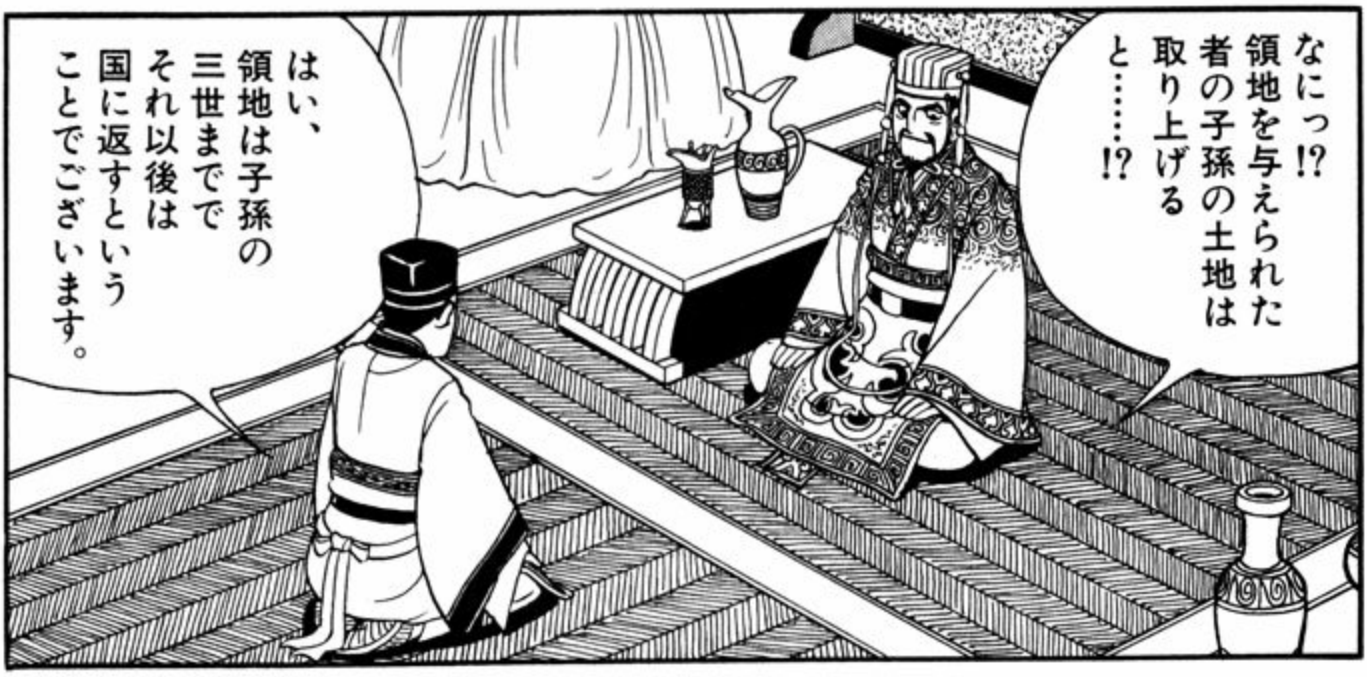
53

ご存じのように
大国晋(しん)は
六人の大夫(一族)の
権力闘争により
勝ち残った
韓、魏、趙の三氏に
分裂されました。
実力者が勝手に権力の
拡大をはかったため
こうなったのです。

なるほどのう。


よし、どのような
法がよいか
考えよ。
ははーっ。




なにっ!? 領地を与えられた者の子孫の土地は取り上げると……!?
はい、領地は子孫の三世までそれ以後は国に返すということでございます。

ふむう、反発は大きいだろうな……

それゆえ、国王の断固たる決意が必要なのでございます。

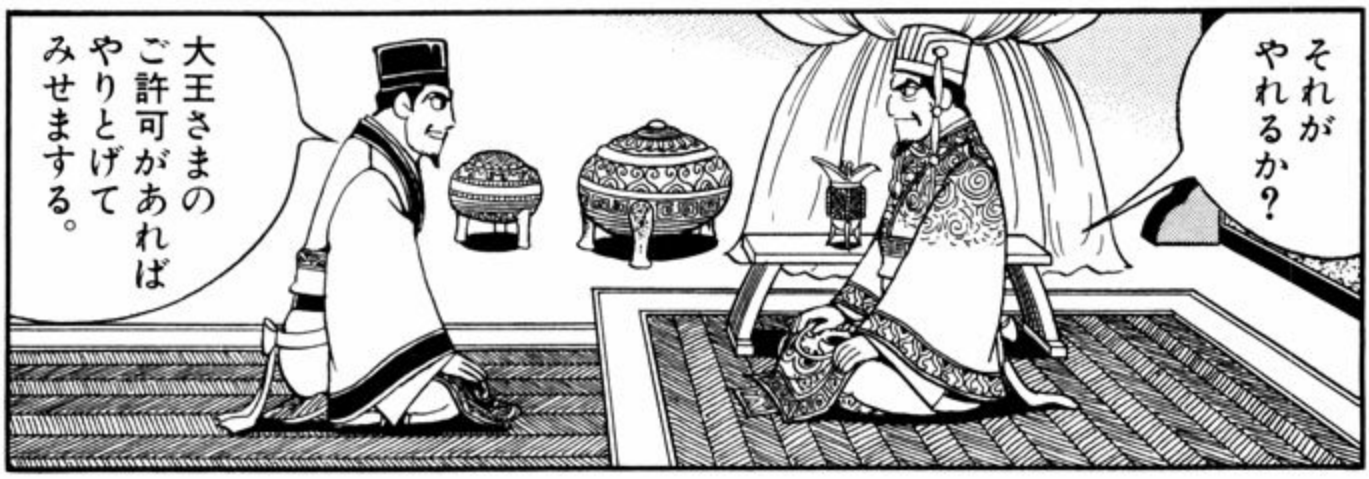
国庫が豊かになれば、それだけ兵士も養え他国の侵略に備えられます。

54

うむ……

楚の欠点は土地が広いのに人がわずかしかおらぬ土地が多くございます。それゆえ首都に集まっている特権階級の者を強制的に地方に分散させまする。そして地域振興をはかるのです。
ふむう。

さらに門閥によって無計画に置かれた無用、無能の官吏と不要の官職は全て整理しそれらで浮いた費用で兵士の給料を上げ軍備の充実にあてまする。


それがやれるか？
大王さまのご許可があればやりとげてみせまする。

よし、余が全力で後押しをする。実行せよ！

ははっ!!

呉起は すぐに
布令をだした。

いままで
都でのんびりと
遊んで暮していた
特権階級には
ショックの大きい
政治改革であった。

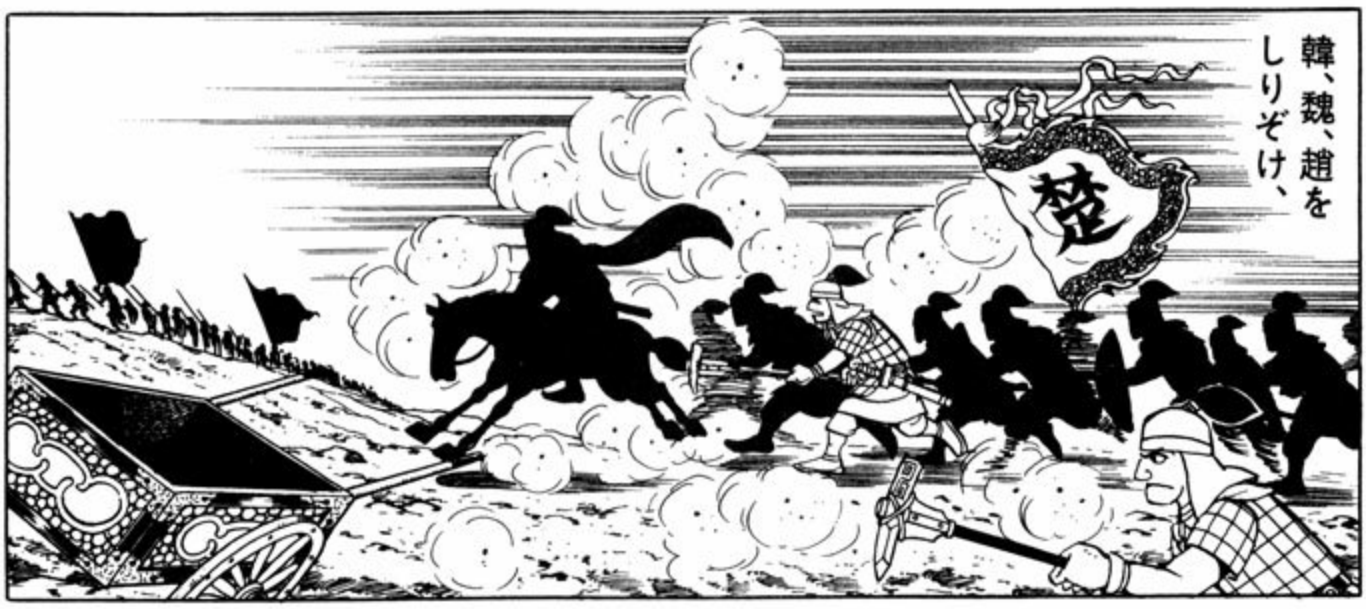
56

彼等の呉起への恨みは
大変なものであった。
だが国王の命とあらば
従わざるをえず
しぶしぶ過疎の
地へ向かった。

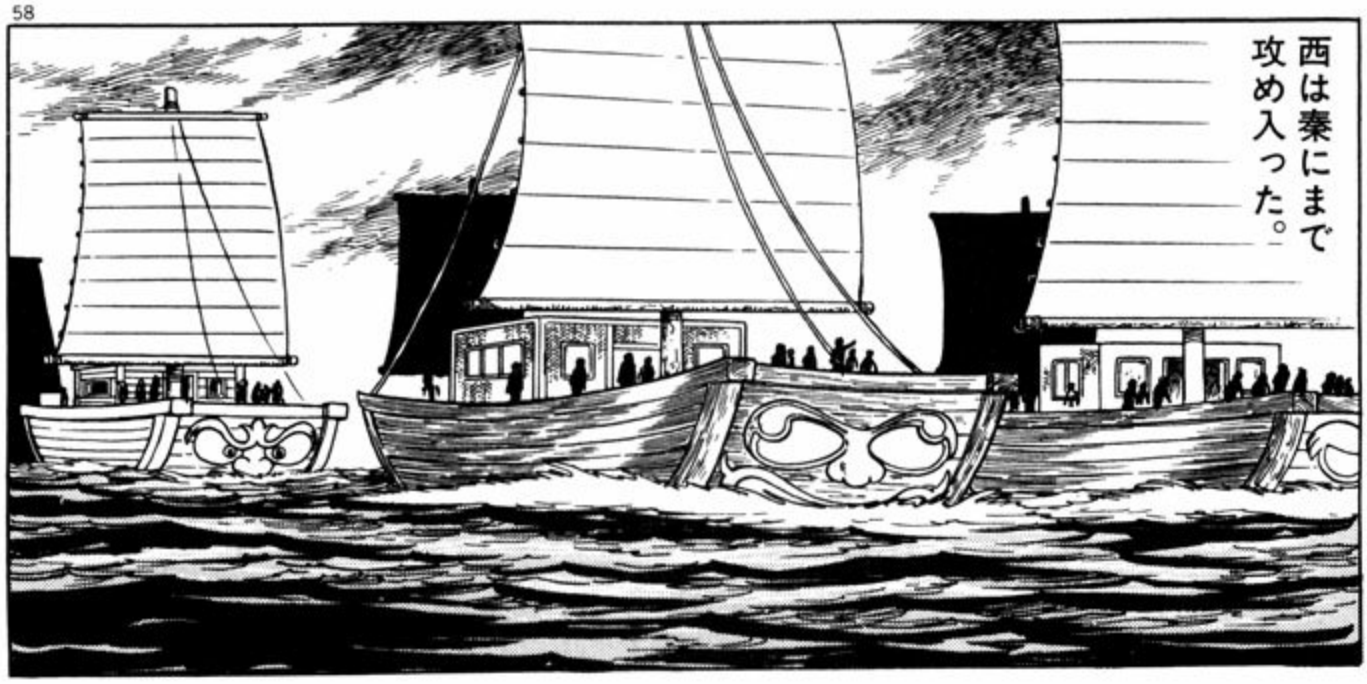
呉起を起用して
大改革を行なった楚は
大きく国力が増し
次の行動に移った。

57

南は百越を平らげ、



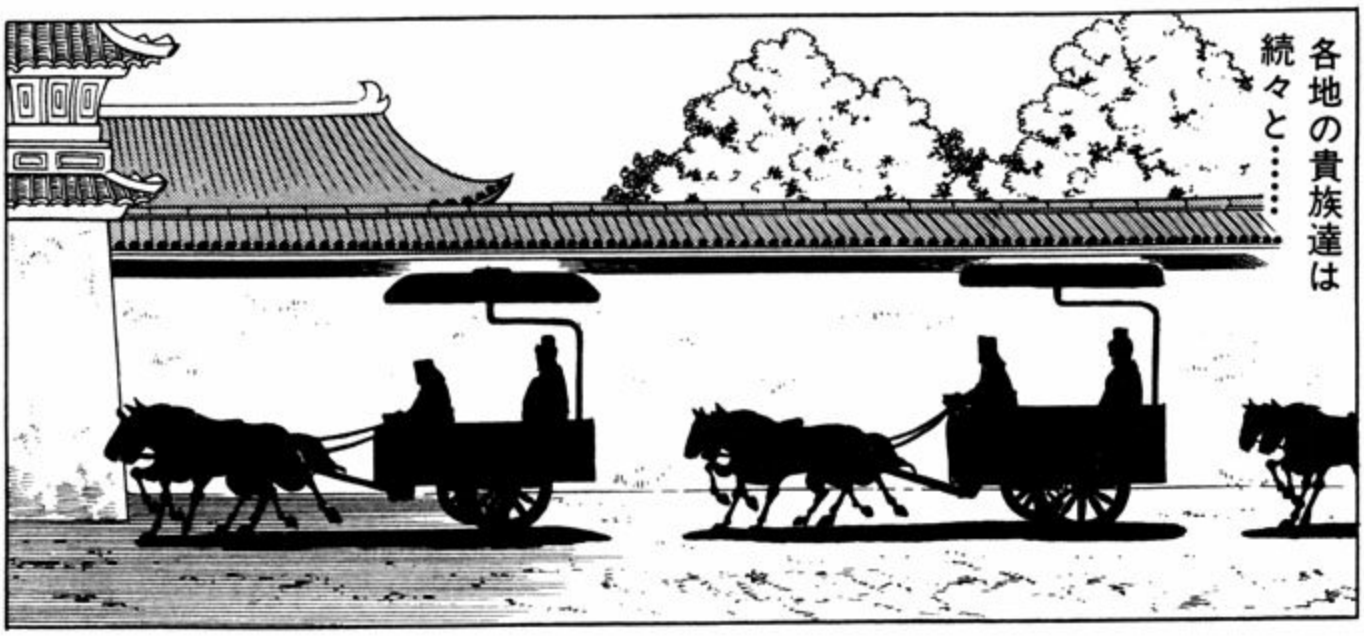
58



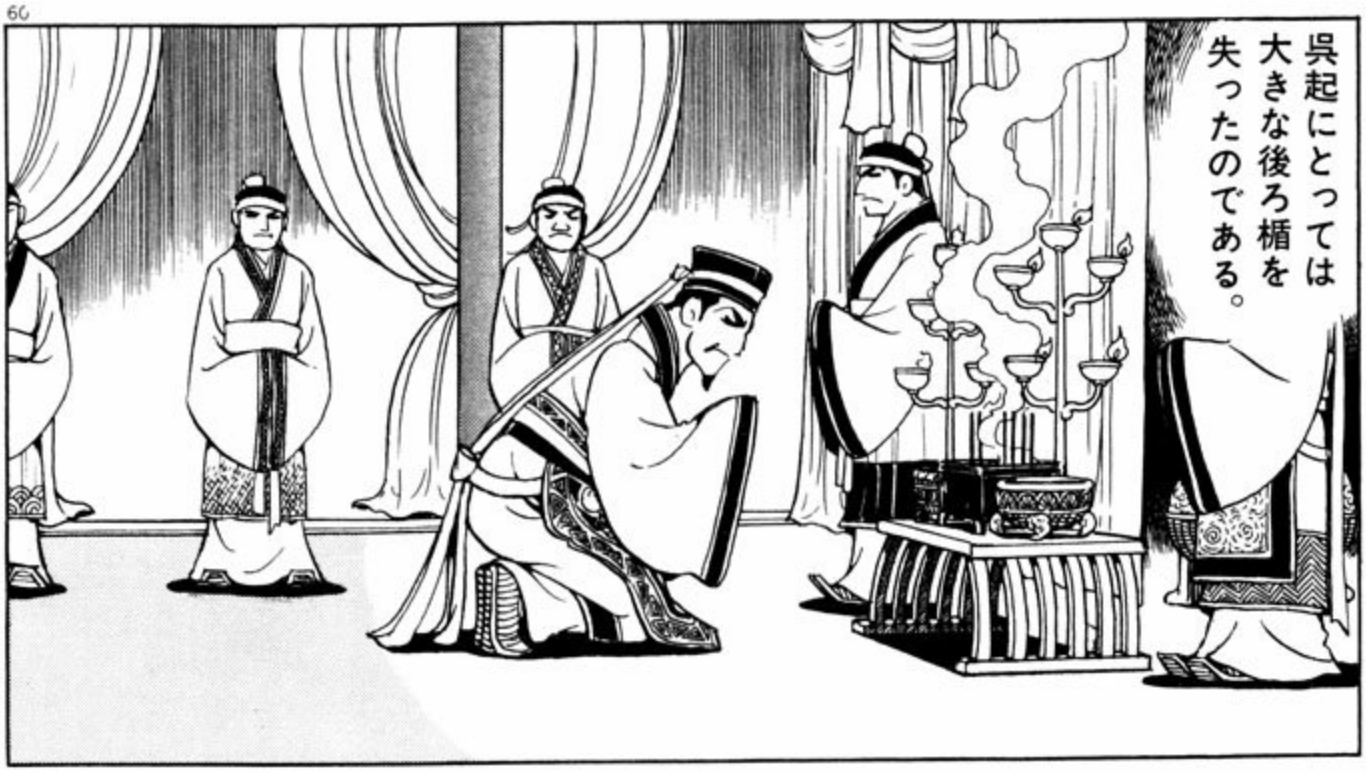
こうして楚は
天下の諸侯を
震えあがらせる
ほどの強大国と
なった。

59

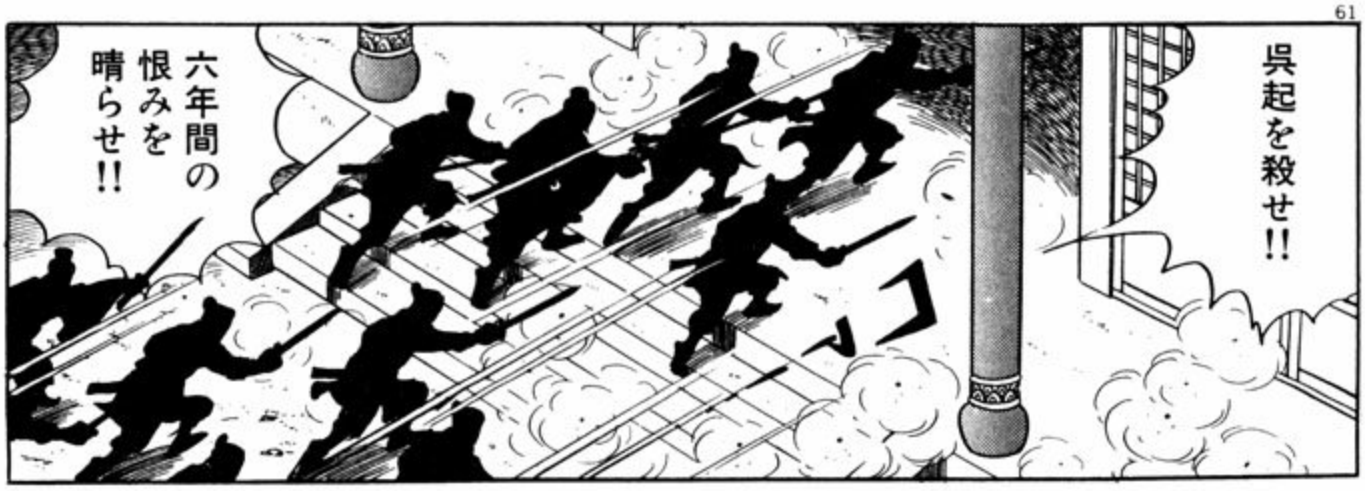
この大戦果をあげた
前三八一年、
悼王は突然
この世を去った。



60



この時を待っていたとばかりに
特権をうばわれた貴族や
解雇された役人が反乱を起した。



呉起さまーっ!!

大変でございます！特権を奪われた貴族達が結束して反乱を起こしました!!

なにっ!!

早くどこかに身を隠してくださいませ!!時がたてば呉起さまのためには命も投げだす兵士や将が駆けつけて参りましょう。

だが、その間どこに身を隠せばよい!?

そうだ、一か所だけ身を隠せる場所がある！

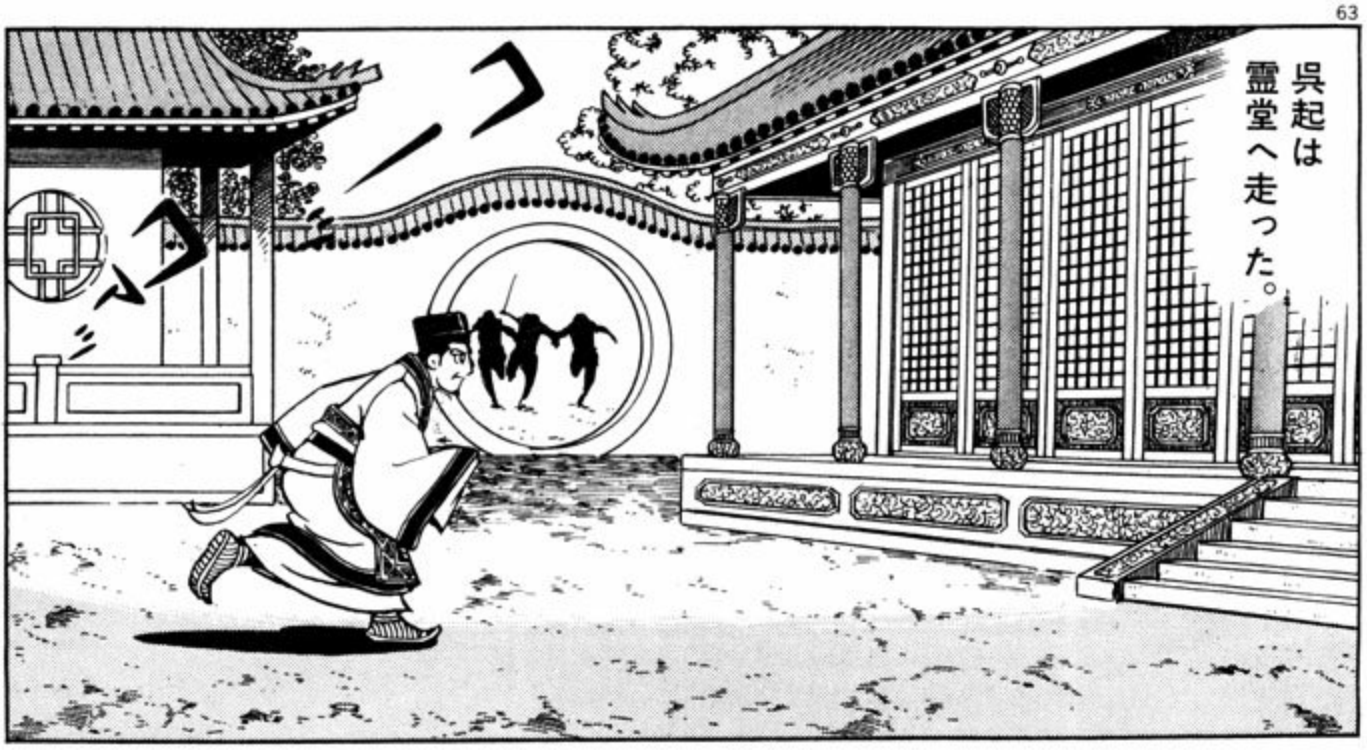
どこにございまする!?

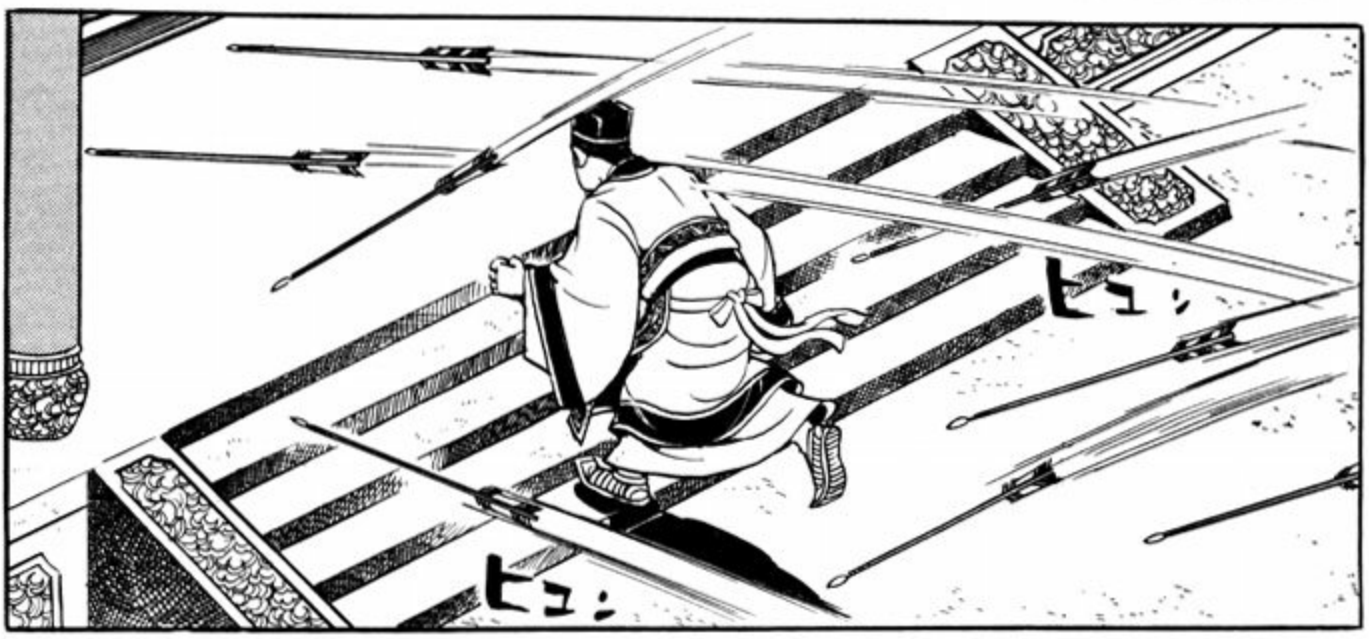
悼王の遺体を安置している霊堂だ！

楚の法では王の遺体に武器を触れたものは重罪で罪は三族におよぶことになっている。霊堂まではふみ込めぬ！
おお、さすが呉起さま！

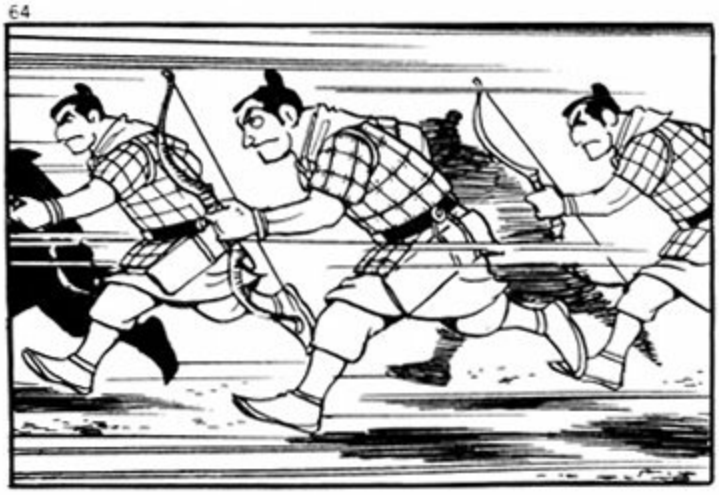
よし、わしは霊堂に逃げ込む。そちはただちに将兵達に伝えよ！
はっ！

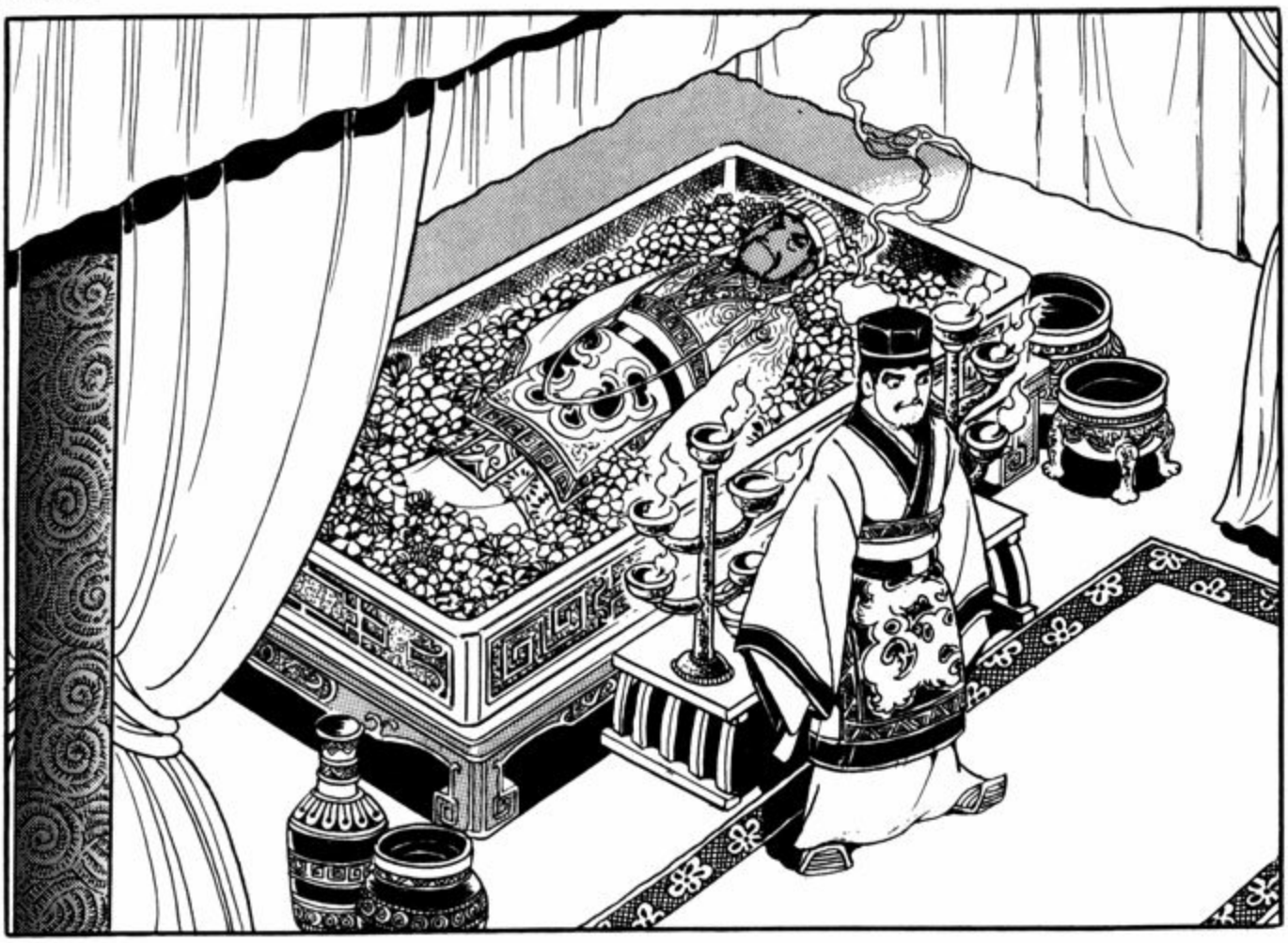
63


呉起は霊堂へ走った。

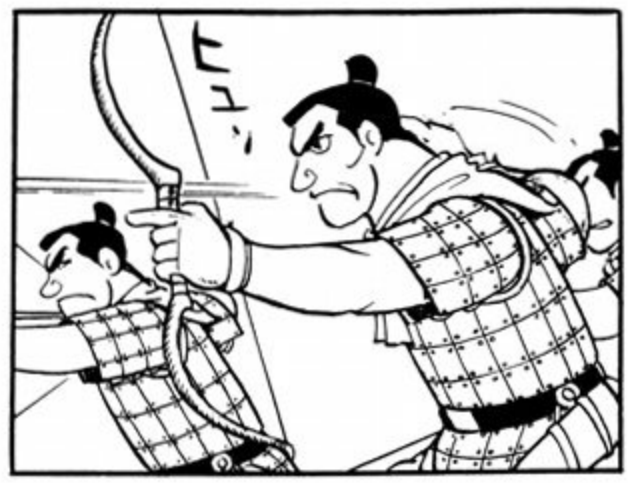


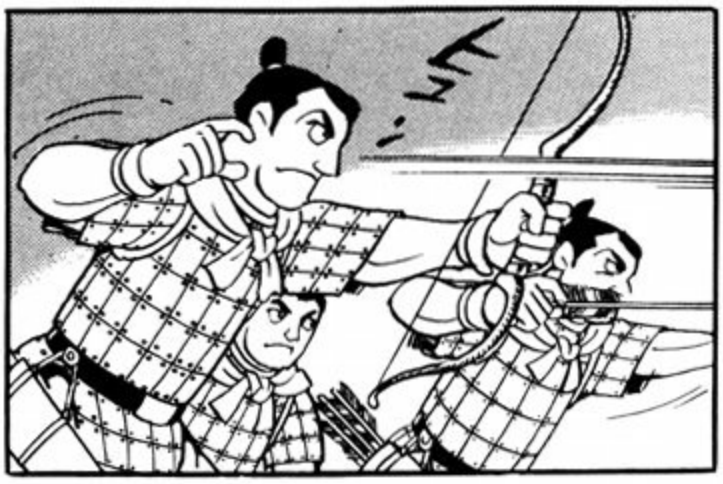
64



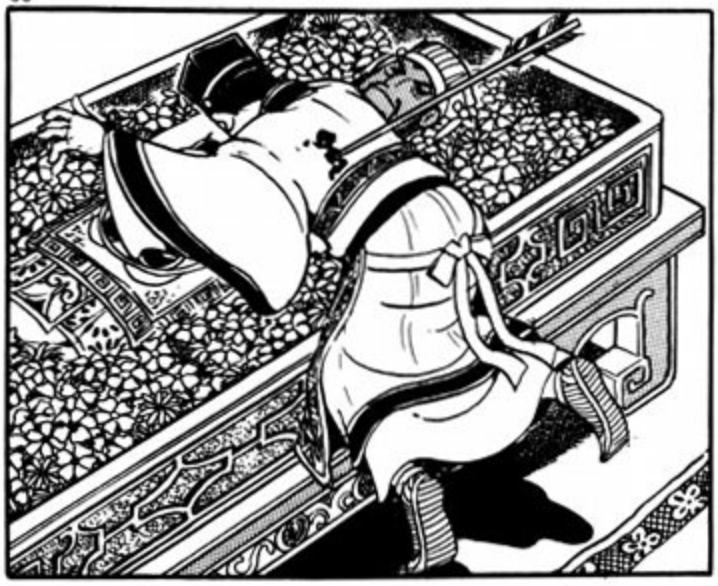


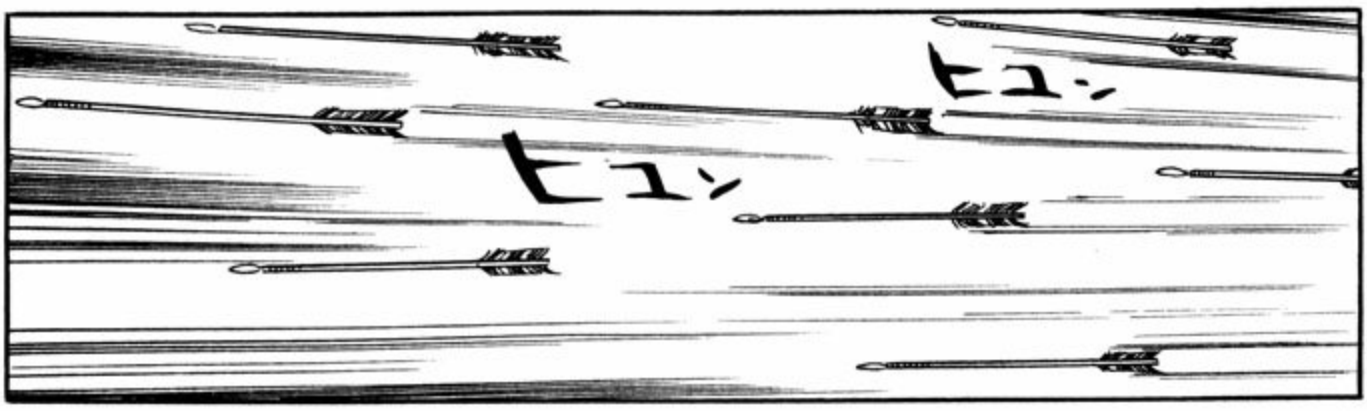
65



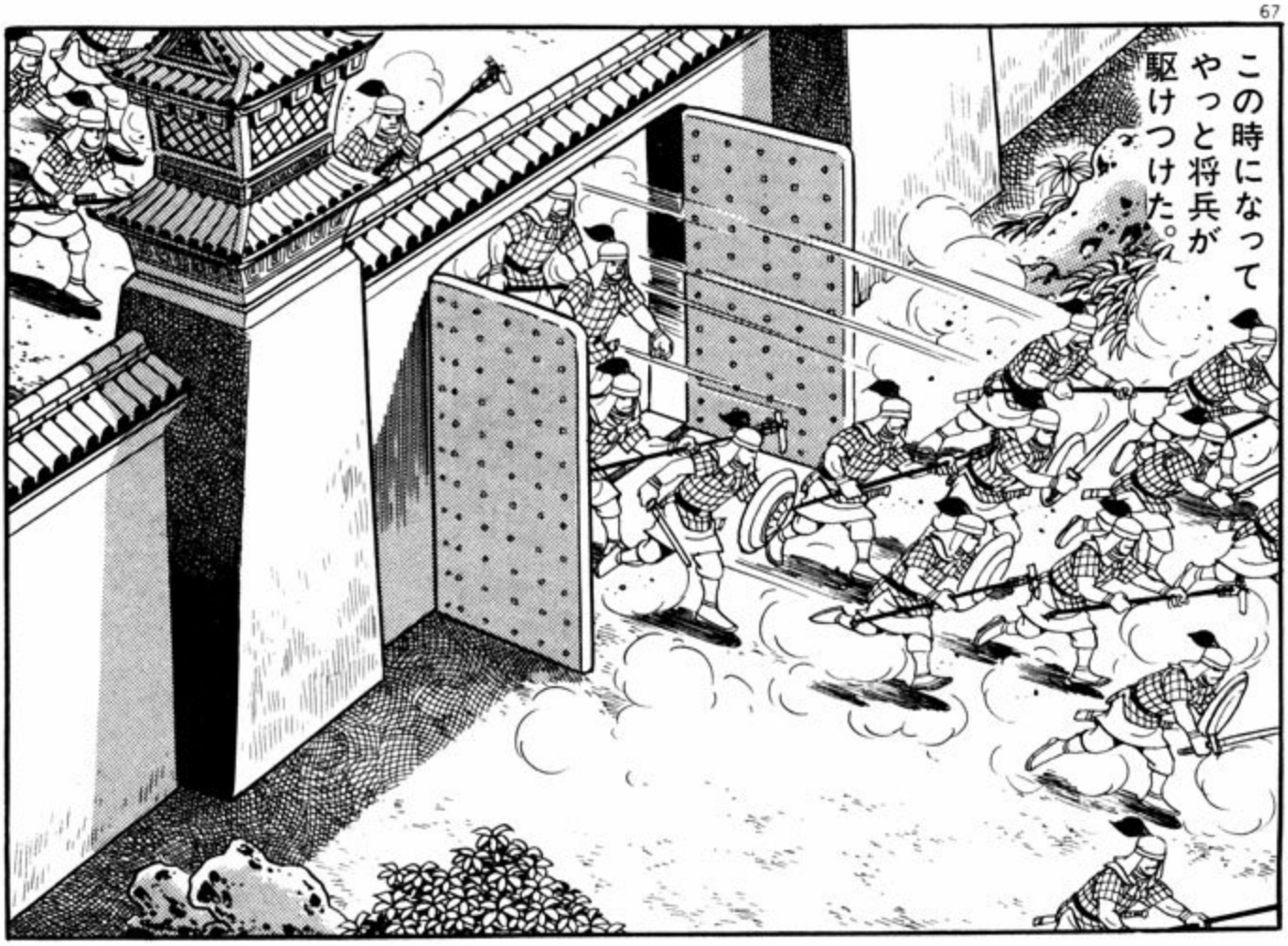


66





67



反乱軍は
たちまち鎮圧
された。

宰相！
……

呉起さま！
ご無事で
ございます
るか!?

うっ……

68

ああっ
……

呉起と悼王の遺体に
無数の矢が
刺さっていた。

悼王の後を継いだ粛王は
悼王の遺体に矢を当てた
者は死刑とした。さらに
この事件に連座した一族も
皆殺しとした。その数
七十余家にのぼったという。
だが、楚は再び門閥体制に
逆戻りしてしまった。
呉起の改革は古池に一石を
投じて、少し波紋を広げた
程度で終わってしまった
のである。

70

第３話

孫子の兵法

春秋時代末期と戦国時代にかけて二人の優れた兵法家がいた。孫武とその後裔の孫臏である。どちらも兵法書を残したため不朽の兵法書『孫子』は、どちらの書かと諸説がある。現代では、どうやら孫武のものであろうという意見が有力である。史記ではどちらの書かはっきりさせずに、二人を記している。

おう、そなたが十三篇の兵法書を書いた孫武か、全部読んだぞ。

はい。

なかなか見事なものである。感心してそなたを斉(せい)から招いた。

光栄に存じます。

3

ところで試しに兵士の調練のやり方を見せてもらいたいのだが……。

よろしゅうございます。

4

こうして宮中の美女百八十人がかりだされた。

呉王は台の上で
その調練を
見ることにした。

そなた達は
二組に分かれ、
矛を持て！

5

結構 結構
それでよい。

そして 呉王の
寵姫二人を

それぞれの
隊長とした。

6

そちたちは
自分の胸や左右の手
背中を存じているな。

まあ、
そのようなこと
誰も知って
おりまする。

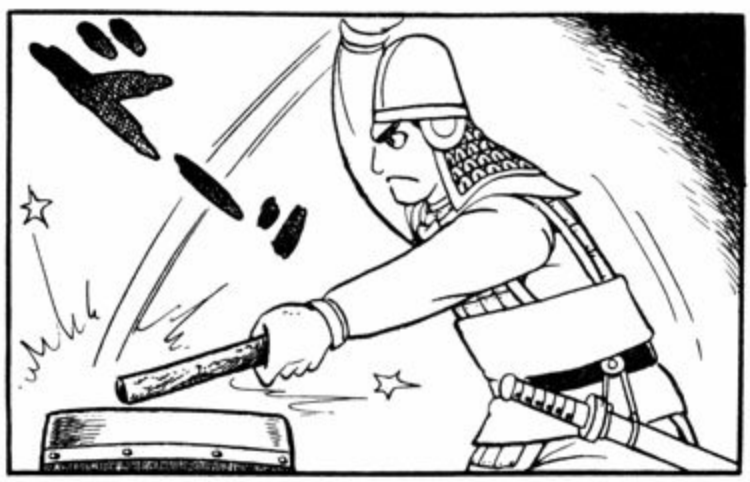
では、大鼓の合図とともに前といったら自分の胸を見、左といったら左手を右といったら右手を見背といったら後ろを向け!!

孫武は同じことを噛んで含めるように五度繰り返した。

7

そして孫武は刑罰に使う斧を手にした。

よし、右!

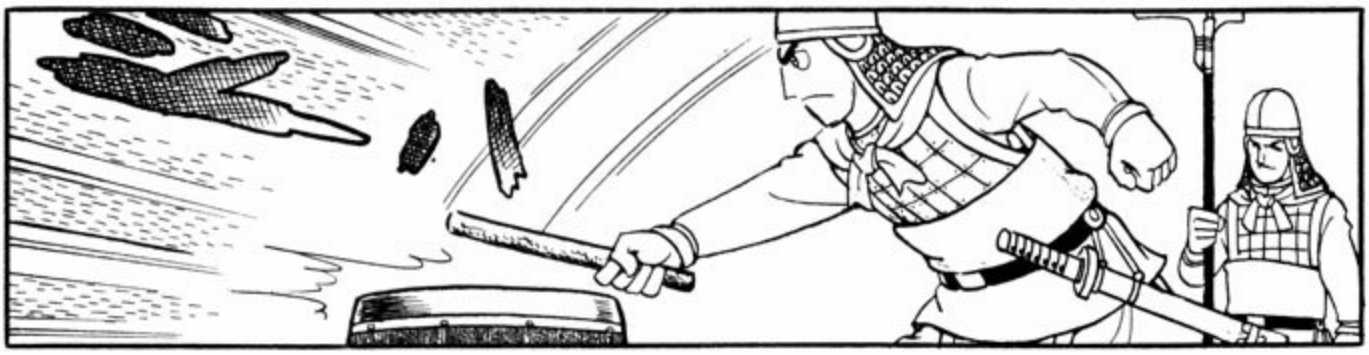

ドーン

ほほほほ
ほほほほ

呉王さま、これは将たる者が命令を理解させなかったからで、わたしの責任でございます。

8

そして前と同じことをくどいくらいに繰り返した。



9

先程は
わたしの落ち度で
あった。
だが、こんどは違う。
全員が命令を
よく理解している
はずである。
命令通りに
動かぬのは
隊長の責任である。

10

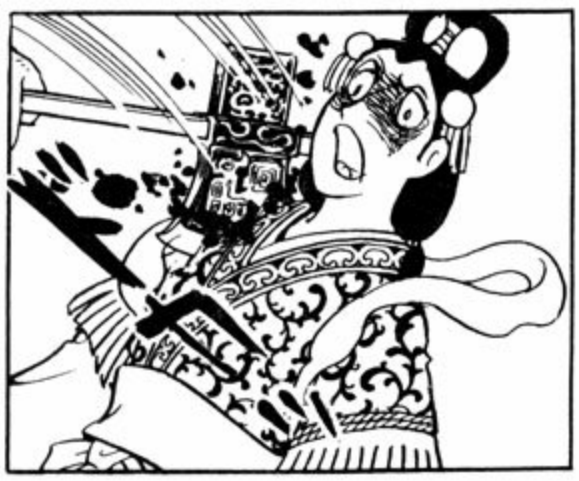
この部隊の将は
それがしに
ございます。
将が軍にあるときは
君命たりとも
お受けできないことが
ありまする。

隊長としての
責任をとって
もらう!!
ひいーっ!

ビュッ

ビュッ

11



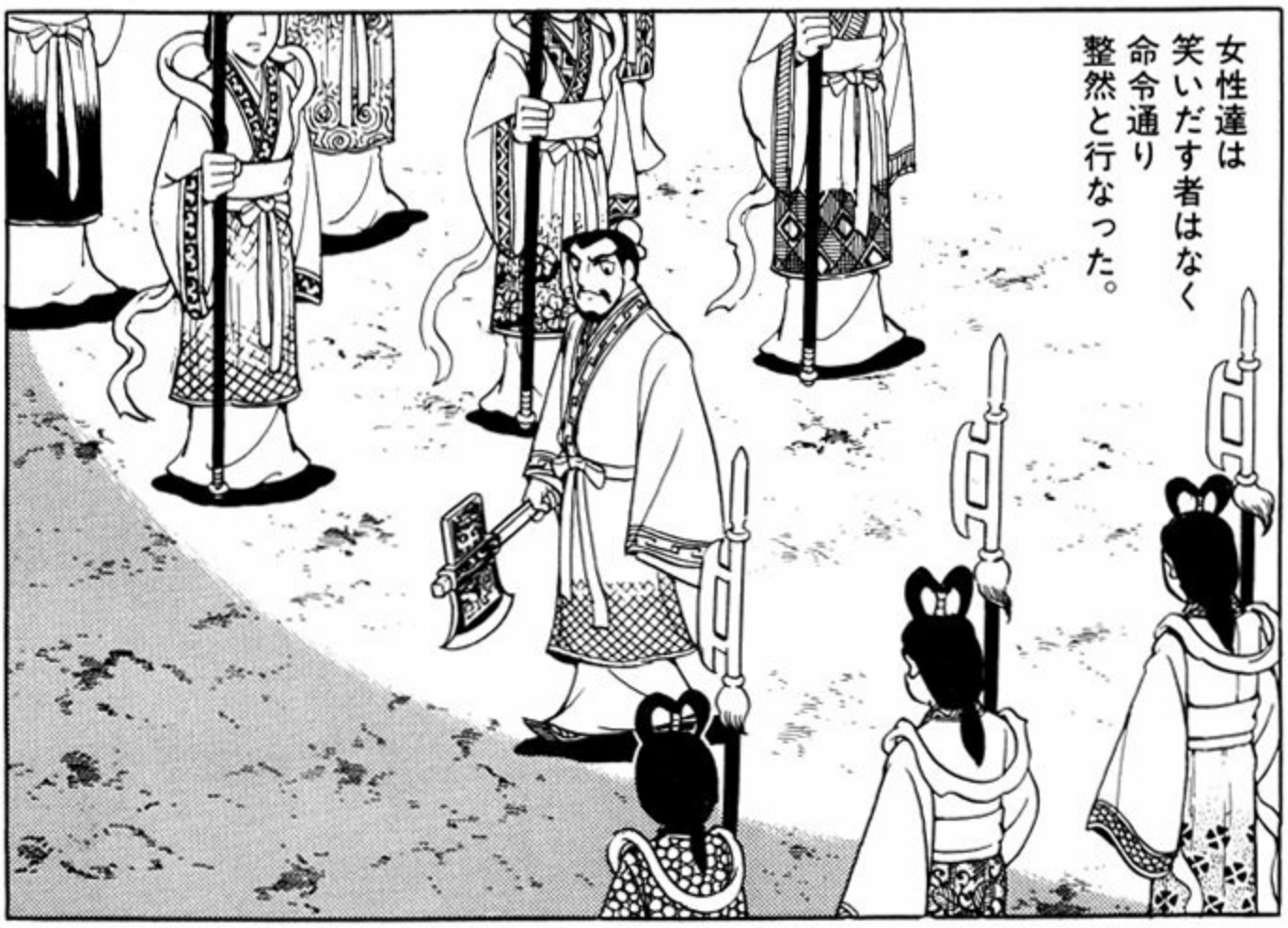
あわわー
……

次は
そち達に
隊長になって
もらう。

は…は
はい…！

12

13



呉王さま、これで調練を終わります。呉王さまが命令を下されても同じように動きまする。お試しくださりませ。

いや、もう十分わかった…。宿舎に戻って休息されよ。

これが兵法にござりまする。王さまには兵法の理論だけがお好きなようでございますな。

14

わかった！ようくわかった！

では、これにて……。

だが
これで呉王は
孫武の才能を
改めて認め
呉の将軍として
迎えた。

15

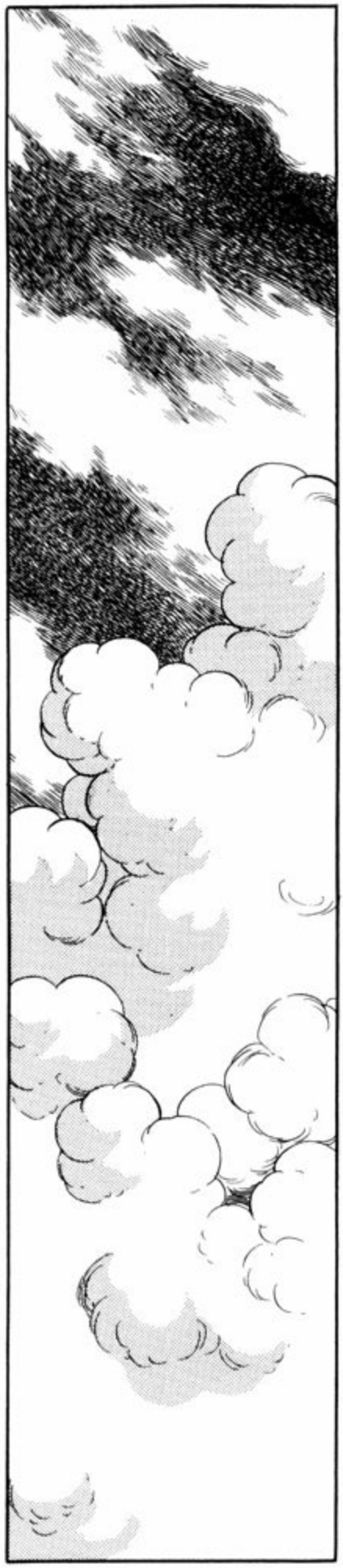
孫武を迎えて
呉は強国にのし上がった。
西の強国楚を攻め、

さらに北は
斉・晋を脅かし
諸侯に恐怖を
与えた。
これ全て孫武の
力であった。

16

その疾きこと風の如く
その徐かなること林の如く
侵掠すること火の如く
動かざること山の如し
孫子

それから百余年―



孫臏が登場した。

孫臏は孫武の末裔である。孫臏は最初孫濱といった。

孫濱は若い頃から兵法を学んだ。同門に龐涓がいた。

18

龐涓も秀才であったが、孫濱のほうが常に上であった。

龐涓は友の孫濱をだんだん妬み憎むようになっていった。

その後、
龐涓は魏に仕えた。

そしてその才能を
高く買われて
大将軍にまで
出世していった。

19

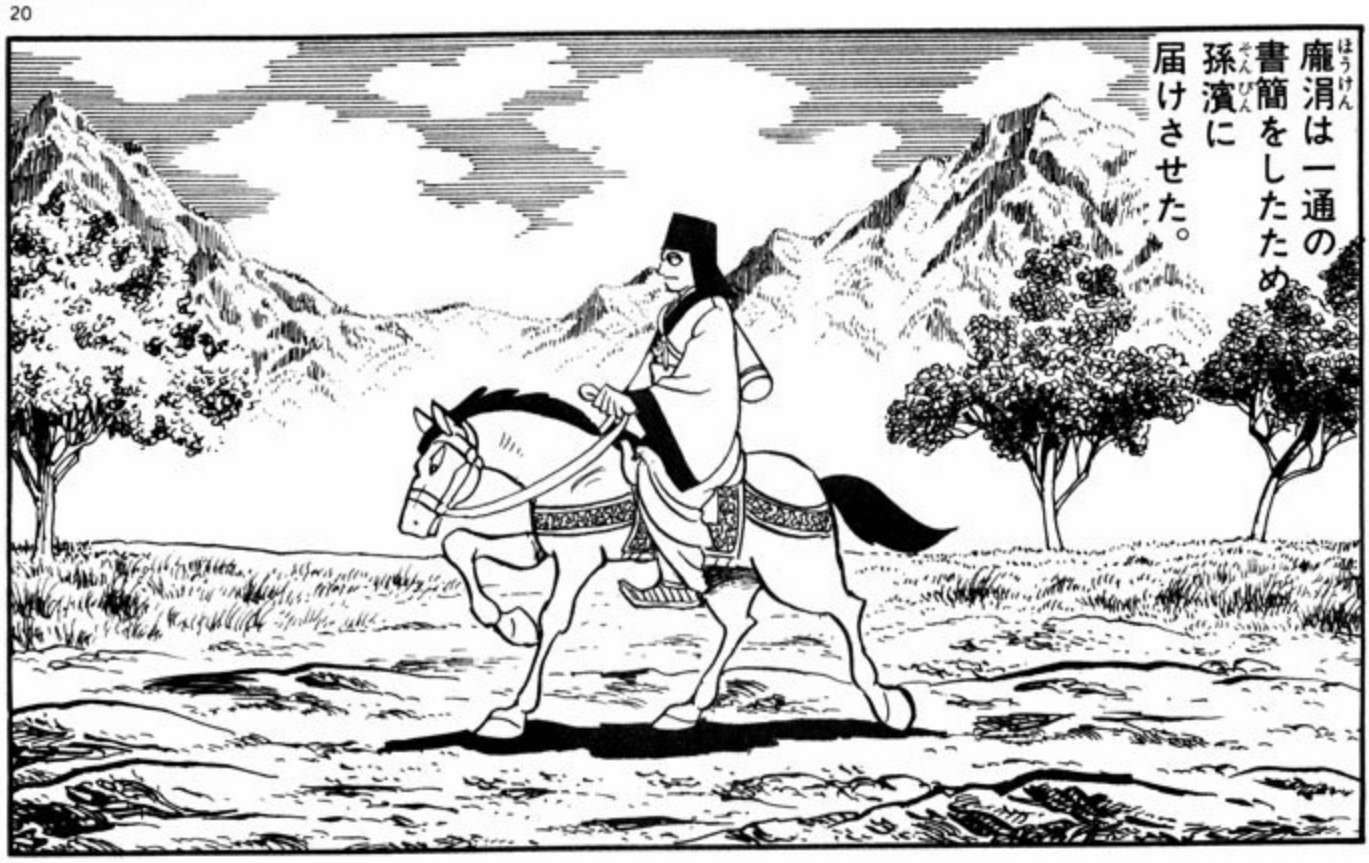
だが、龐涓の頭から
孫濱のことだけは
こびりついて
離れなかった。

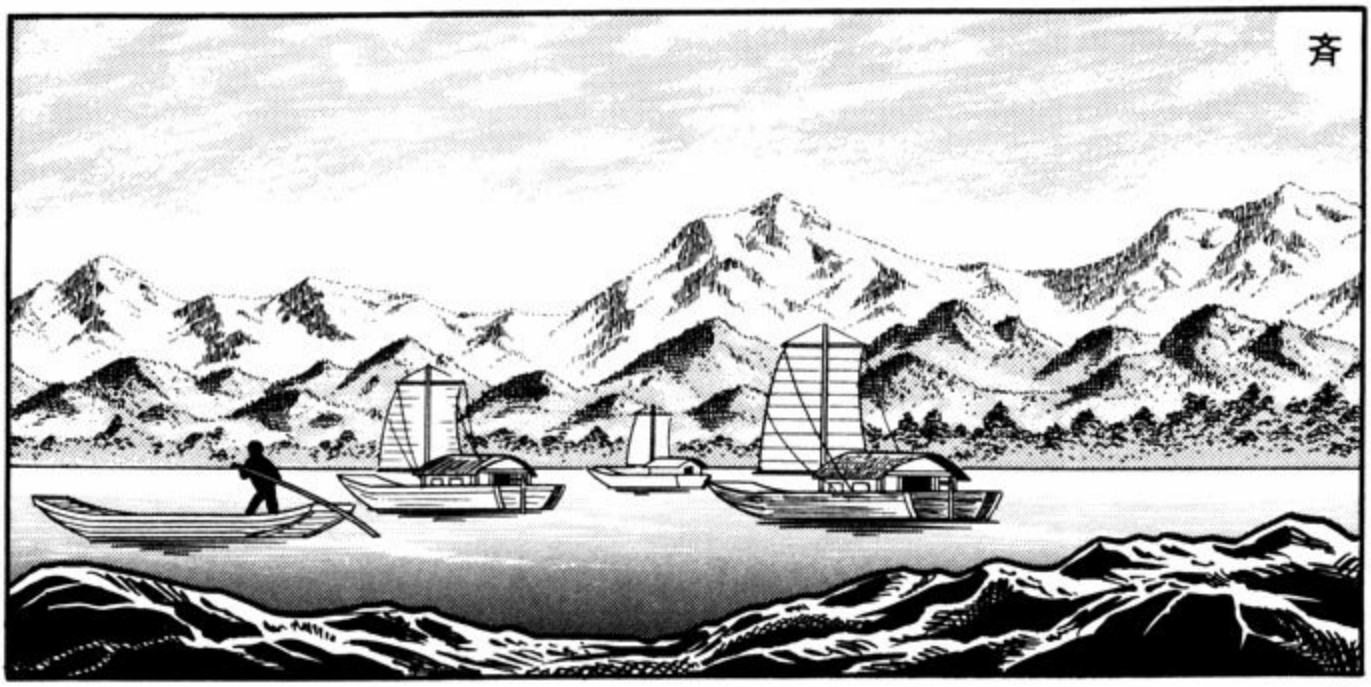
いずれ斉とも
戦わねば
なるまい。
だが、あの男が
いる限り……

今のうちに殺しておいたほうが将来のためになる……。

よし……。

20




斉

21

貴公と別れて
もうずいぶんになる。
わたしも 今
魏の大将軍に任命された。
魏と斉は 今
不穏な関係にある。
一度 遊びがてらに
魏にお越しくださらぬか。
そして両国の関係が
うまくいくよう
話し合いたいと思う。
龐涓

そうか龐涓が
魏の大将軍に
出世したか
……。

国のためになるなら
一度遊びにいって
話し合うのも
悪くないな。

孫濱は龐涓の
友情を疑わず
魏へ向かった。

22

龐涓は喜んで
孫濱を迎え
連日宴会を開いて
もてなした。

ところが
ある日突然
魏兵がなだれ
こんできた。

何をなされる！
わたしは
龐涓将軍の
客人だ!!

だまれ！
その方が
斉の間者で
あるという
訴えがあった!!

それは何かの
誤解でござる。
龐涓将軍に
説明していただく。
将軍をお呼び
くだされ!!

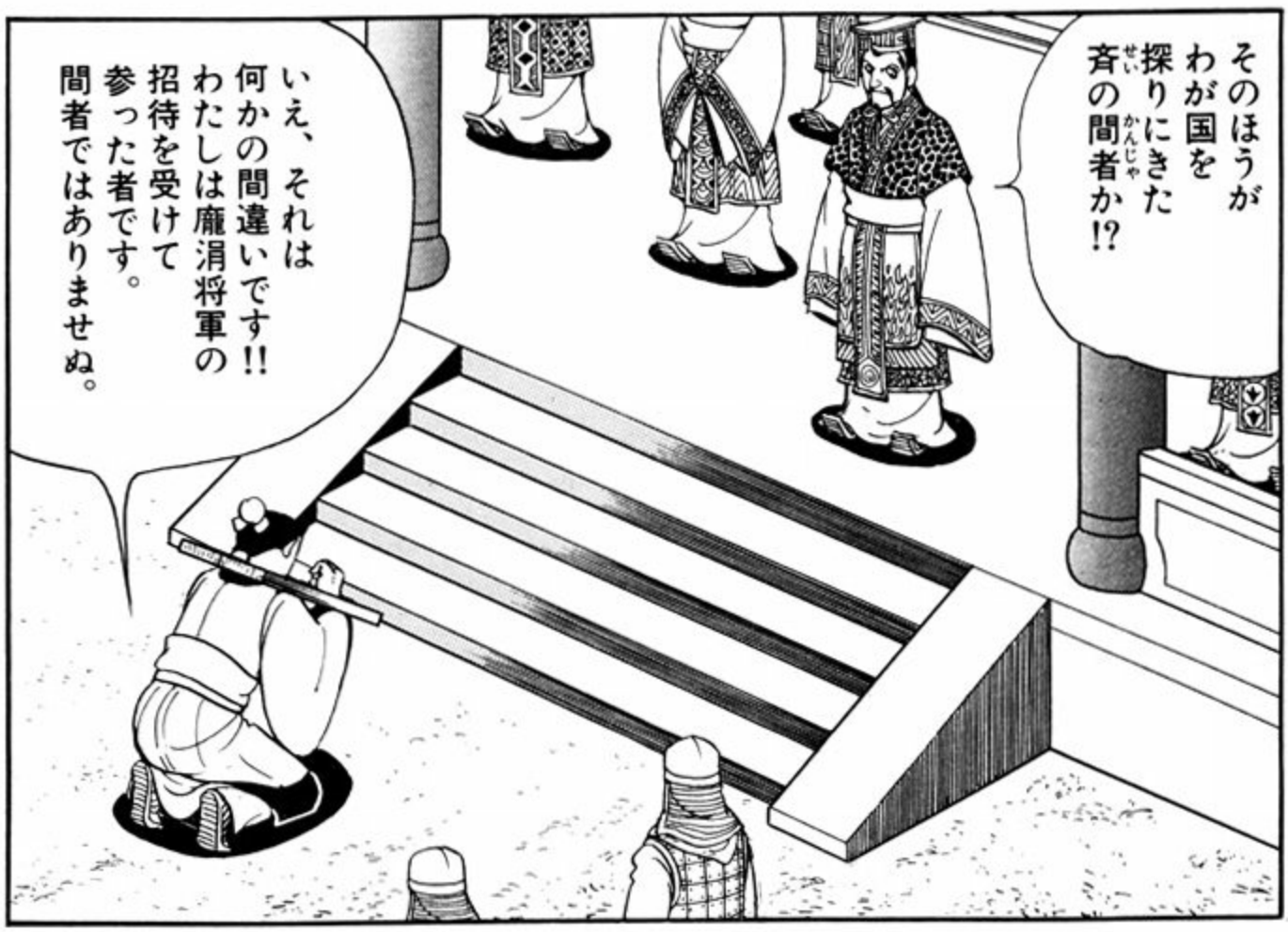
将軍は
留守じゃ!!

留守…？
将軍の留守の間に
あなた達は
勝手に入って
きたのか!?

うるさい！
いいたいことが
あるなら
恵王に申せ!!

しまった！
これは
龐涓の
罠だ!!

24


そのほうが
わが国を
探りにきた
斉の間者か!?
いえ、それは
何かの間違いです!!
わたしは龐涓将軍の
招待を受けて
参った者です。
間者ではありませぬ。

黙れ黙れ!!
逃げ口上など
聞かぬ!
こやつを即座に
打ち首とせよ!!

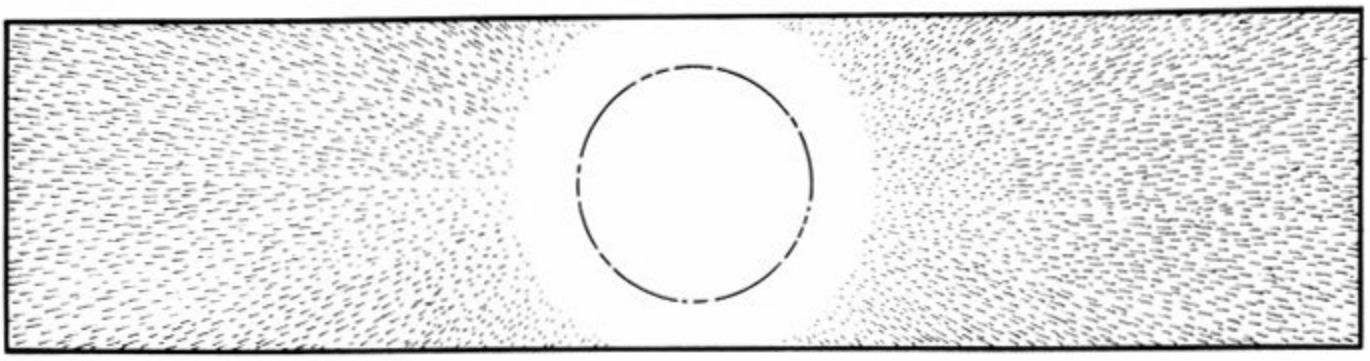
お待ちくださいませ。
調べもせずに
他国から来た招待客を
打ち首にしては
恵王さまの名に
傷がつき
ましょう。

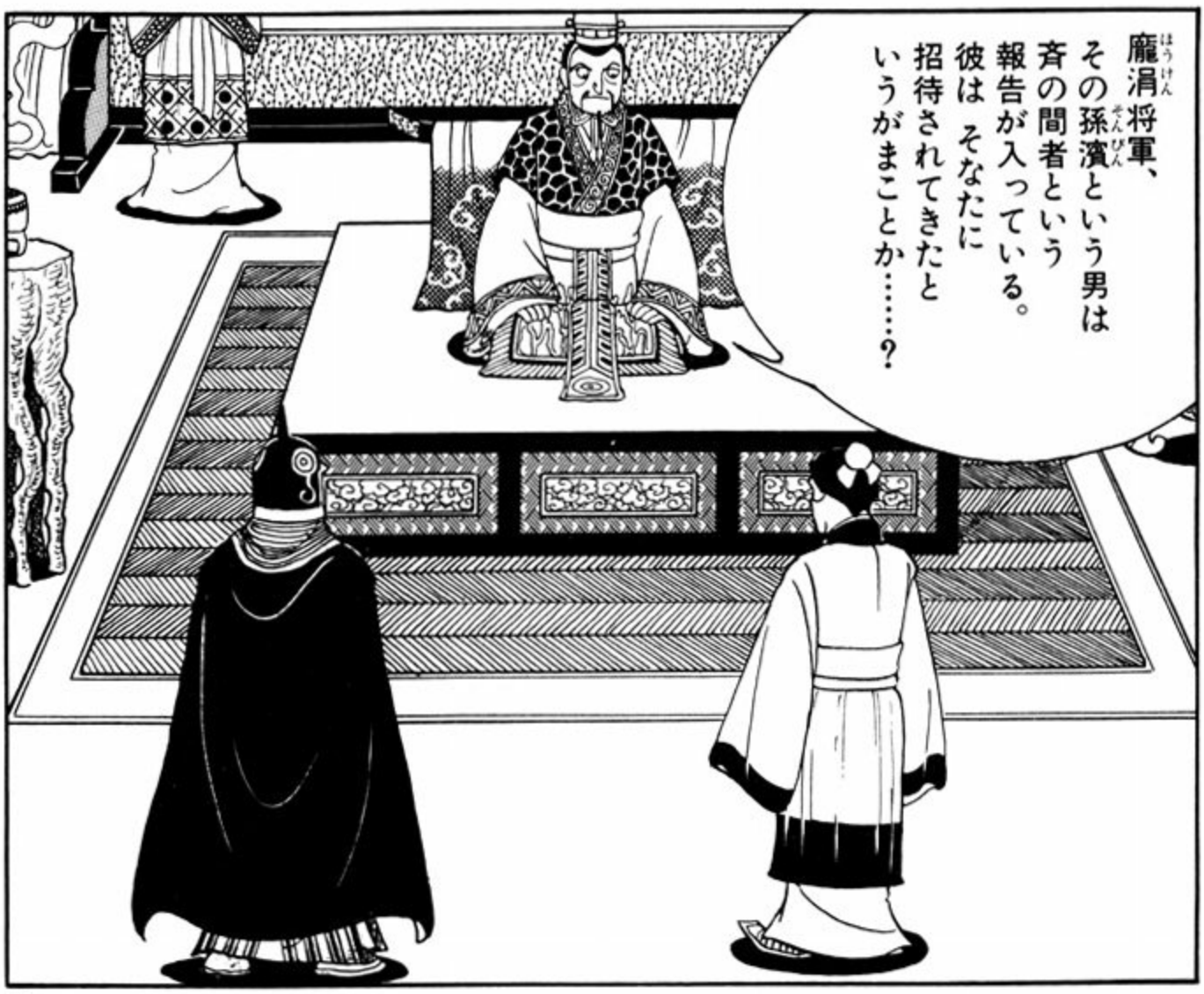
なにっ!
……

ムムム……
こやつのいう通り
一方的に
処刑するのは
世間態が悪い
のう……。

25

よし、ならば
龐涓と
対決させよう。
それで白黒を
つける!!




龐涓将軍、
その孫濱という男は
斉の間者という
報告が入っている。
彼は そなたに
招待されてきたと
いうがまことか……？

26

龐涓どの、そなたとわたしは
昔からの親友だ。
そなたに手紙を貰って
この魏にやって来て
間者の罪で殺されては無念だ。
そなたの招待を受けた
客だということだけは
証明してくれ。
そなたの口からそれを聞けば
殺されても悔いはない。

すでに
恵王と龐涓の間で
孫濱を殺すことは
決定していた。
しかし孫濱の言葉に
龐涓の心は少しひるんだ。

恵王さま、
それがしは
孫濱が斉の間者と
知らずに
招待したものに
ございます。

なにっ、
知らずに
招待したと
申すか!?

はい、しかし
間者とあらば
処刑するのは
当然で
ございます。

27

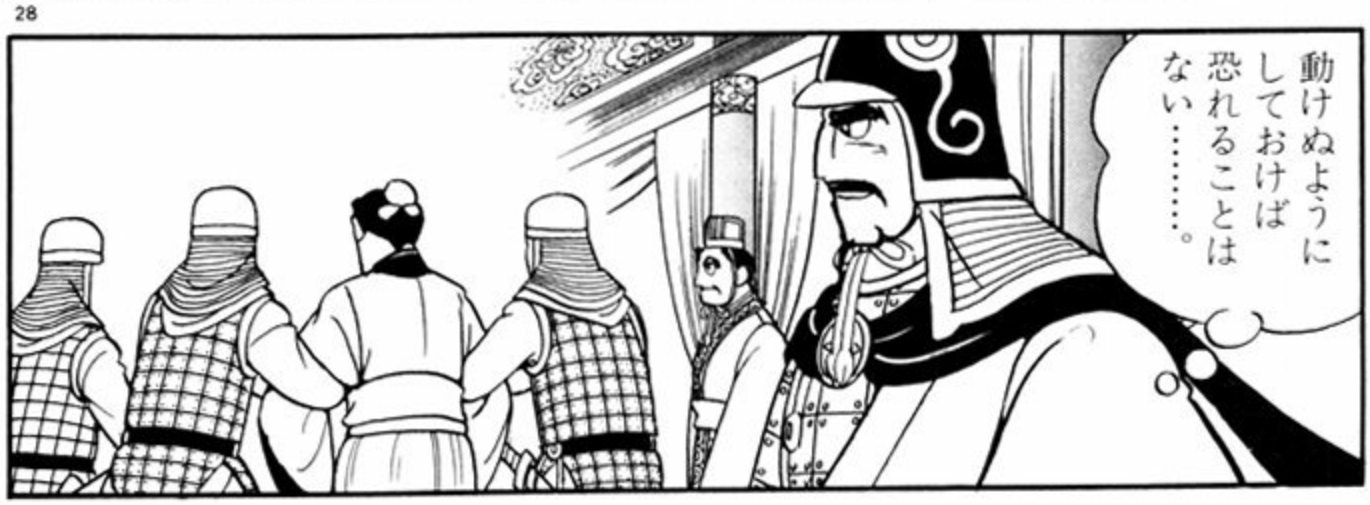
ただ 孫濱とは
竹馬の友でございます。
それがしの立場も
お考えくださって
打ち首だけはなにとぞ
お許しくださりませ。

龐涓め、
ひるんだな
……。

よし、将軍の友情をそれほどに大切にする気持ちに免じ、打ち首だけはやめよう。打ち首の代わりに両足を切断せよ。

ははーっ、お情け感謝いたします。

28



こうして孫濱の両足は……

無惨にも

切断された。

さらに 誰にでも目立つように額に罪人の入れ墨をされた。

孫濱どの、傷の具合はどうじゃ。

おかげでよくなりました。

必要なことはなんでもいってくれ。遠慮はいらんぞ。

これは友を裏切った自分への罪悪感を消すための振る舞いであった。

30

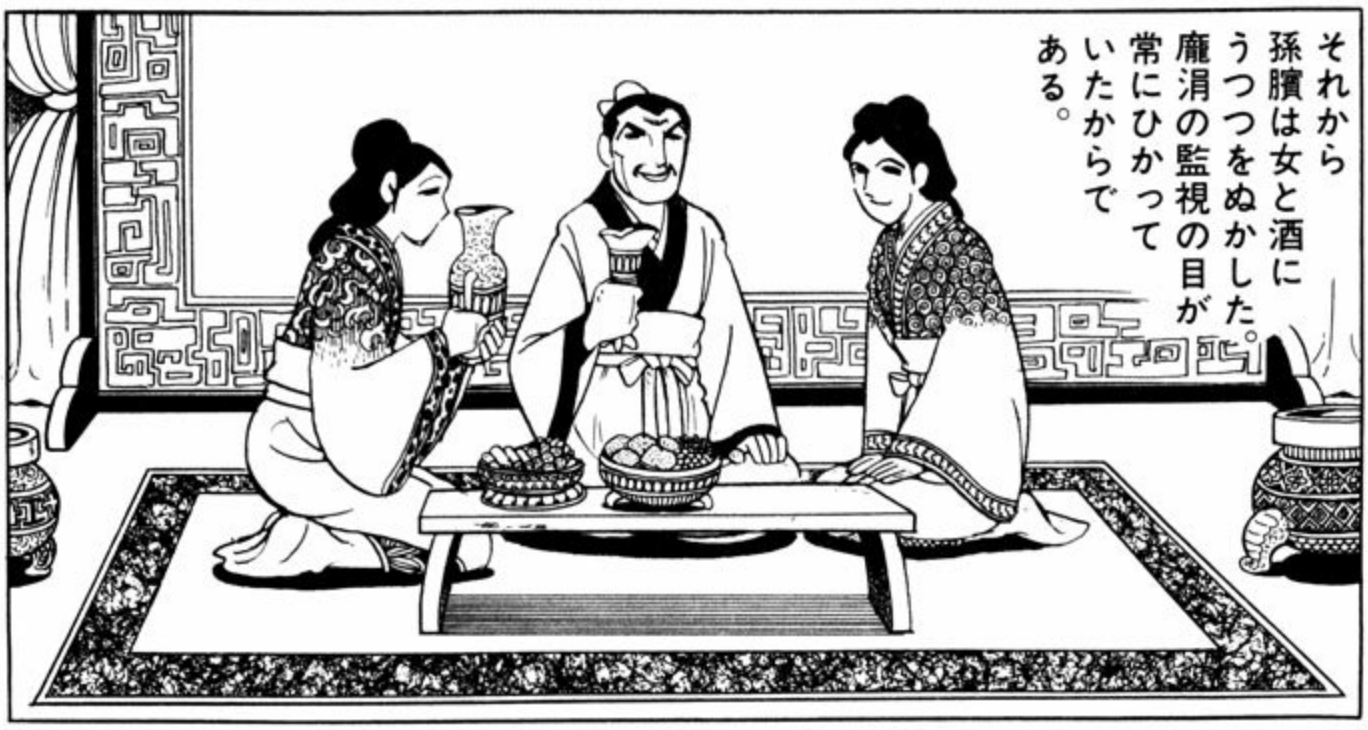
ところで、わたしは名前を変えようと思うのだが……。

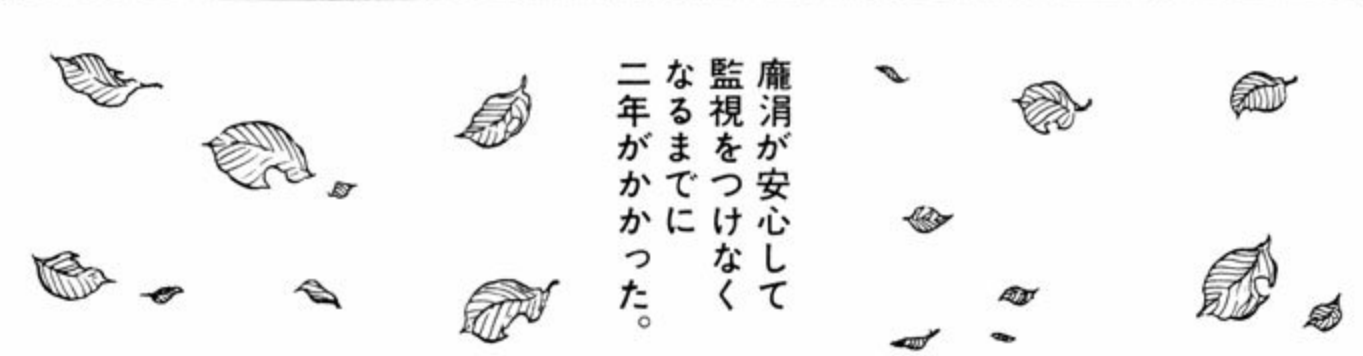
?

濱を臏(膝頭の骨)にしようと思うんだ。
ほう孫濱を孫臏に……

ははは　名前などどうでもいいが…さすがそなたらしいな。

孫臏は何事も運命とあきらめたように振る舞っていたが、内心は無実の罪を着せ自分をこのような境遇におとし入れた龐涓に激しい怒りをおぼえていた。


それから孫臏は女と酒にうつつをぬかした。龐涓の監視の目が常にひかっていたからである。


龐涓が安心して監視をつけなくなるまでに二年がかかった。

なにっ、斉から将軍が訪れていると……。

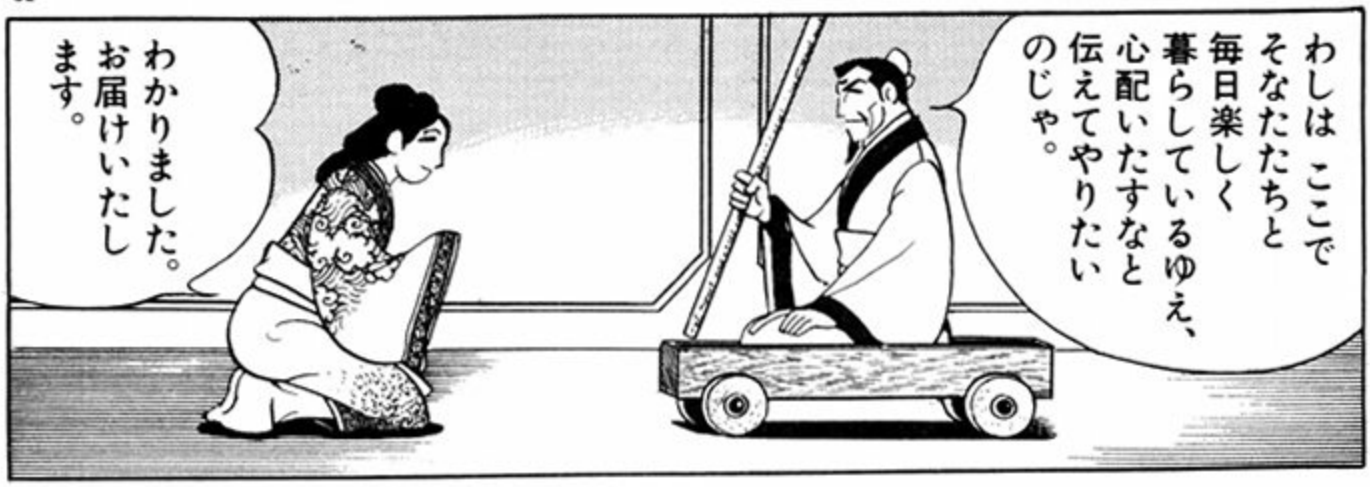
はい、田忌将軍というお方です。

そうか……。

のう、そなた田忌将軍に手紙を届けてくれぬか……。
えっ！

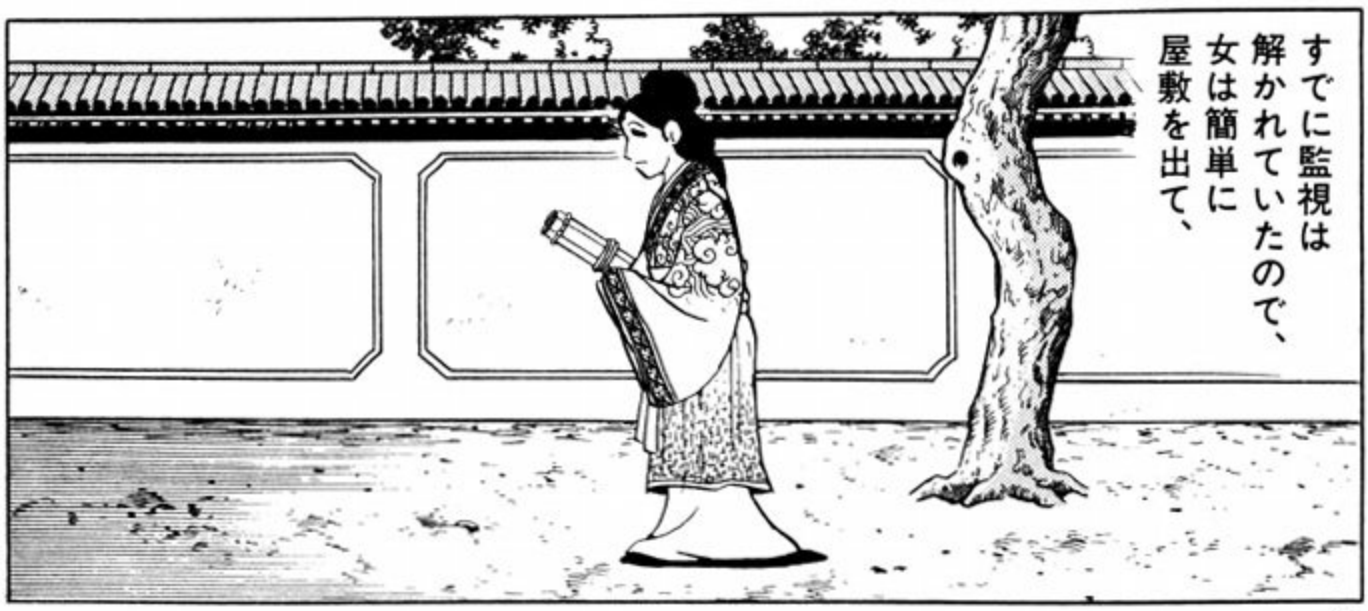
いやいや、わしはここにきてから斉の家族とは音信不通じゃ。

32


わしはここでそなたたちと毎日楽しく暮らしているゆえ、心配いたすなと伝えてやりたいのじゃ。
わかりました。お届けいたします。

孫臏は急いで
手紙をしたためた。

そして
女に手渡した。


すでに監視は
解かれていたので、
女は簡単に
屋敷を出て、

33

田忌に
その手紙を
手渡した。

田忌は 昔から
孫臏の才能を
知っていた。
その孫臏が
魏で捕われの身
同然でいることを
知って驚いた。

孫臏どのに
伝えてくれ。
われらは二十五日に
帰国するつもり
じゃとな。

はい。

34

旦那さま
お手紙渡して
参りました。

おう、
ご苦労…。
田忌将軍は
何かいわれた
か？

二十五日に帰国するとおっしゃっておられました。

そうか、二十五日に帰国すると申されたか……。

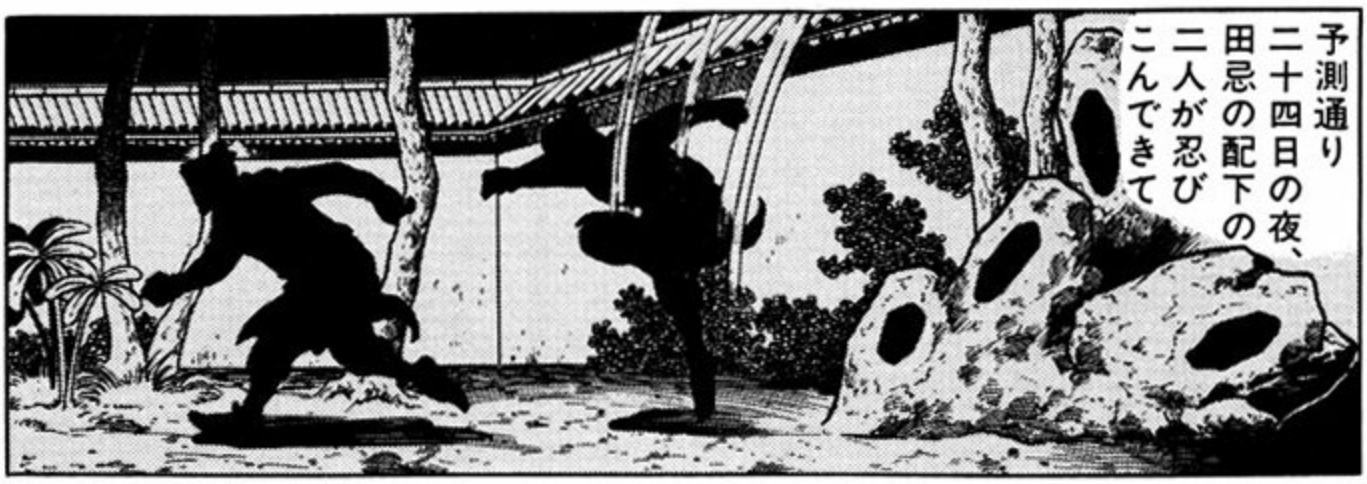
これはお礼じゃ。
まあ……。

だが、この事は誰にも申すなよ。

はい。

35

二十五日に出立ということは……助けにくるとしたら二十四日の夜じゃな。

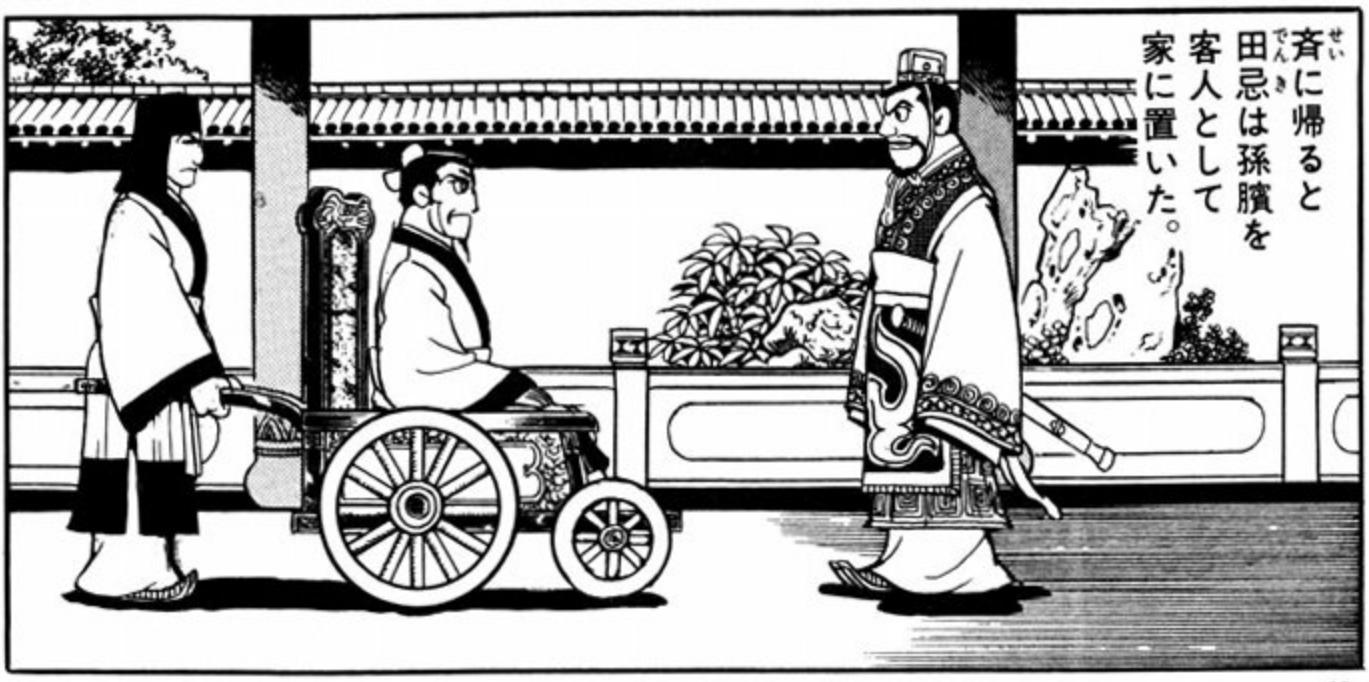

予測通り
二十四日の夜、
田忌の配下の
二人が忍び
こんできて

孫臏を
連れ出した。

そして
孫臏を
荷物の中に
隠して、

36

二十五日の早朝
魏を出立した。


斉に帰ると
田忌は孫臏を
客人として
家に置いた。

37

将軍、今日の
公子との
騎馬競走は
いかがにござり
ました。
いやあ、
また負けたわ。
ここ負けつづけで
賭け金を大部
取られたのう。

田忌は賭け事が好きで、
斉の公子らと
それぞれの三台の馬車を
三組に分け競走させ、
勝負を賭けて楽しんでいた。

絶対に勝てる方法を教えまするから、大金を賭けて今までの負けを取り戻しなされ。
そんな方法があるのか……!?

将軍が公子らに負ける理由をよく知っています。将軍のやり方ではなかなか勝てないでしょう。

な なぜじゃ?

わたくしが、それぞれ競走する三組の馬を比較してみますと、三組の馬の能力には差があり、上中下に分かれます。
その通りじゃ。

38

公子がよい馬で競走させる時将軍もまたよい馬で競走なされます。これでは かならず勝てるとは限りません。この方法を変えれば勝てまする。
どうするのじゃ?

まずこちらの一番遅い馬車を先方の一番速い馬車と組ませるのです。そしてこちらの一番速い馬車はむこうの中の馬車と組ませ、中の馬車を相手の一番遅い馬車と組ませるのです。

なるほど…！それならば二対一で勝てるな！
その通りでございます。

ありがたい！いいことを教えてくれた。これで今までの負けを全て取り返してやるぞ!!

39

田忌は王まで巻き込んで公子達と賭けをした。

結果は 孫臏(そんぴん)の
いう通りとなった。

40

田忌は 孫臏が
優れた兵法家で
それがため魏では
孫臏の両足を
切断したことなど
説明した。

ふむう……
そのような男が
いたのか。

優れた人材は
一人でもほしい。
会うてみる
つれて参れ！

ははーっ！

41

斉の威王は
すぐに孫臏と会い
いろいろ質問し、
その才能の
素晴しさに感心し
軍師として
迎えた。

それから間もなく

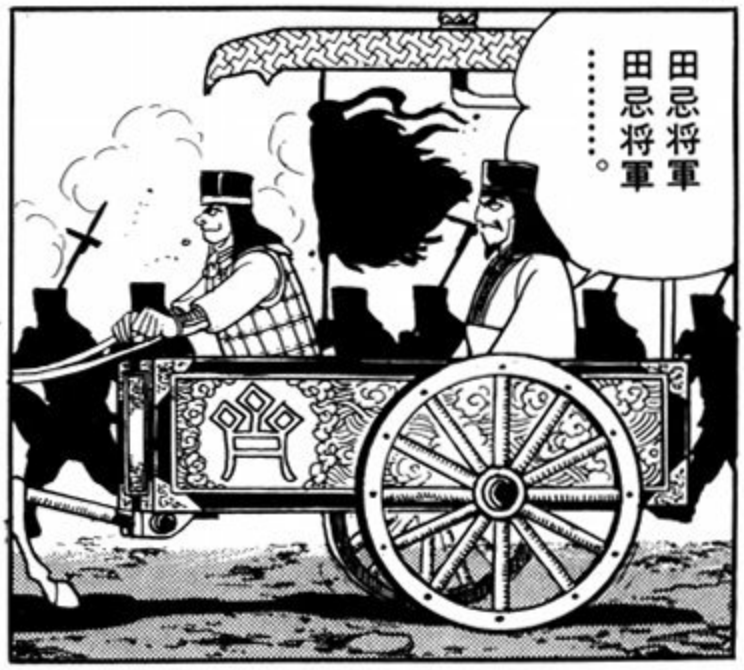
魏は龐涓を
総大将に
趙に攻め入った。

42

弱小国の趙は
斉に救援を
求めてきた。

斉の威王は
田忌を将軍に
孫臏を軍師として
救援に向かわせた。

43



将軍、直接
趙に兵を進めては
なりませぬ。
ほう、
どうして
だ？

縺れた糸を解くにも
むやみに引っぱったり
せぬものです。
他人の喧嘩の手助けをするに
しても いっしょになって
殴りあっていては駄目です。
相手の虚をついてこそ
形勢は有利になるのです。

今、魏は
趙との戦いに
精鋭をつぎこみ、
国内には老弱のみを
残しているだけで
ございましょう。
この際手薄になって
いる魏の都梁を
一挙に突くことです。
そうすれば 魏は
あわてて自国を
防ぎに戻りましょう。
さすれば
わが軍は一挙にして
趙の都の包囲を解かせ、
また魏軍を
疲れさせることが
できまする。

44

よし、
全軍
魏へ向かえ!!

なるほど
……。

斉軍は虚をつき
魏に攻め入った。

なにっ、
斉軍が
魏に攻め入って
きたと!?
はい、
魏を守るは
老兵ばかりに
ございます。
すぐに
ご帰国して
くださりませ。

45

よし、
陣払いじゃ。
帰国するぞ!!

魏軍は 本国の危機を
知り あわてふためき
昼夜を問わず駆け
帰国を急いだ。

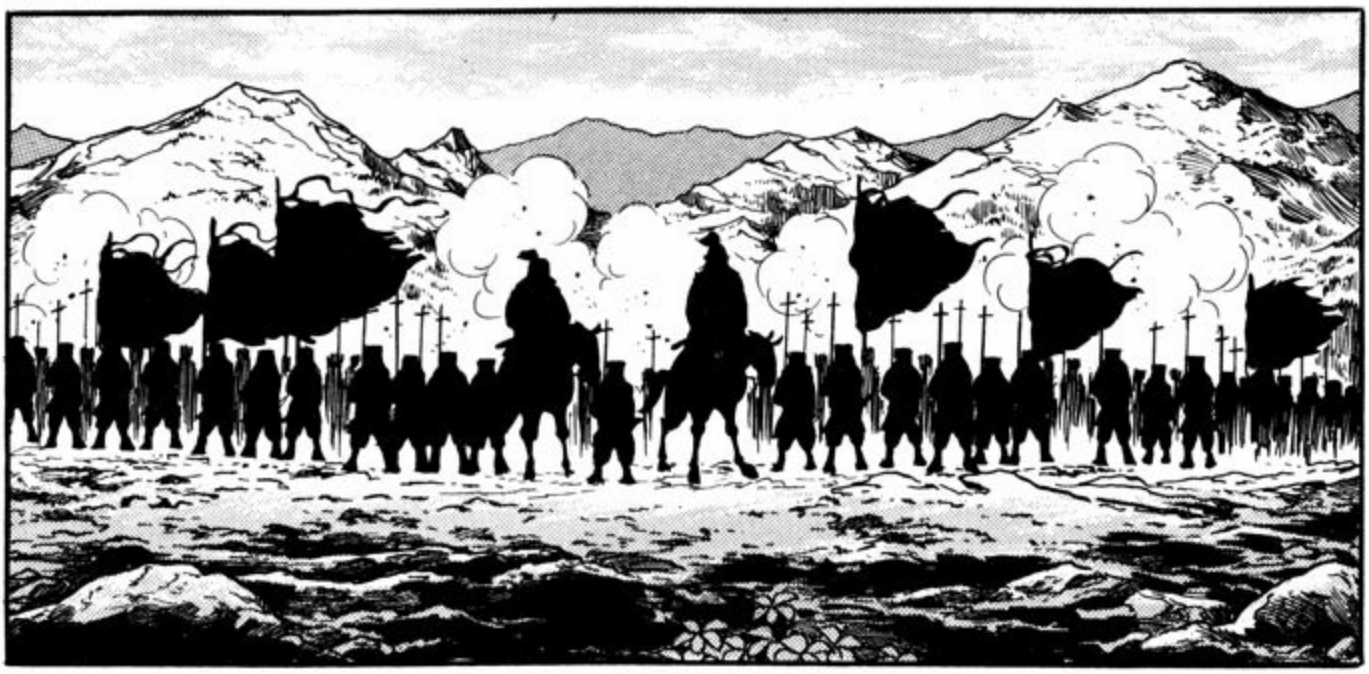
ハア
ハア
ハア

ハア
ハア
ハア

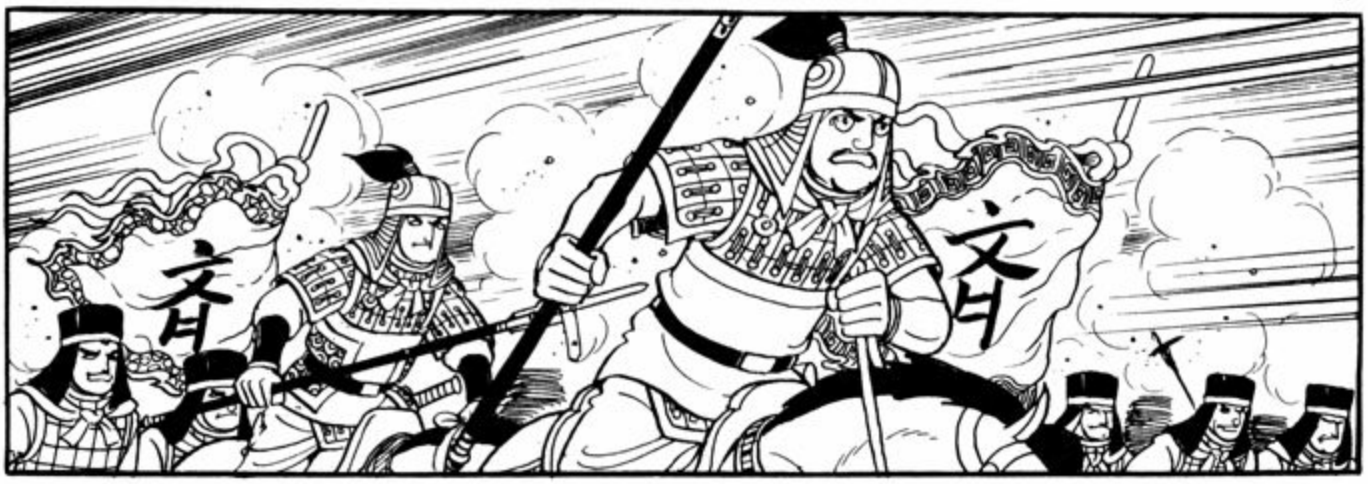
46

頑張れ！
もう一息だ!!
ぐずぐずして
いると
国が滅ぶぞ!!

うん…!?



47



だが、命しらずで強いといわれている魏軍も連日の強行軍で疲労困憊していたため勝負にならなかった。

魏軍は手痛い惨敗を喫して敗走した。

48

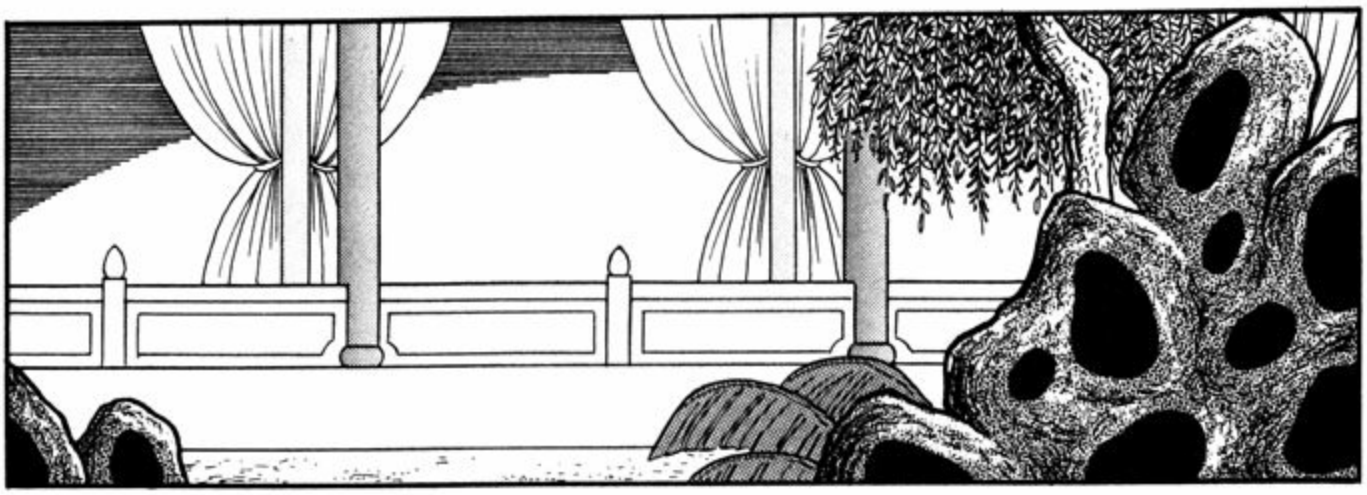
あとでこの作戦が孫臏の作戦だと知って龐涓は歯ぎしりした。

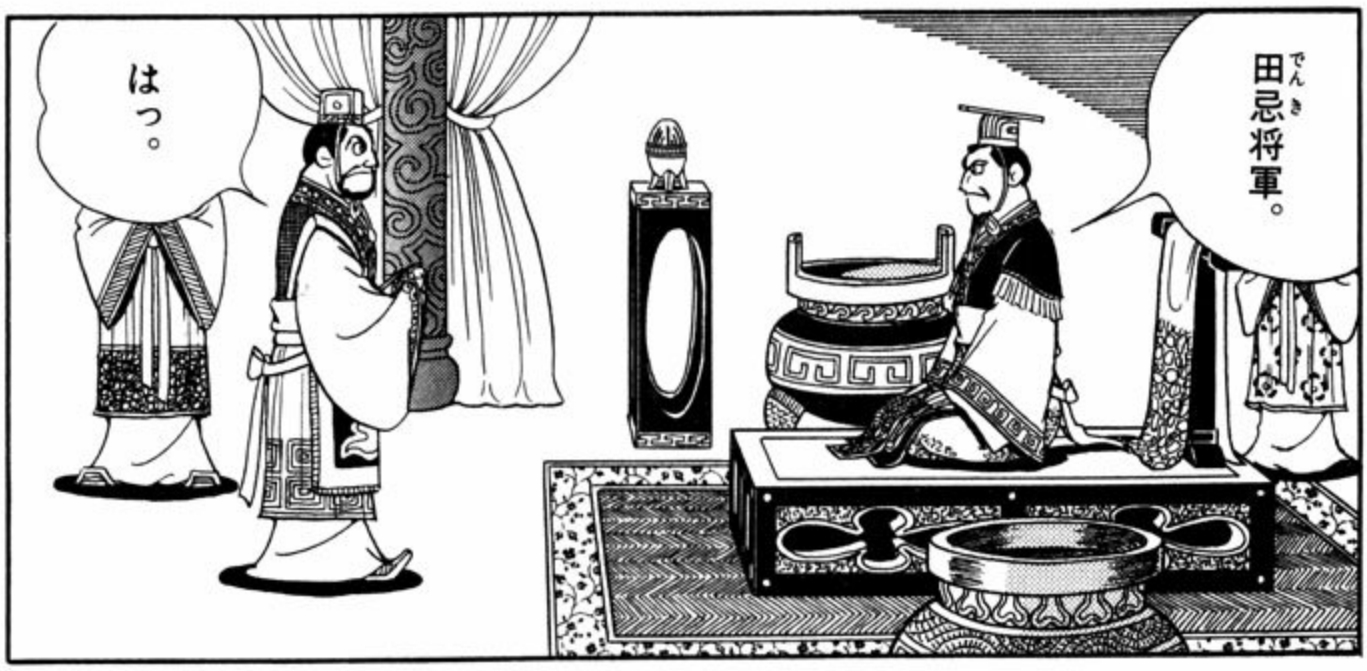
ああ あの時、殺しておけばよかった……。

それから十三年が過ぎた。
天下の情勢は
大きく変わっていた。

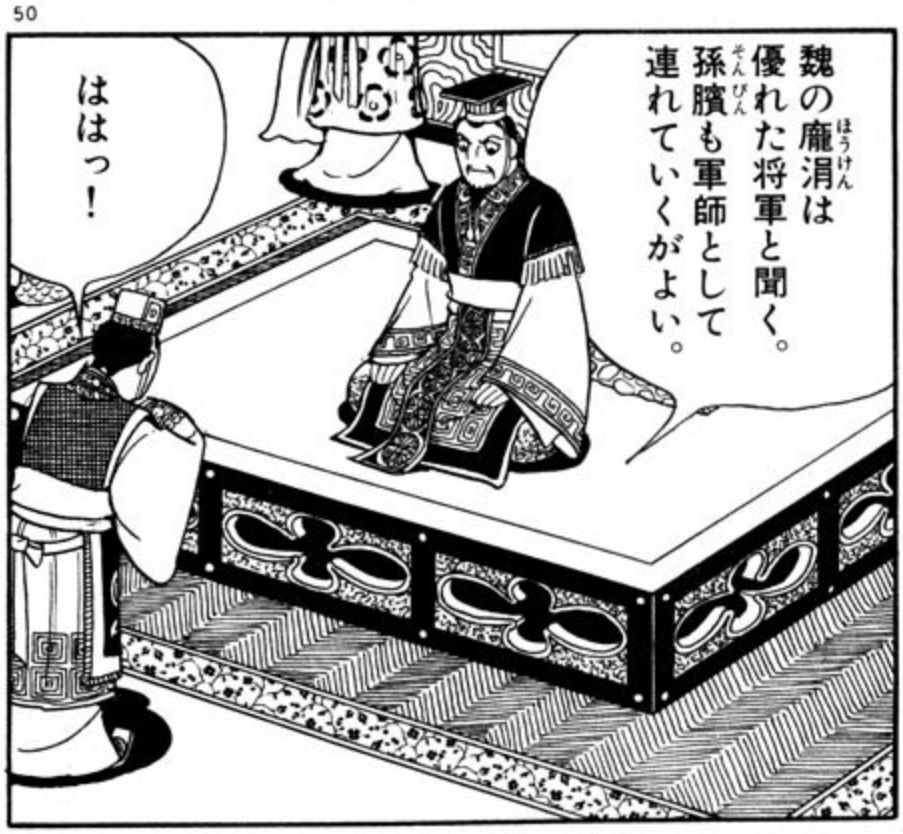
魏と趙は同盟を結び
斉の同盟国
韓を攻めた。

斉と魏の周辺諸国




田忌将軍。
はっ。

50


魏の龐涓は優れた将軍と聞く。孫臏も軍師として連れていくがよい。
ははっ！

韓は今魏と趙に攻められ、わが国に支援を求めて参った。そちはすぐに韓を助けに参れ!!

孫臏は学問所で一二を競った龐涓と再び戦うことになった。

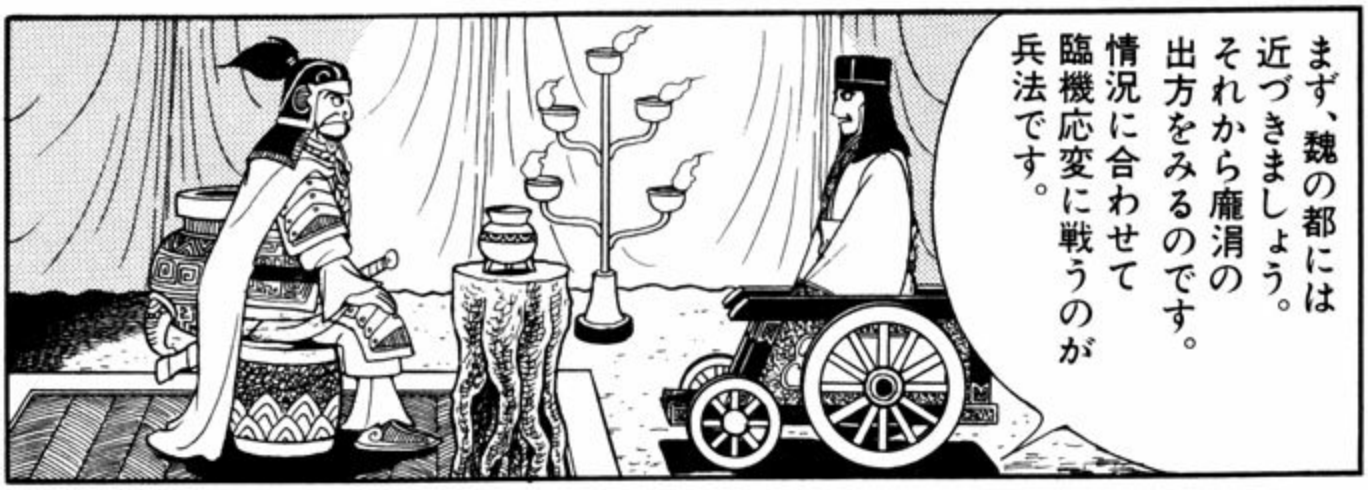
51

孫臏よ、今度も前と同じように魏の都を攻めようと思うが…。

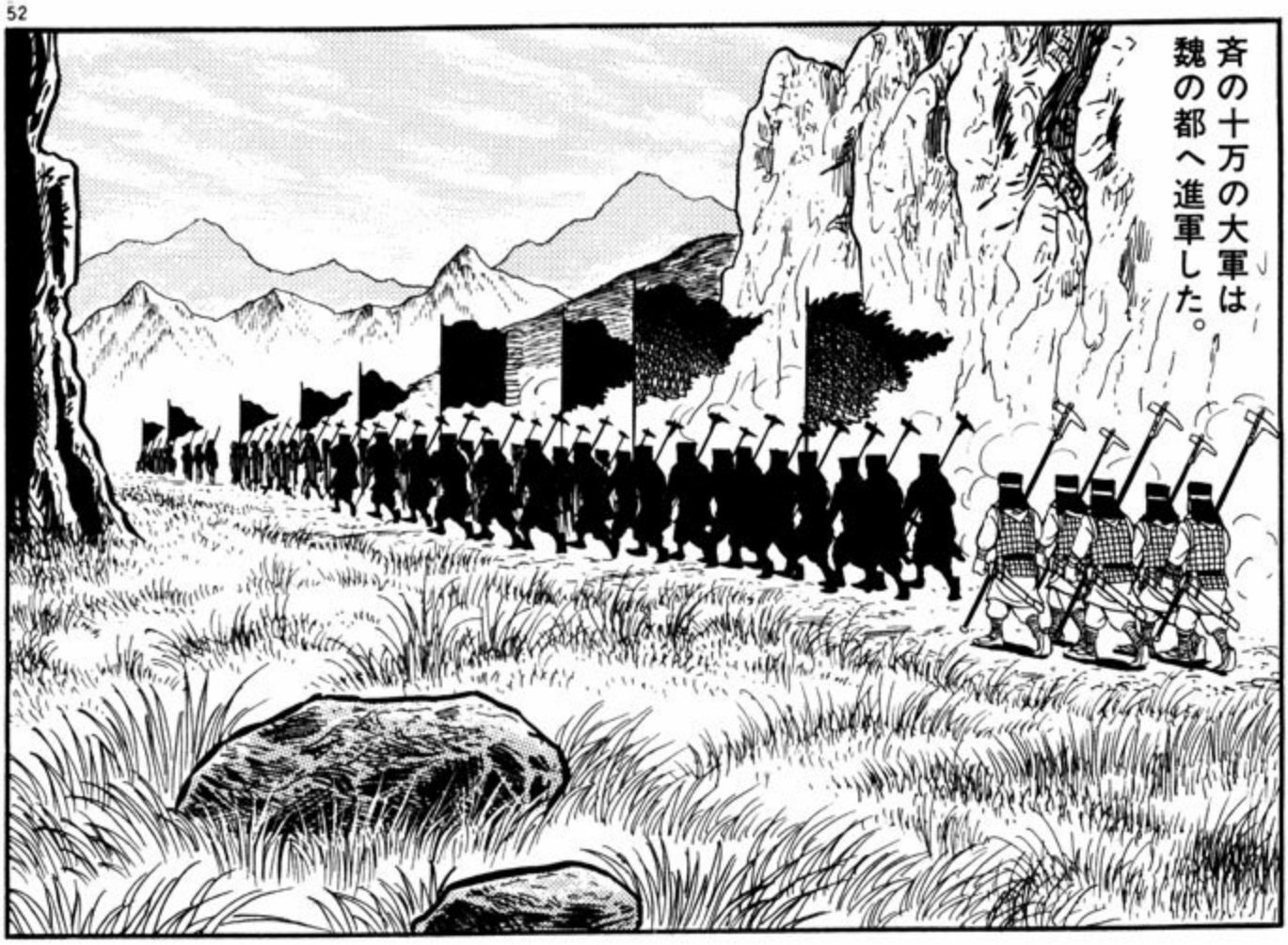
もちろん、そう動くべきです。

だが、龐涓(ほうけん)は優れた兵法家です。前と同じ失敗は二度としません。おそらく魏にも精鋭を残して待ちうけているでしょう。

では、どうすればいいのじゃ…。


まず、魏の都には近づきましょう。それから龐涓の出方をみるのです。情況に合わせて臨機応変に戦うのが兵法です。

52


斉の十万の大軍は魏の都へ進軍した。

案の定、龐涓は魏にも精鋭を残していた。両軍は激突した。

53

両軍は一進一退をつづける日々となった。

魏
魏
魏
魏
龍

なにっ、斉軍がわが領土に入り一進一退の戦をしていると！
はい。

54

そうくるだろうと思っていた。これで斉の精鋭を叩ける。これを待っていたのだ。

はっははは。

よいか！
これより引き返して
斉軍を挟撃する!!
斉の精鋭を
全滅させれば
韓などいつでも
滅ぼせる。

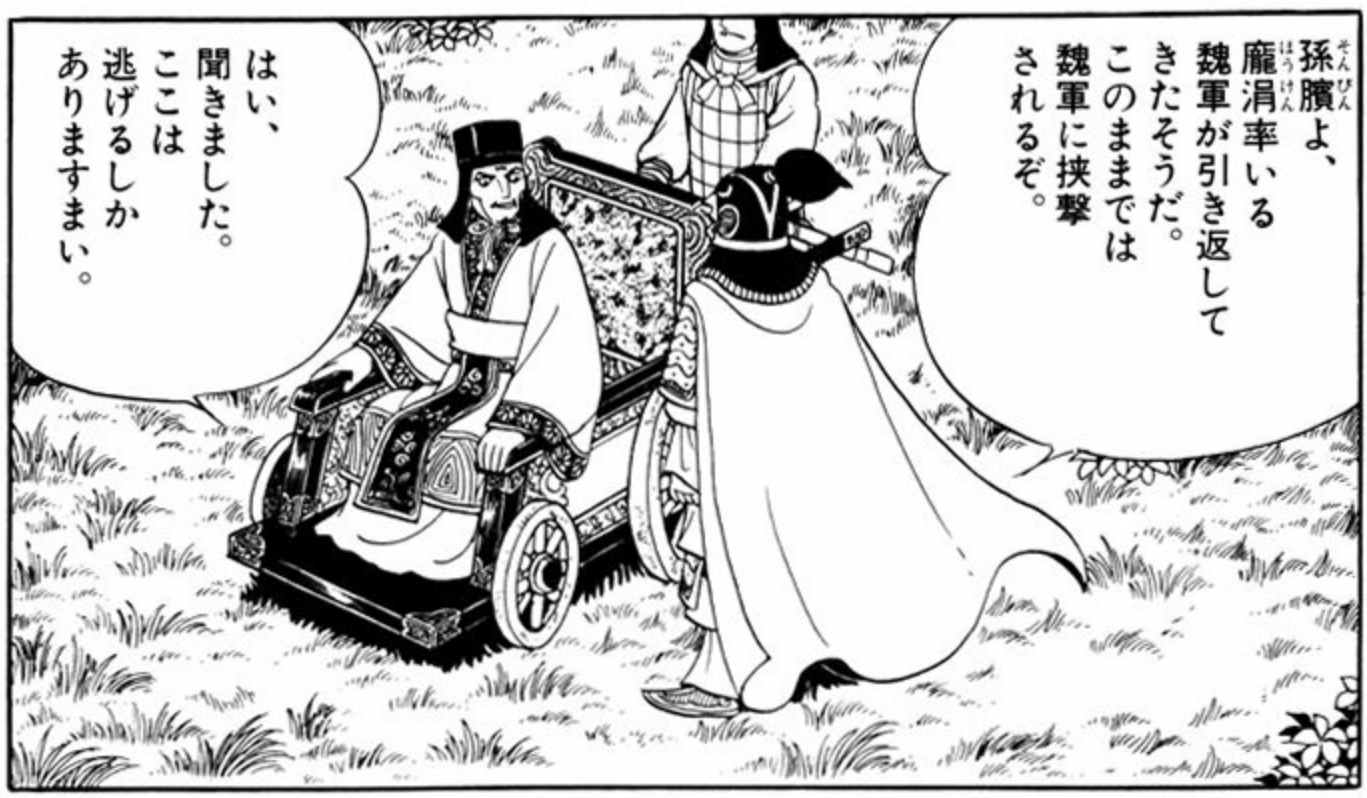
はっ！

55

龐涓（ほうけん）は勇んで
引き返した。
斉軍が
自分の計算通りに
動いたので
勝利を確信して
いた。

魏

斉
斉
斉
斉


孫臏よ、
龐涓率いる
魏軍が引き返して
きたそうだ。
このままでは
魏軍に挟撃
されるぞ。
はい、
聞きました。
ここは
逃げるしか
ありますまい。

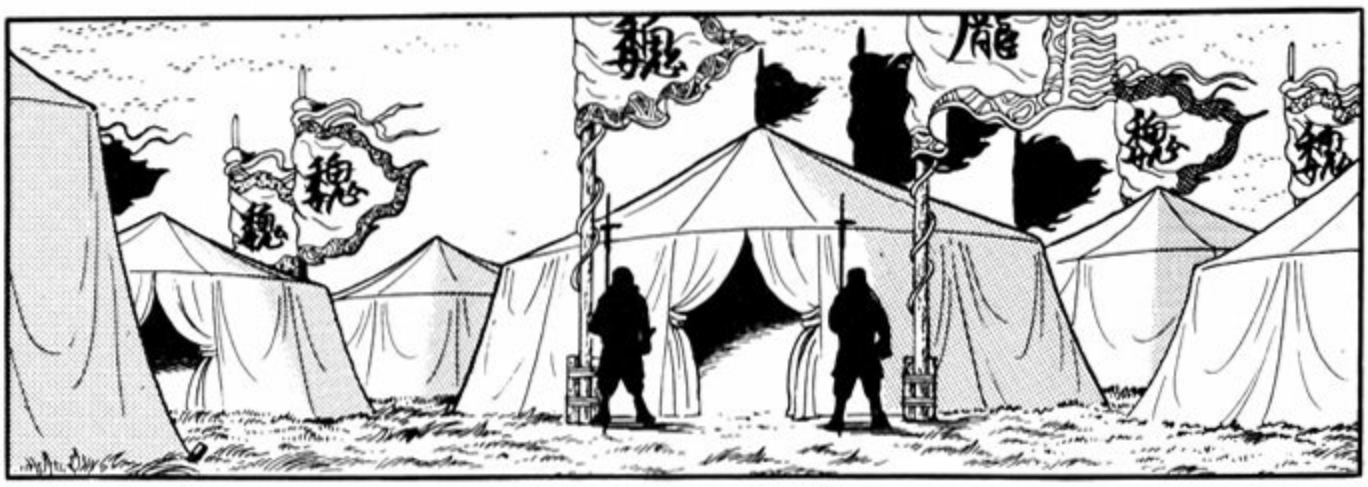
56

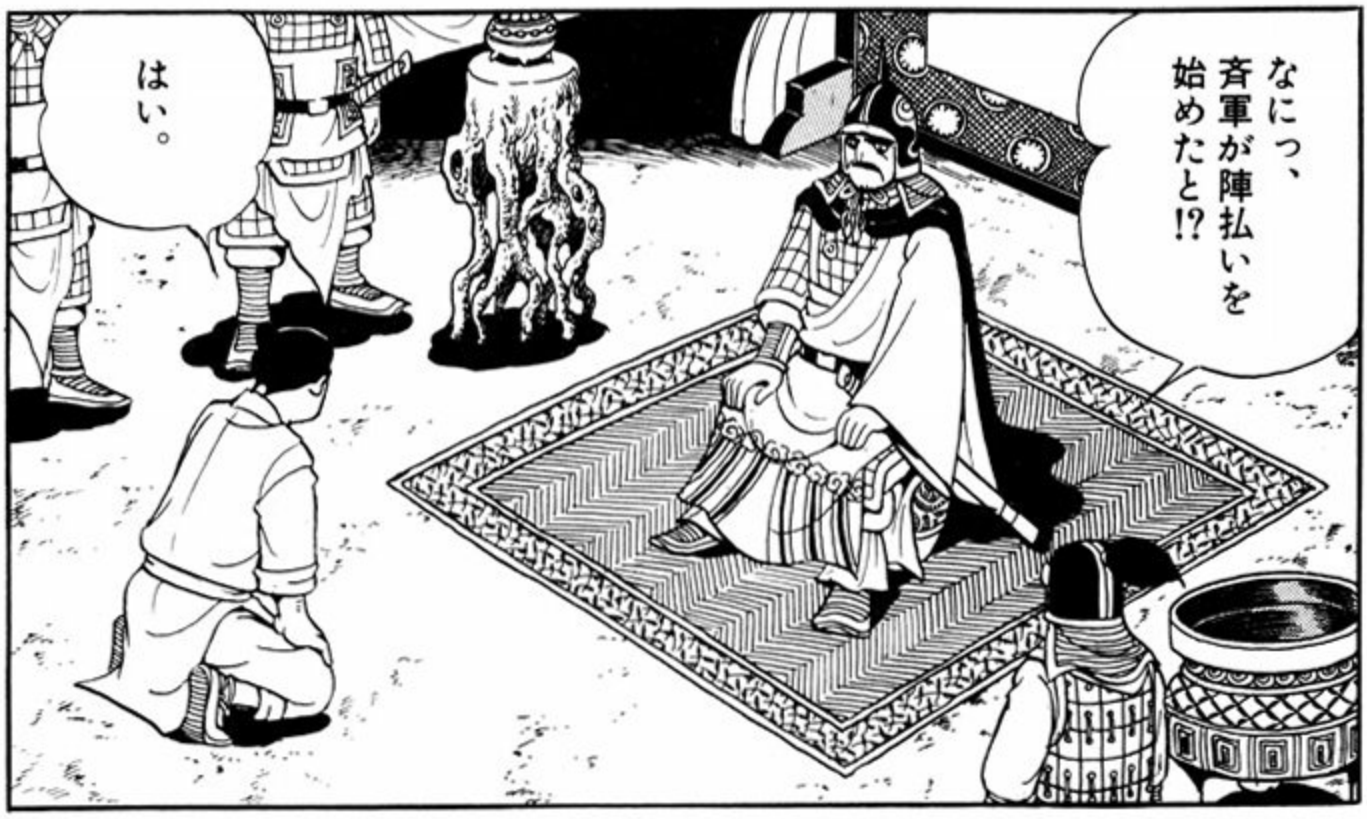
兵法には
敵の力を逆用して
勝つという方法も
ございます。

逃げる……？
まだ負けても
いないのに、
逃げては
斉王はお怒りに
なるぞ。

57

こうして斉軍は慌ただしく陣払いを始めた。

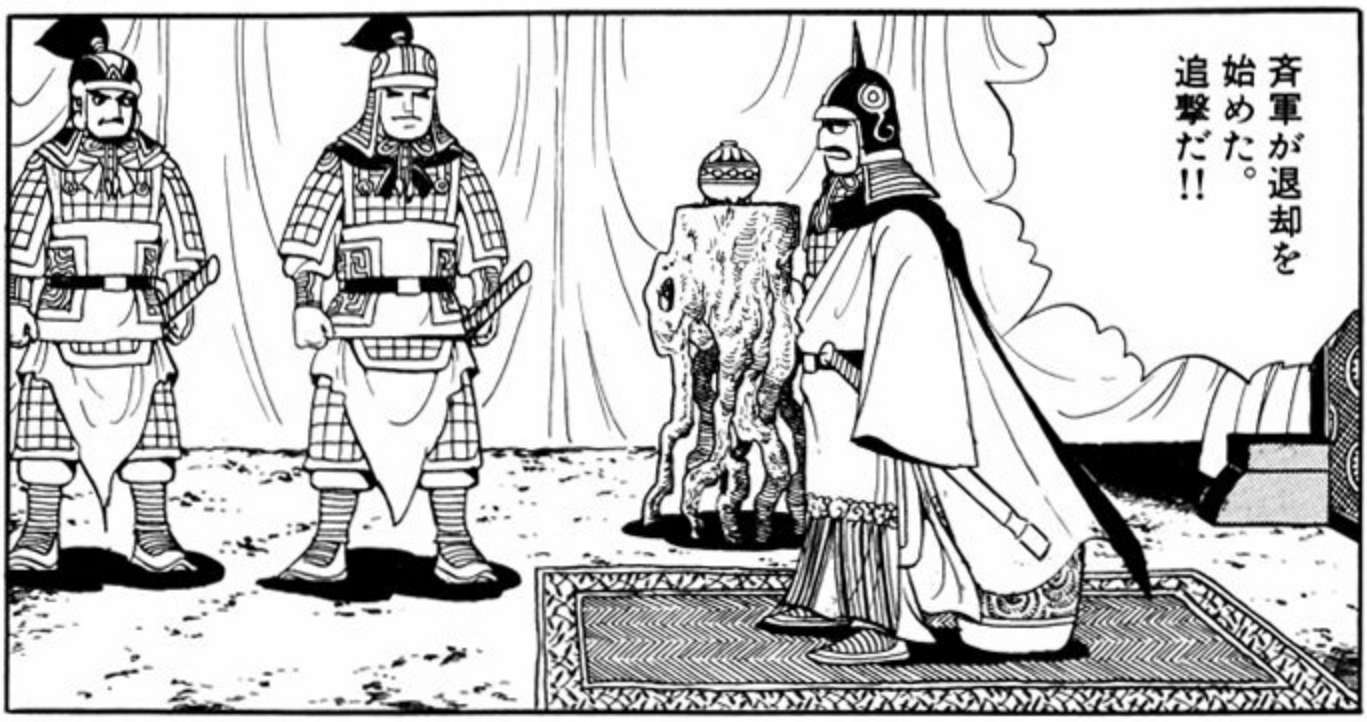

魏
龐
魏
魏
魏
魏


なにっ、斉軍が陣払いを始めたと!?
はい。

58

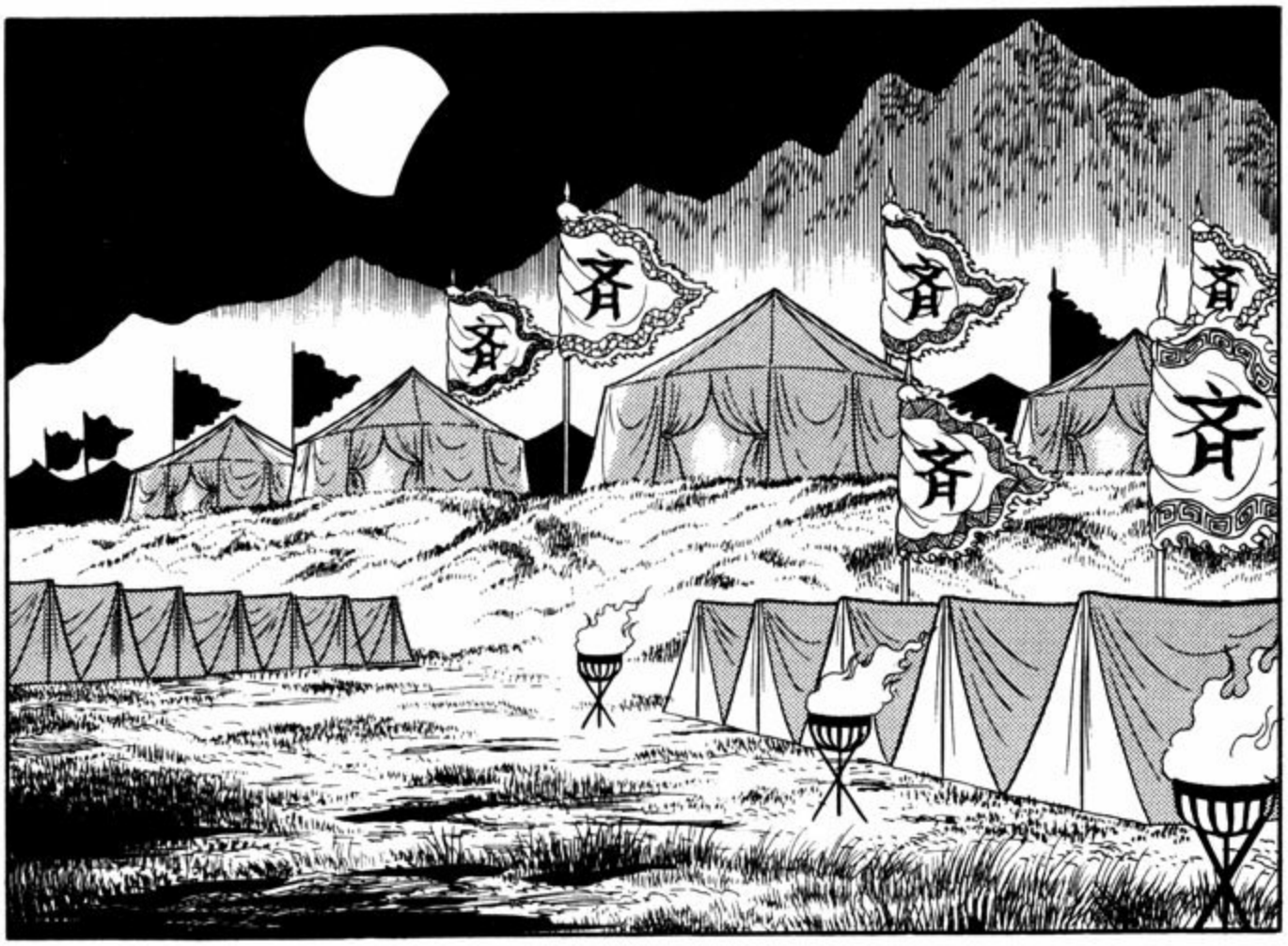
ふふふ、孫臏も戦況の不利はわかっているとみえるな。

孫臏よ、今度こそどちらが一番の兵法家か決着をつけるぞ！



59

戦いにおいて
追撃戦は
絶対に有利である。
龐涓の意気は
天を突くばかりで
あった。


斉
斉
斉
斉
斉
斉

60

田忌(でんき)将軍、魏の兵は命しらずが多いため、龐涓(ほうけん)は斉軍を腰抜けだと思っております。
な、なにい!!

わたくしが魏に捕らわれていた時、よくそのようなことを申しました。本気でそう思っておりまする。

な、なんたるやつ！
では、逃げていては
ますます
そう思われるでは
ないか!!

まあまあ……
戦いに勝つためには
少々の我慢は
必要です。
その思い込みを
逆手にとるのです。

まず、わが軍の
宿営地の竈の数は
明日はこのままに
して去り、
翌日は半数に
減らしてください。
そして三日目は
その半数にして
ください。
？？
どういう
ことじゃ!?

61

龐涓に深追い
させるためです。
龐涓は斉兵には
腰抜けが多いと
思い込んでいますゆえ、
それをみて脱走兵が
増えていると
読むでしょう。

「深追いすること
百里ならば将を失い
五十里ならば
兵の半ばを失う」
これを実行する
のです。

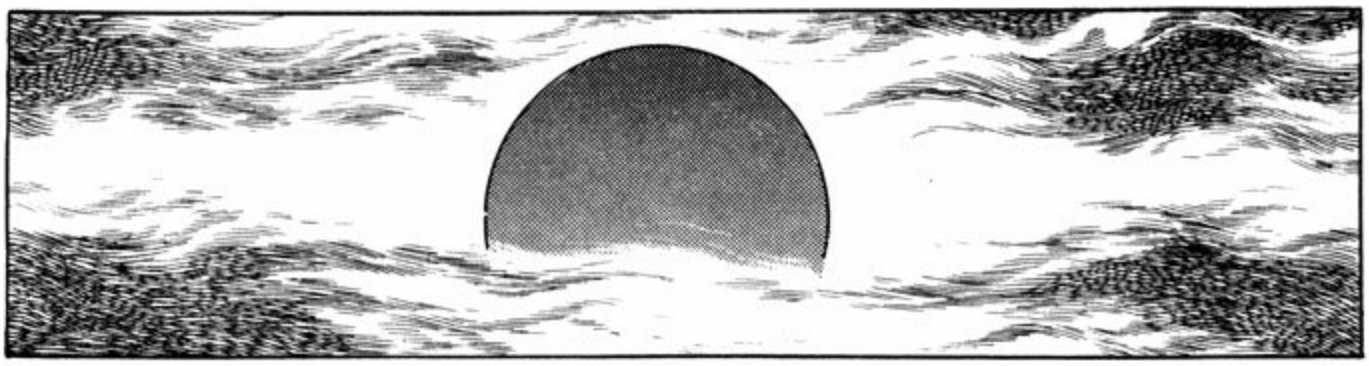
それで
勝算は
あるのか？

ございます。

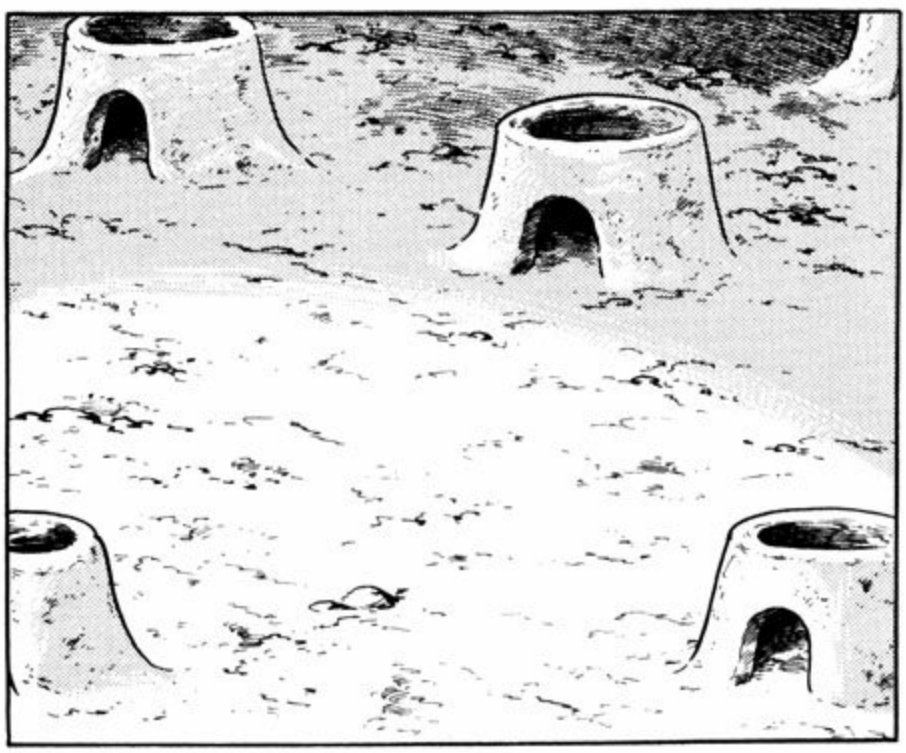
まあ、
勝てると
いうならば、
その通りに
いたそう。

62

翌日早朝には
斉軍は退却を
開始した。



63



もう立ち去ったあとのようにございます。

この竈の数では軍勢はおよそ十万でございますな。

よし、今日はわが軍もここで宿営だ。明日未明には追撃を開始する！

64

そして翌日未明には魏軍は追撃を開始した。

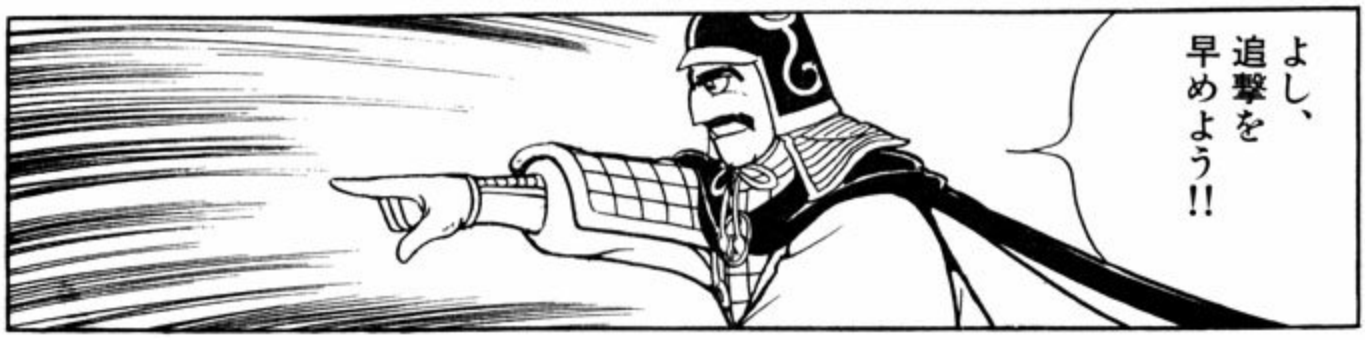
65

だが、斉の宿営地に着いた時は、すでにもぬけの空であった。

龐涓将軍、
竈の数が
半分になって
いますぞ。

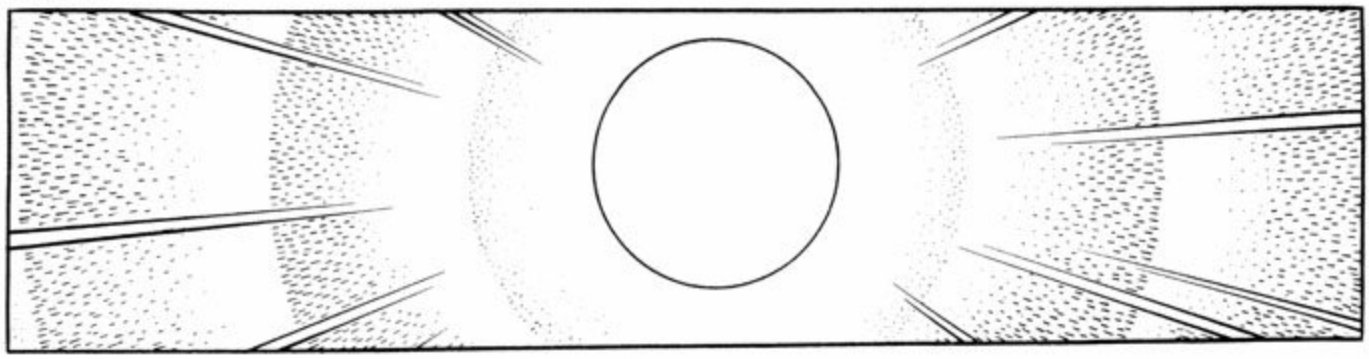
はっははは
?
魏

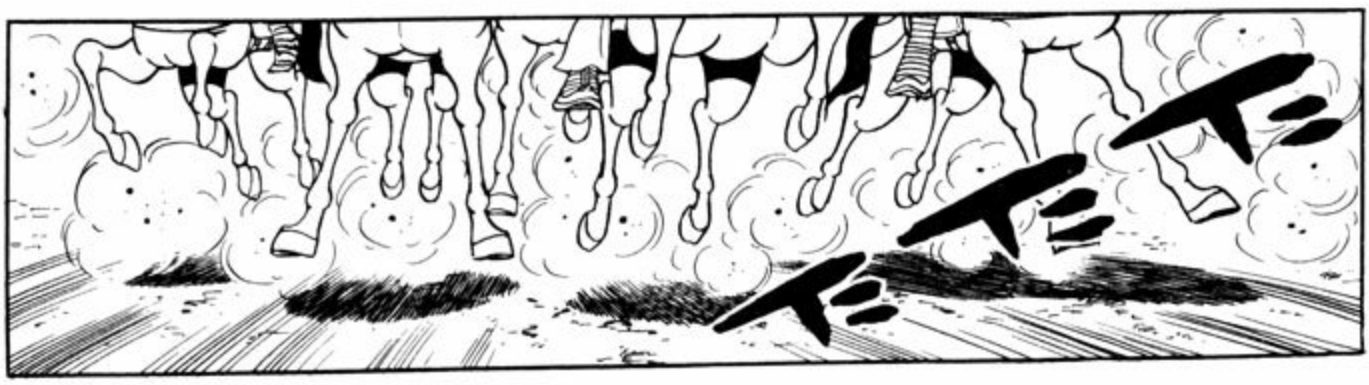
斉兵は
わが魏軍と違って
命を賭けてまで
戦う気はない。
これは半数の兵が
脱走した証拠だ。
魏


よし、
追撃を
早めよう!!

66

シシシシ




イデ
イデ
イデ

逃げ足の速い連中だ。もうもぬけの空だ。
魏

67

みなの者見よ、竈の数を……！

きのうより半数に減っておりまする。

三日間で
これだけの脱走兵が
出ているのだ。
斉軍に恐怖が
広まっている証拠だ。
明日には
もっと逃げだす。

よし、
このまま
追撃しよう！
魏
鬼

将軍、
お待ちくださり
ませ。
なんだ!?
神

お気持ちは
わかりますが、
この速さでは
歩兵がついて
これませぬ。

ふむう……
そうだのう。
だが機を逃す
訳にはいかぬ。

68

明日になれば
もっと脱走兵が
増えよう。
騎馬隊だけでも
十分に打撃を
与えられる。
魏
魏

よし、
騎馬隊だけで
追撃をする！
歩兵はあとから
こさせよ!!

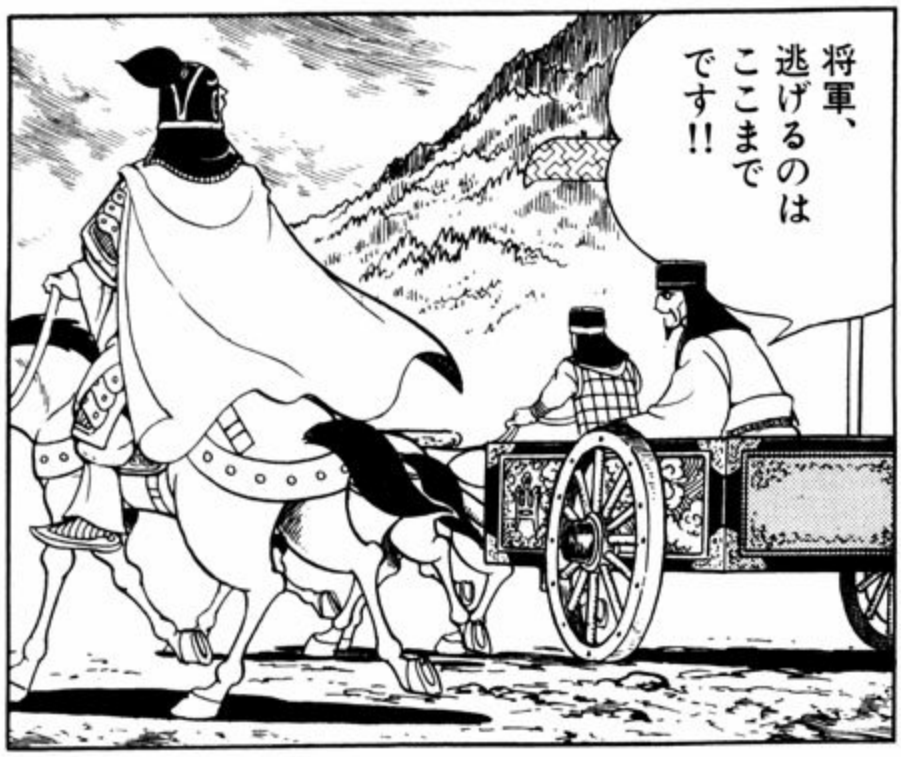
はっ!!

69

ドドドドド
龐涓(ほうけん)は この頃には
すっかり勝利を
確信していた。
そして騎馬隊だけを
引き連れて
疾風のように
馬を駆った。

馬陵道渓谷

70


将軍、逃げるのはここまでです!!

ご覧ください。この渓谷は道が狭く、両側は険しい斜面です。伏兵するのに絶好の場所です。

71

まず、ここで食事をしたように竈を作ってください。きのうよりも数を減らして。

よし。

竈を作らせよ。きのうの半分じゃ！

はっ。

72

このくらいでようございますか……？

結構結構。

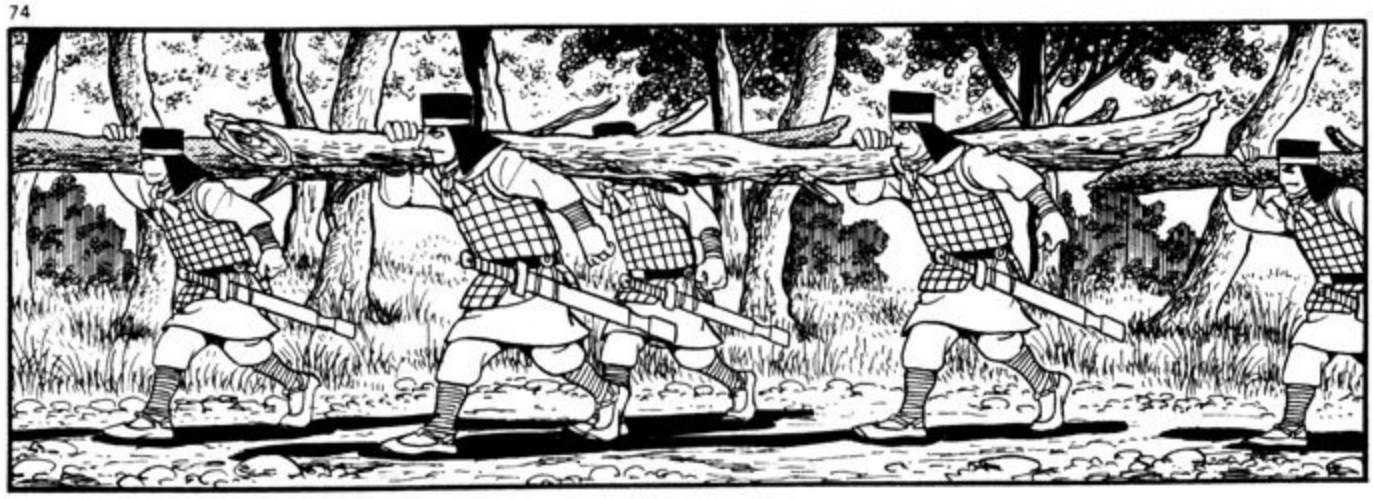
わたしの計算では龐涓（ほうけん）は夕暮れにはここに到着する。

そちたち一隊は夕暮れ前に竈に火をつけ、そして溪谷の中に身を隠せ!!
はっ。

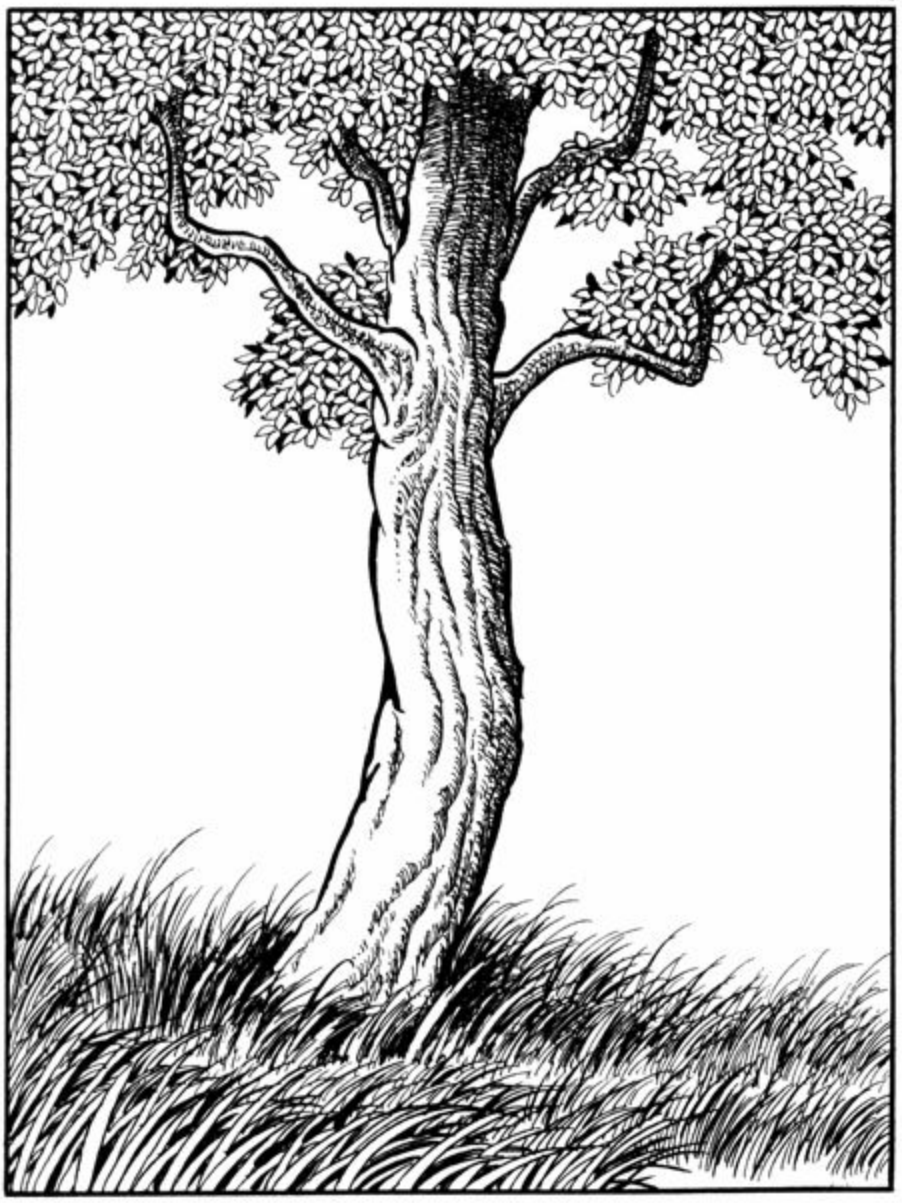
ほかの者は溪谷の中で準備をしてもらう。

73

74



75



ガッ
ガッ

これでようございますか？

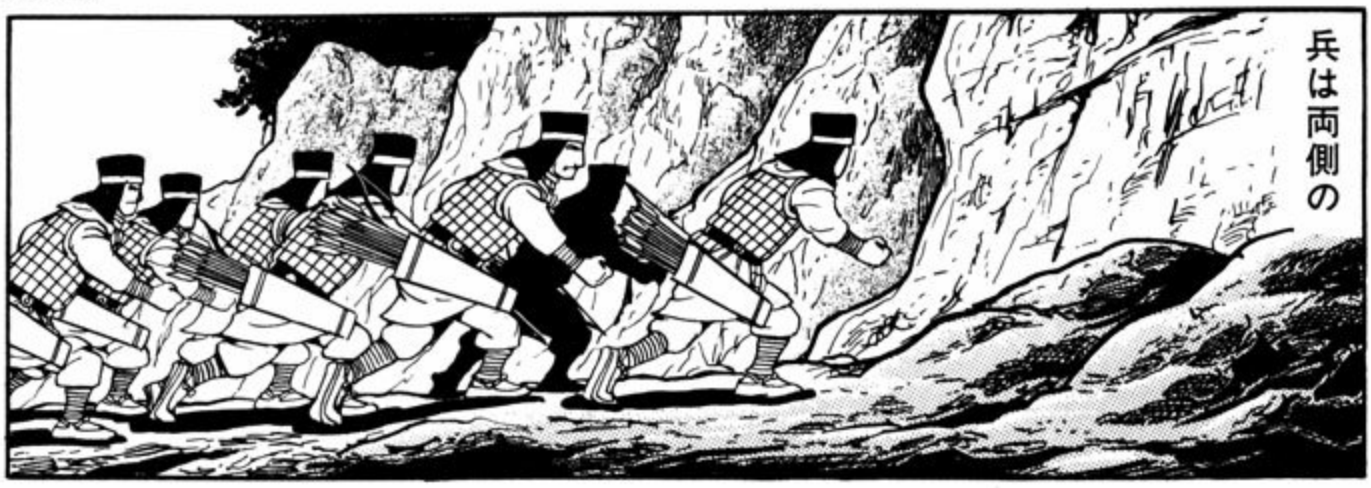
そこに大きく「龐涓（ほうけん）この樹の下に死せん」と記せ!!

龐涓死于此樹之下

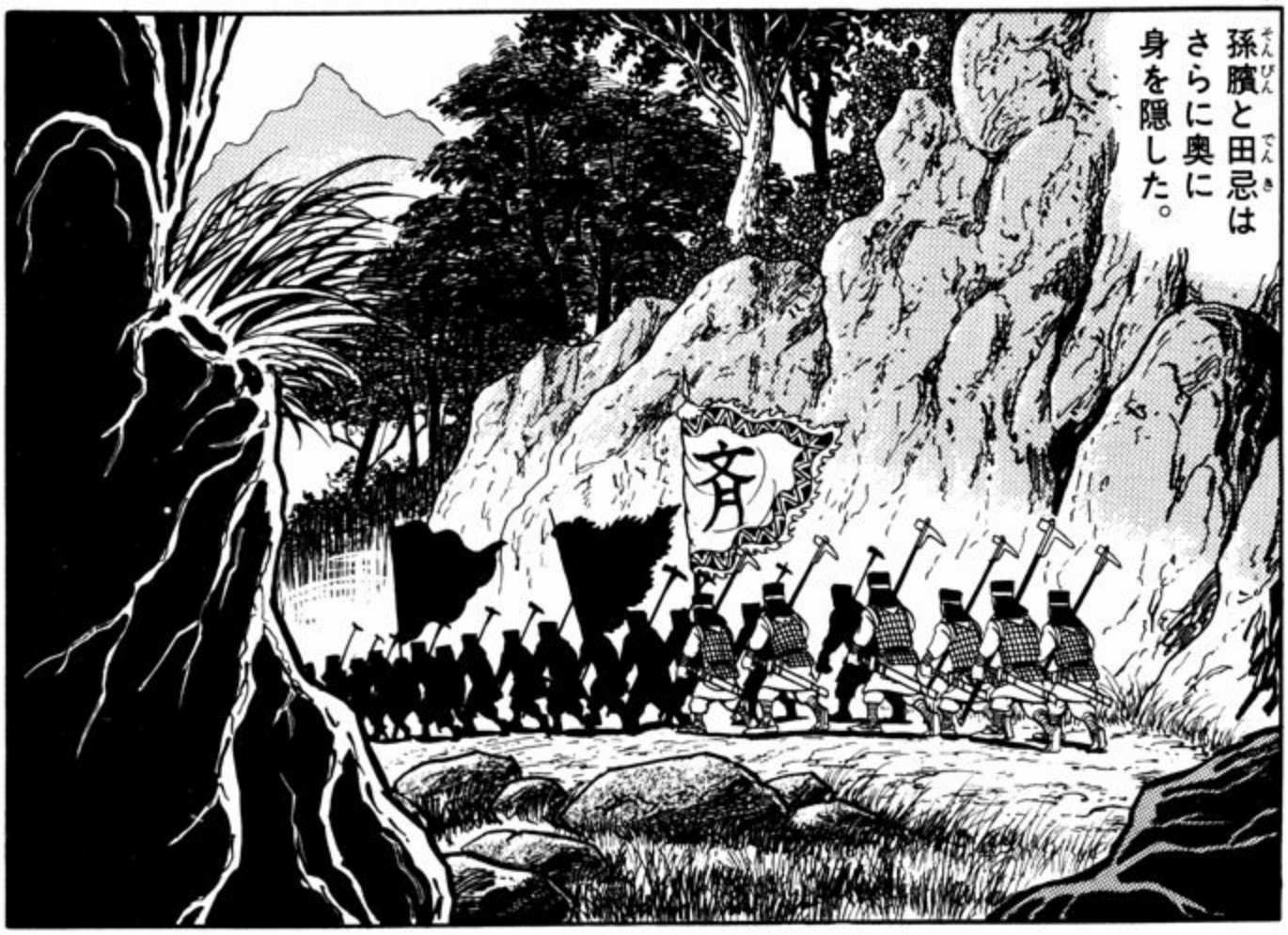
……さてと将軍これで舞台は出来上がりました。あとは両側に兵を伏せるだけです。

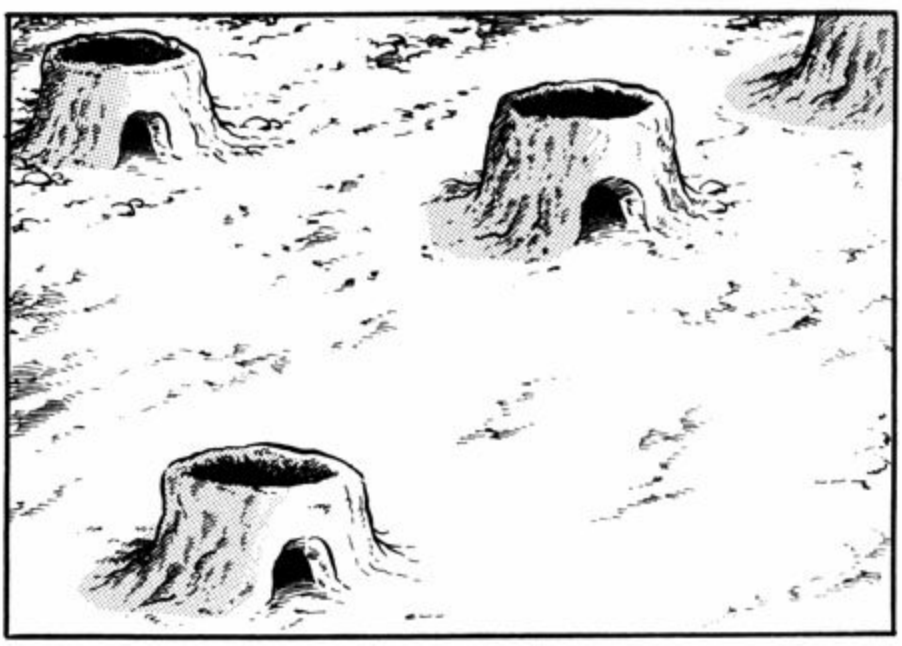
76

諸将に伝えておく。松明（たいまつ）が動いている間は攻撃してはならぬ！この木の下で止まった時、松明めがけて一斉に矢を放て!!



77





78

うん…
……

見ろ！
竈に少し火が
残っているぞ。

将軍、ほかの
竈の灰も
まだ温こう
ございます。

……ということは
ここを立ち去った
のは
半時にもならぬ
ということだ。

よし、
追いついたぞ！
追撃だ!!

将軍、
お待ちくださり
ませ。

ご覧くださいませ。
もう日が沈み始めて
おりまする。
ここは隘路(あいろ)です。
夜 進むのは危険です!!
今日はここで野営し
夜が明けてから
追撃しても
十分と思いますが。
なにっ!

戦いには勝機と
いうものがある。
目前の勝利を
見逃せと申すのか!?

追撃だ!!

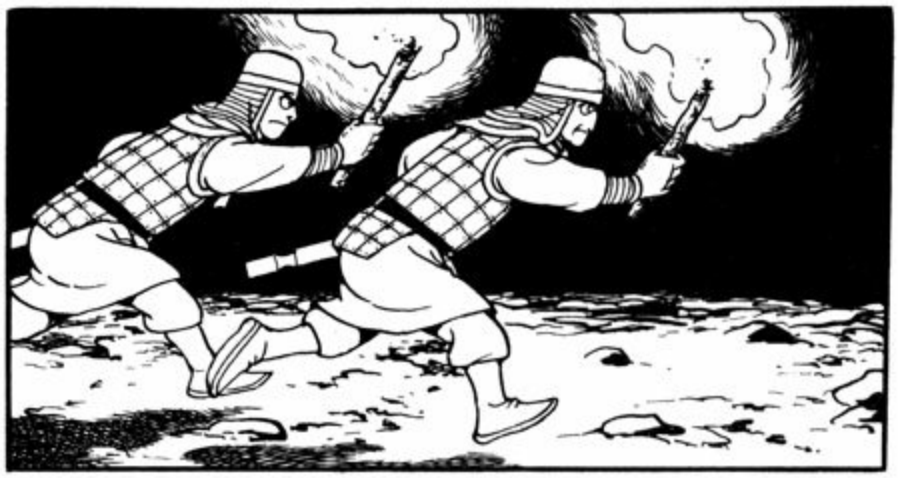
80

うん
……!?

将軍！
敵は道を塞いで
おりまする。
これでは
進めませぬ!!

81

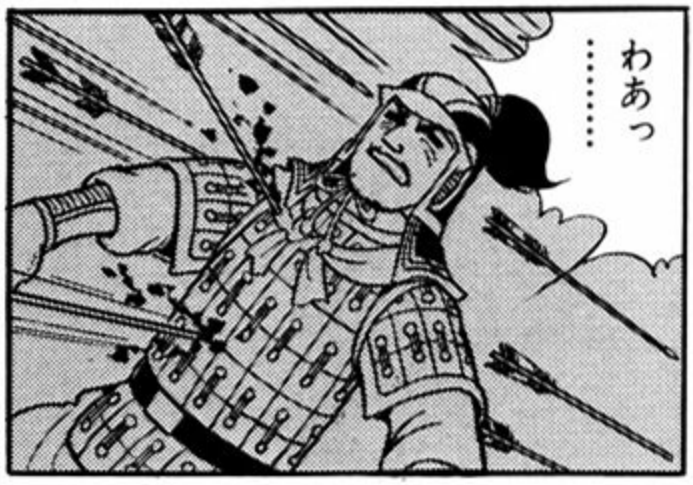
馬鹿者！
軍隊が道が悪いから
進めぬなどと
申していては
話にならぬ!!
木を取り除いて進め!!



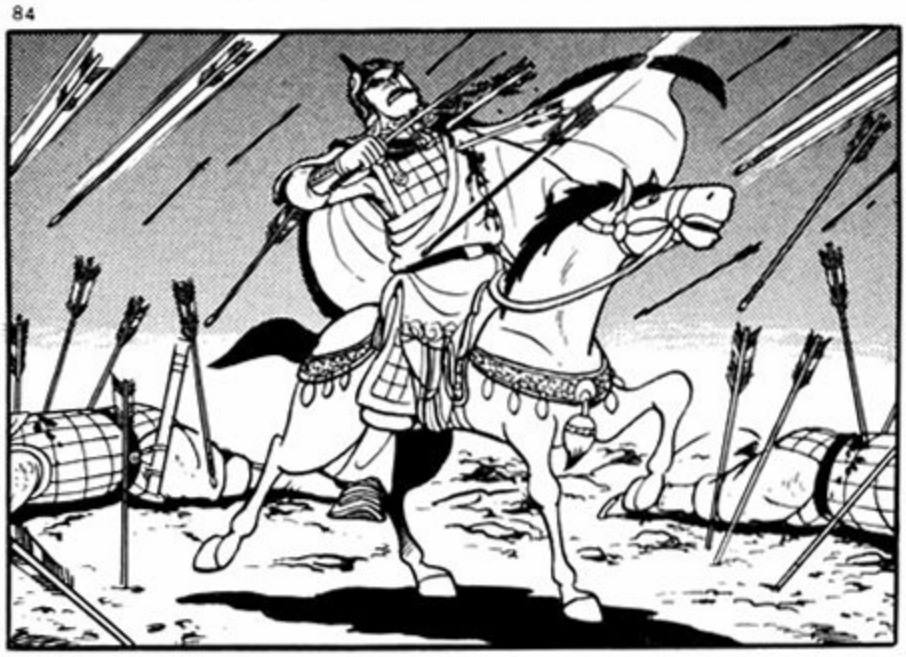
82

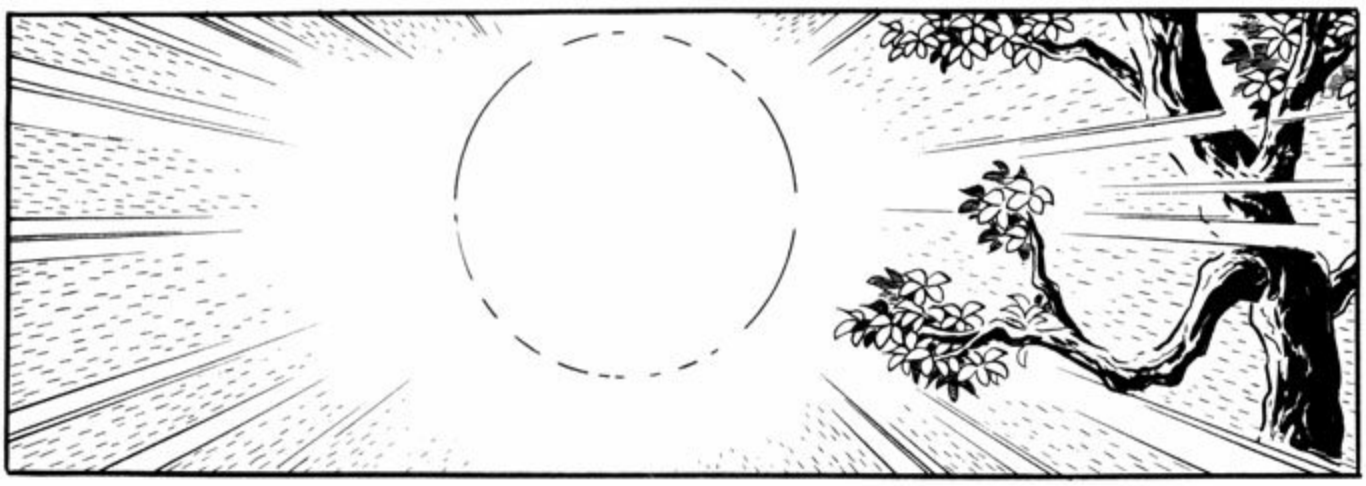
83

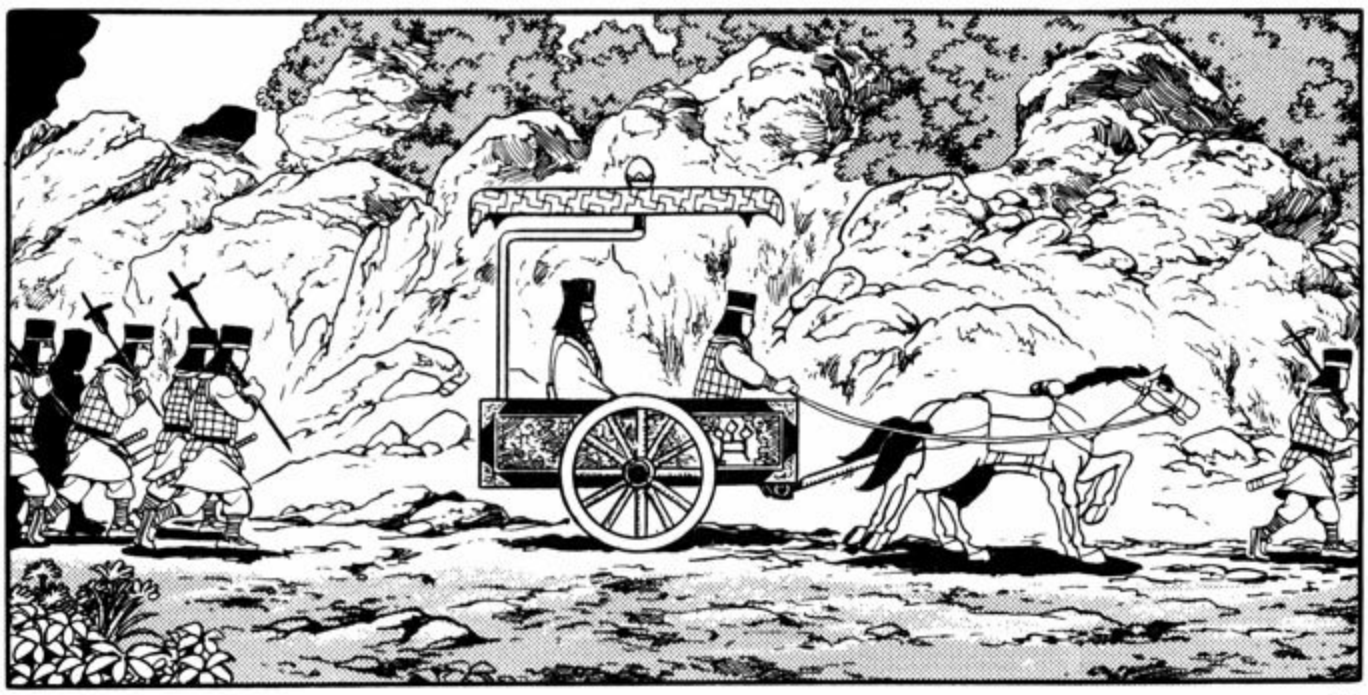
だが、
時すでに遅かった。
数千・数万本の矢が
雨のように
降りそそいだ。



84







85

斉軍は
勢いに乗じて
魏軍を徹底的に
打ち破り、

86

魏の太子
申を捕えて
意気揚々と凱旋した。
この合戦で
孫臏の名は
一躍天下に知れ
渡った。

だが、その後
孫臏は
戦いには出ず、
ひたすら兵法書を
書きつづけた。

87

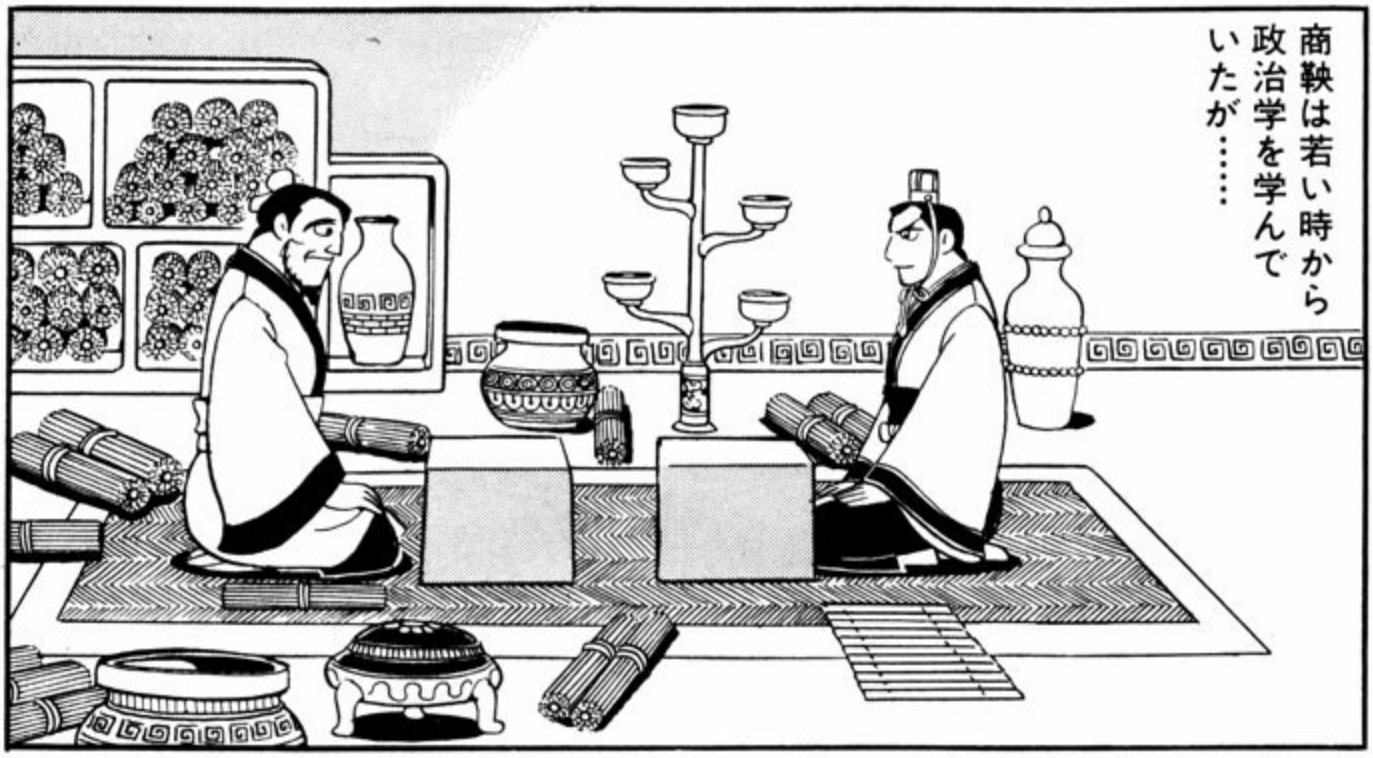
彼を知り
己を知れば
百戦して
殆からず
孫子

第４話

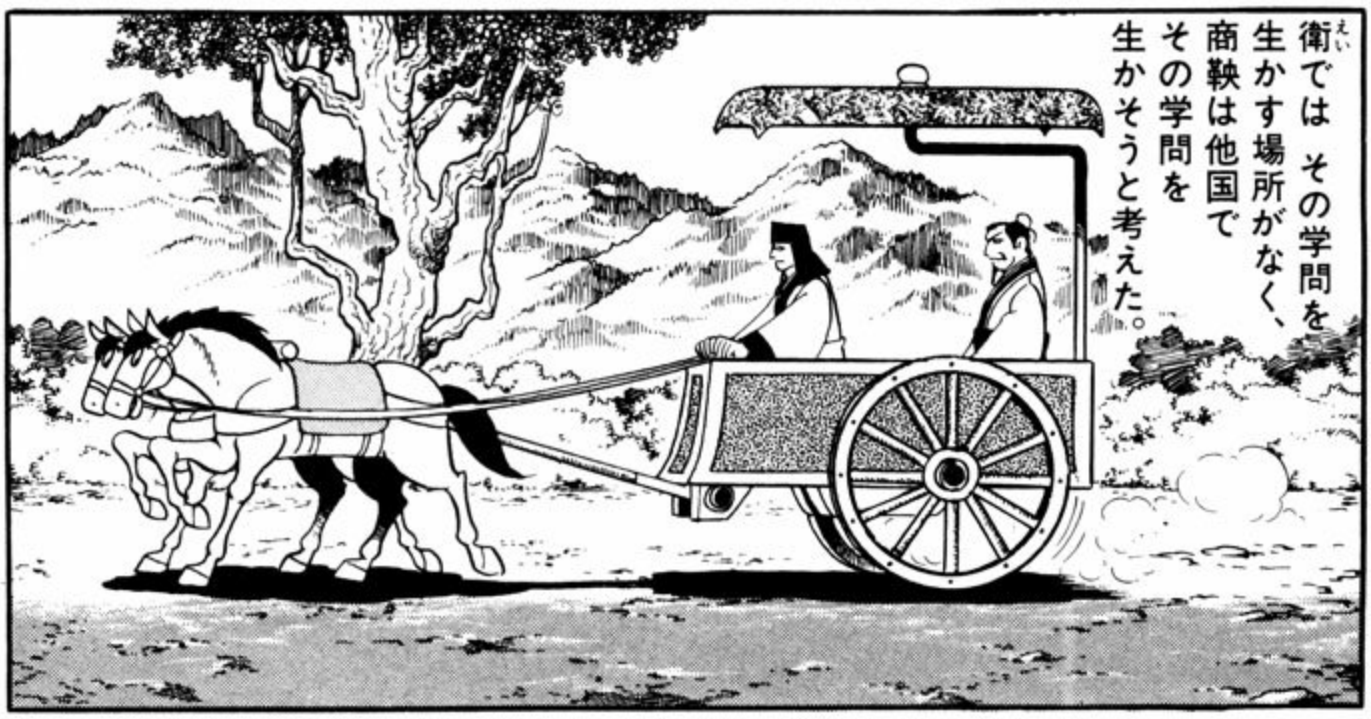
業因強国策

2

商鞅の本名は、
姓は公孫　名は鞅で
衛の側室の子である。
商鞅の名のほうが
有名なので
この作品は商鞅で通す。



3



そして 魏の宰相
公叔痤の食客と
なった。

公叔痤は 商鞅が
並々ならぬ
才能の持ち主である
ことを知った……。

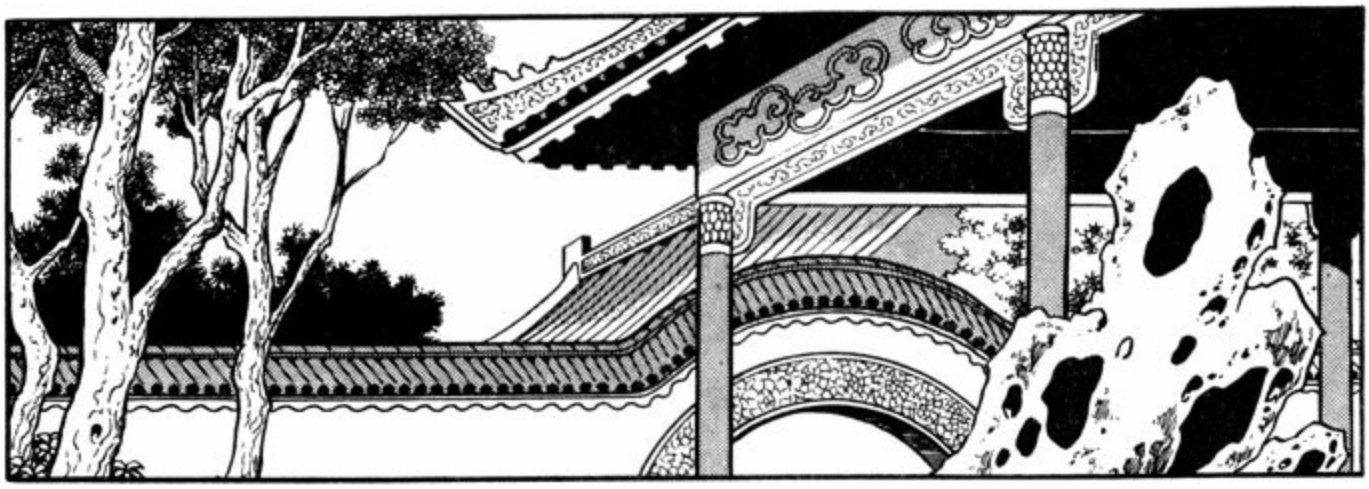
4

政治に商鞅の意見を
取り入れるように
なった。

だが、公叔痤も寄る年波には勝てず病に倒れた。

5

魏の恵王（在位年 前三七〇～三三五）は心配して、わざわざ公叔痤邸に見舞いに訪れた。



公叔痤、病気の具合はどうじゃ……。
やはり年でございまする。あまり思わしくありませぬ。

困ったのう…。おまえにもしものことがあったら、魏の国政を誰に任せればよいのじゃ…。

6

それならばご心配はいりませぬ。わが家の食客に商鞅という者がおりまする。なかなかの賢才でこの男にすべてを任せてよろしいかと思いまする。
食客に……。

素性はしっかりしておりまする。衛の側室の子で公子の一人です。
ふむう…しかしのう……。

恵王さま、もし商鞅を採用なされるお気持ちがなければ殺してくだされ。決して他国であの才能を使わせてはなりませぬ。

わかった！考えてみよう……。

7

公叔痤の病気は重いようだのう…。国政を食客に任せろなどと、すっかり錯乱してしまっている。

宰相、お召しでございますか……？
おう、商鞅近う……。

8

実はのう、今 恵王が次の宰相に誰がよいかと質問なされたので、おまえを推薦したのだがご返事がなかった。

そこで わしは
用いないならば
殺してしまうようにと
進言した。
そなたは味方にすれば
頼もしいが
敵にすれば恐ろしいと
思ったからじゃ。

だが、考えてみれば
やはり殺すには
惜しい。
今のうちに
魏から逃げてくれ。

宰相さま、
そのご心配は
無用にございます。

どうして
じゃ？

恵王さまが
宰相のお言葉を
聞き入れられなかった
のなら、わたしを
殺せという意見も
採用なさいますまい。

9

確かに…
そうかも
知れぬのう
……。
そこまで
私の才能を
評価してくだされ
うれしゅう
ございます。

それから間もなく
公叔痤はこうしゅくざ
この世を去った。

10

商鞅は
公叔痤の
屋敷を去って
秦へ向かった。

秦は西北の僻地雍に都を持ち、中原諸侯からは蛮族と見なされていた。

11

だが、春秋時代に名君繆公(九代)が現われ覇者となり、その存在を天下に示した。

だが、繆公がこの世を去った時……

賢臣名臣と呼ばれる……

国の中枢をなす人物が……

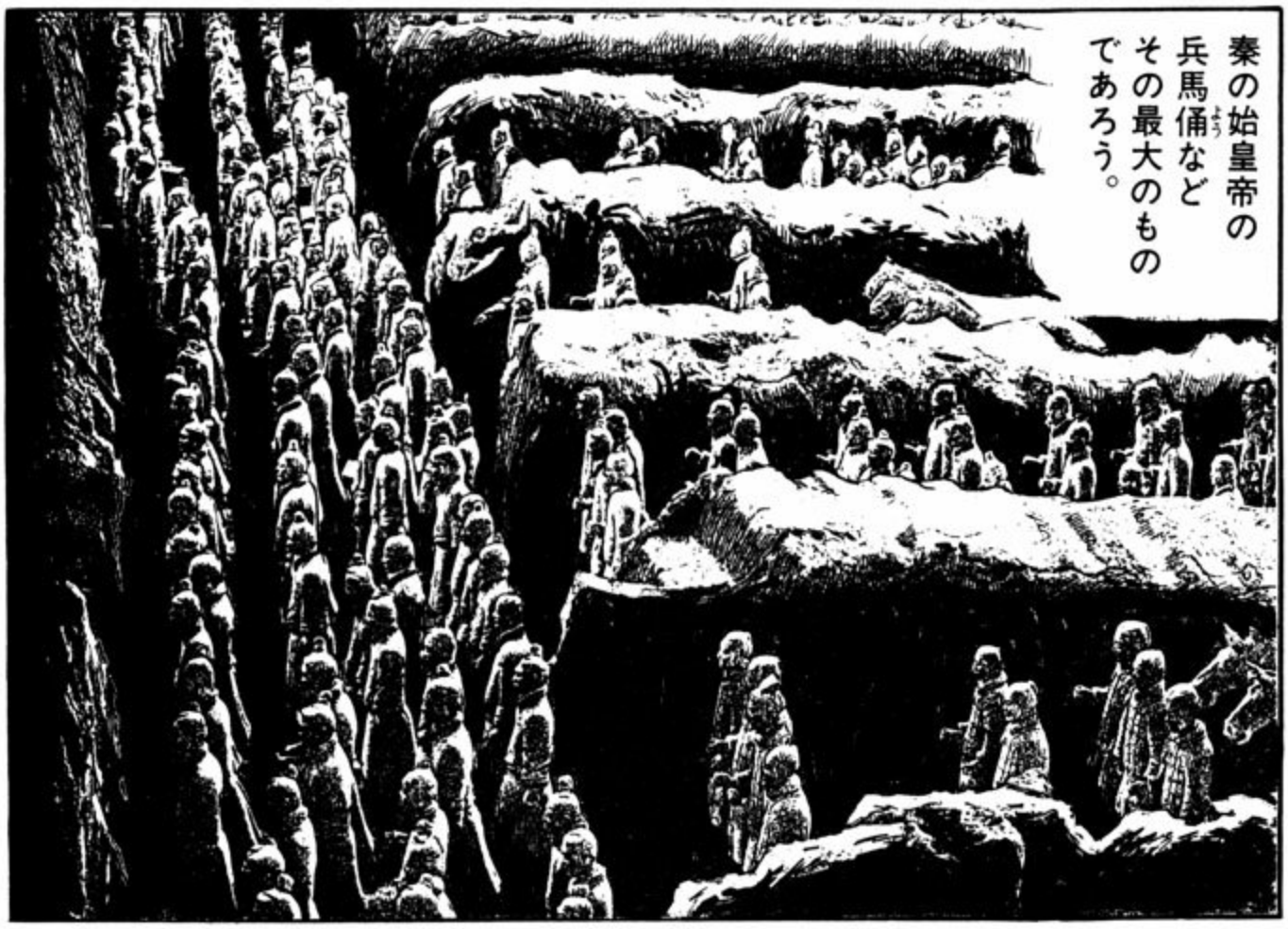
12

繆公の後を追って殉死したのである。その数は百七十七人…。一瞬にして秦は頭脳集団を失ったのである。

それからも代が代わるたびに
殉死者が続出し、秦の国力は
大きく衰退していった。
驚いた秦は殉死禁止令を
だした。

そして、秦では
殉死の代わりに
土の人形を
墓場の中に
入れることにした。

13


秦の始皇帝の
兵馬俑など
その最大のもの
であろう。

秦の二十五代の孝公(こうこう)
(前三六一―三三八)は
昔の国力を取り戻そうと
国内に布令(ふれい)を出した。

わが秦を強大に
するために、
策を出した者は
高い官位と
城を与えると…。

14

商鞅(しょうおう)は それを
知っていたから
秦へ足を
向けたのである。

商鞅は 孝公の
お気に入りの
宦官・景監に
多額の贈り物をして
推薦を頼んだ。

さようか、衛の公子で
魏の宰相の家で
政治を学ばれたか。
肩書きとしては
問題ござらぬ。
推薦いたそう。
できますれば、
三度のお取り次ぎを
お願いいたします。

三度…？
あなたに才があれば
一度で充分で
ござろう。

それがしは
孝公の性格も
何をなさりたいのかも
わかりませぬ。
語っているうちに
つかめまする。

15

なるほど、
それでは三回だけ
なんとかいたそう。

よろしく
お願い
いたします。

それから間もなく、景監の推薦により商鞅は孝公との謁見を許された。

16

おまえは賢人だと申したが、やつは愚者ではないか？やつは書を読む人間ならば誰でも知ってることを申したぞ。

それは、きっと話の糸口をさぐるためでございましょう。

商鞅どの、大王にいったい何を話されたのじゃ。

古代の五帝のお話をいたしました。

そんなことは、学問をしてる者は誰もが知ってる話ではないか…!?

17

先日申し上げたように、孝公が何を求められているか知るためでございます。あと二回よろしくお願いいたします。
そ それはやるが、わしの立場も考えてくだされよ。

それから五日後、
孝公と商鞅は
また語りあった。

だが、孝公は
退屈そうに
聞いて
席を立った。

商鞅どの、
大王にいったい
何を話されたの
じゃ……？

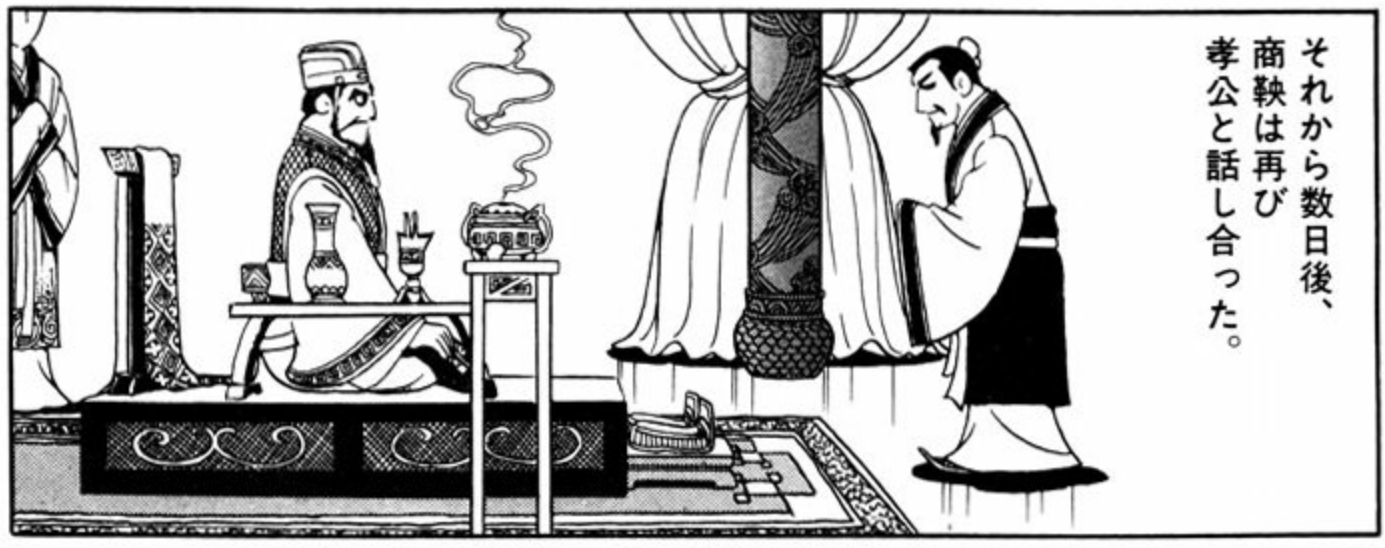
18

仁と徳で国を治める
王道について語りました。
しかし 孝公は
この乱世の時代、
秦とていつ滅ぶか
わからぬ時代に、
百年もかかるような
国の治め方など
興味がないと
申されましてな。

あと一回だけ機会を作ってくださいませ。

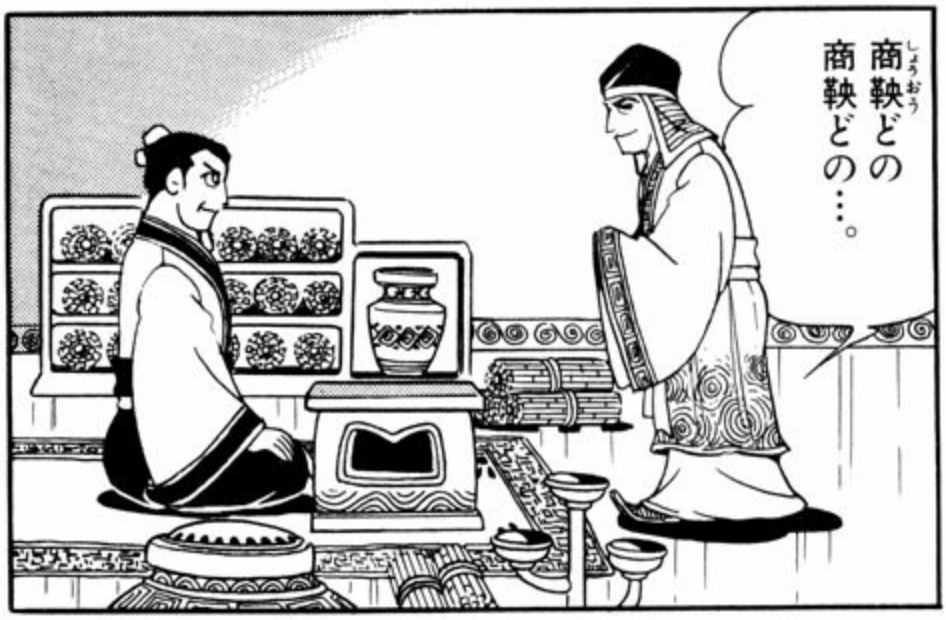
あと一回じゃな、それ以上はわしは知らんぞ。
はい、それで結構にございます。

景監どの、そう心配なされますな。それがしを推薦したことを誇りに思う日が参りましょう。
そう願いたいものですな。


それから数日後、商鞅は再び孝公と話し合った。

19

孝公は目の色を変えて商鞅の話に耳を傾けた。


商鞅どの
商鞅どの…。

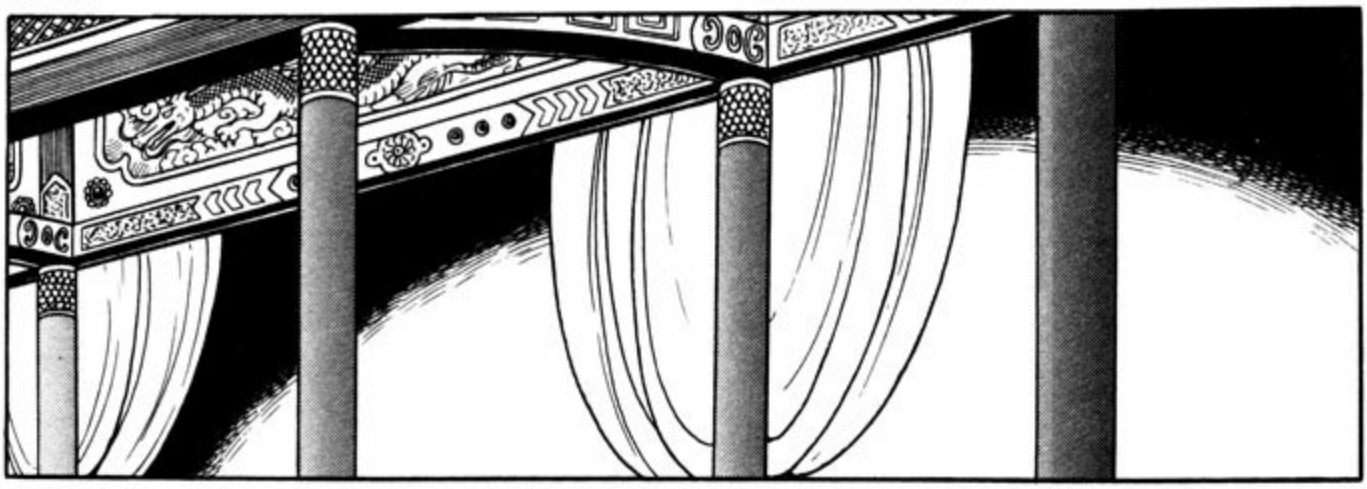
今日の大王さまは
とてもご機嫌で
商鞅どのを
賢者だと申された。
いったい何を
話されたのじゃ？

孝公は、
男一代で名をなすのが
男冥利であると
申されました。
それで覇道を説きました。

武力をもって
諸侯を従わせ、
諸侯の盟主となる
方法を語ったのです。

20

ともかく、孝王は
明日ゆっくりと
話を聞きたいと
申されての。
わかりました。
参内いたします。



いやあ、昨日の話はおもしろかった。それで覇者となるにはまず何から手をつければよいと思う……。
新しい法律をもって国を治めることです。今までは礼節の教えが法の基本となっておりました。これからは王が法を作りその法律で国を治めていくのです。

21

しかし、今までの法で国は充分やっていけるぞ。

それは国王に力がある時だけうまく治まっているのです。

他国を見ても
おわかりと思います。
国王に力がなくなった時
大国晋も六人の大夫が
勢力争いを起こし、
韓 魏 趙の三氏が勝ち
三つの国となりました。
斉とて田氏に乗っ取られ
田氏斉となりました。

今まで、どの国王も
領土は自分の一族や
功臣に分け与え、
これから誕生するであろう
一族や功臣には
分け与える余地は
ありませぬ。それを
どう解決なさります。

城主達は、自分の領地は
自分の裁量で
政治を行なっています。
兵士とて国家の兵ではなく
その城主の兵で
ございます。

今は 国王に
忠誠心があったとしても、
代が変わっていけば
忠誠心もうすらぎ、
自分の領土の安泰を
優先させるように
なりまする。

22

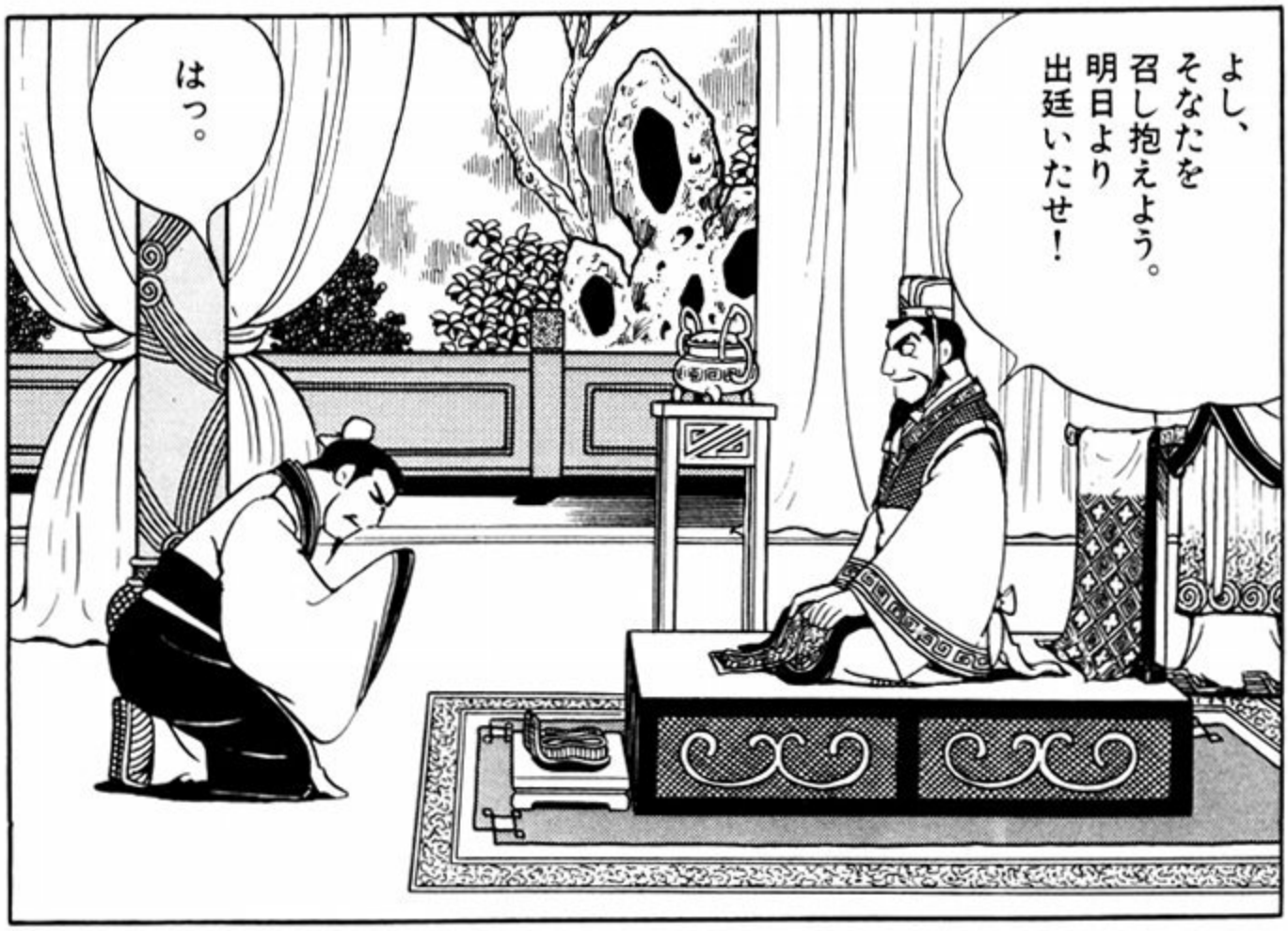
それに、城主達も
正室から側室まで
子を産めば
一族の数はますます増え、
領地の分割で
骨肉の争いが起こること
目に見えておりまする。
そうなると内乱も
起こりかねませぬ。
これを防ぐためにも
旧習を捨て
新しい国法が
必要なのです。

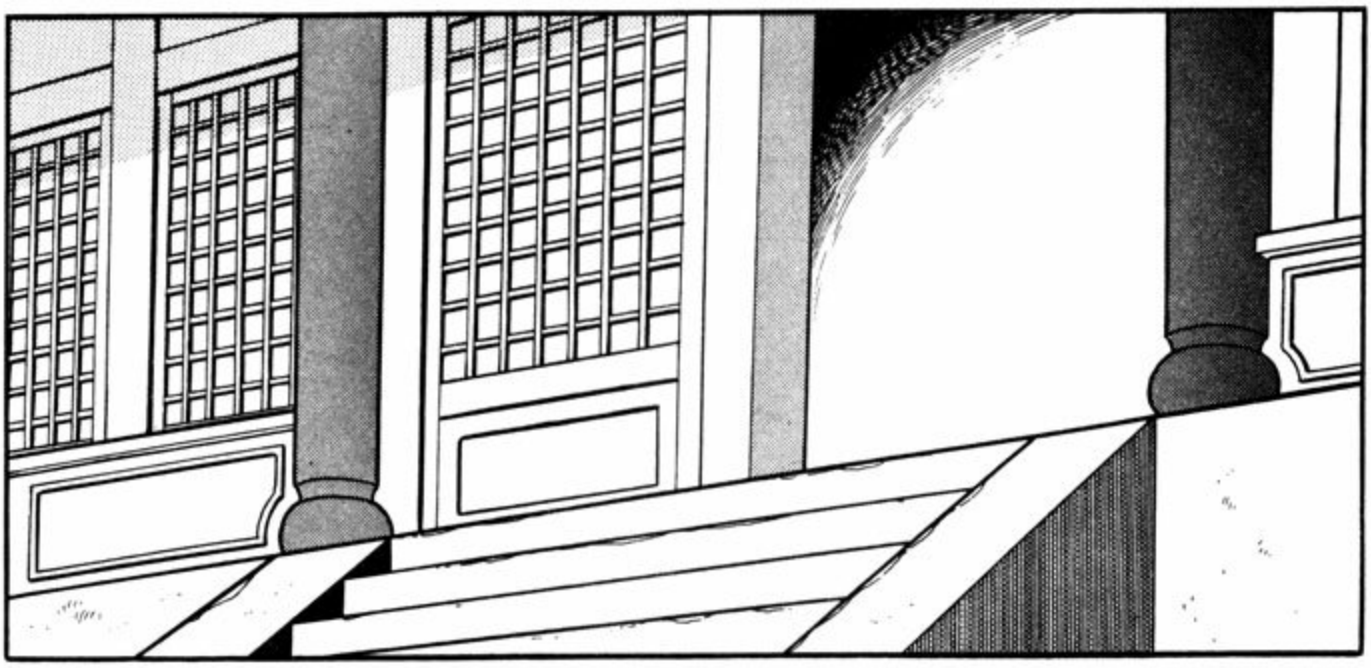
これからは
才能ある者は
禄高で召し抱え、
国法は中央で作り、
領主であろうと
一族であろうと
法を守らぬ者は
厳罰に処すのです。

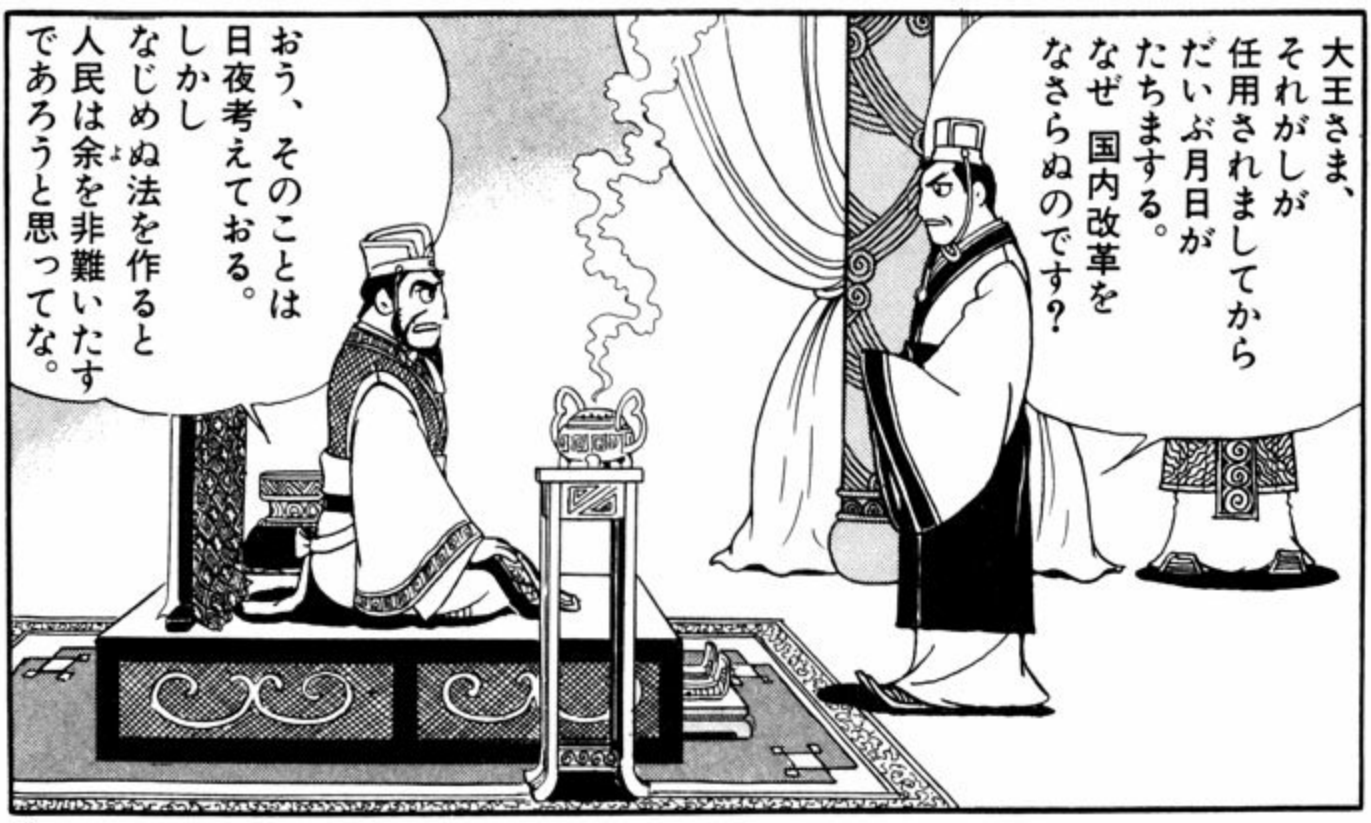
そのようなことを
公表したら、
一族は反発する
であろうな。

国を強くするための
国内改革です。
あとは孝公さまの
ご決心次第です。

23


よし、
そなたを
召し抱えよう。
明日より
出廷いたせ！
はっ。




大王さま、それがしが任用されましてからだいぶ月日がたちまする。なぜ 国内改革をなさらぬのです？
おう、そのことは日夜考えておる。しかしなじめぬ法を作ると人民は余を非難いたすであろうと思ってな。

24

「行ないを躇う者は名誉を得ず。事にあたって躇う者は功なし」と申します。何事でも 世間の水準を超えると、とかく非難はされるものです。だが、それを恐れては何もできませぬ。

25

今までの慣習に従って
人民を導くならば
労せずして功を成し、
今までの法によって治めれば
役人も熟知しているため
人民も安心して
ついていけまする。

それは
俗論で
ござる！

昔から慣習も法も一定不変ではござらぬ。夏殷周もそれぞれ慣習を異にしながらもいずれも王者になり、春秋の五人の覇者も異なる法によって成功しております。

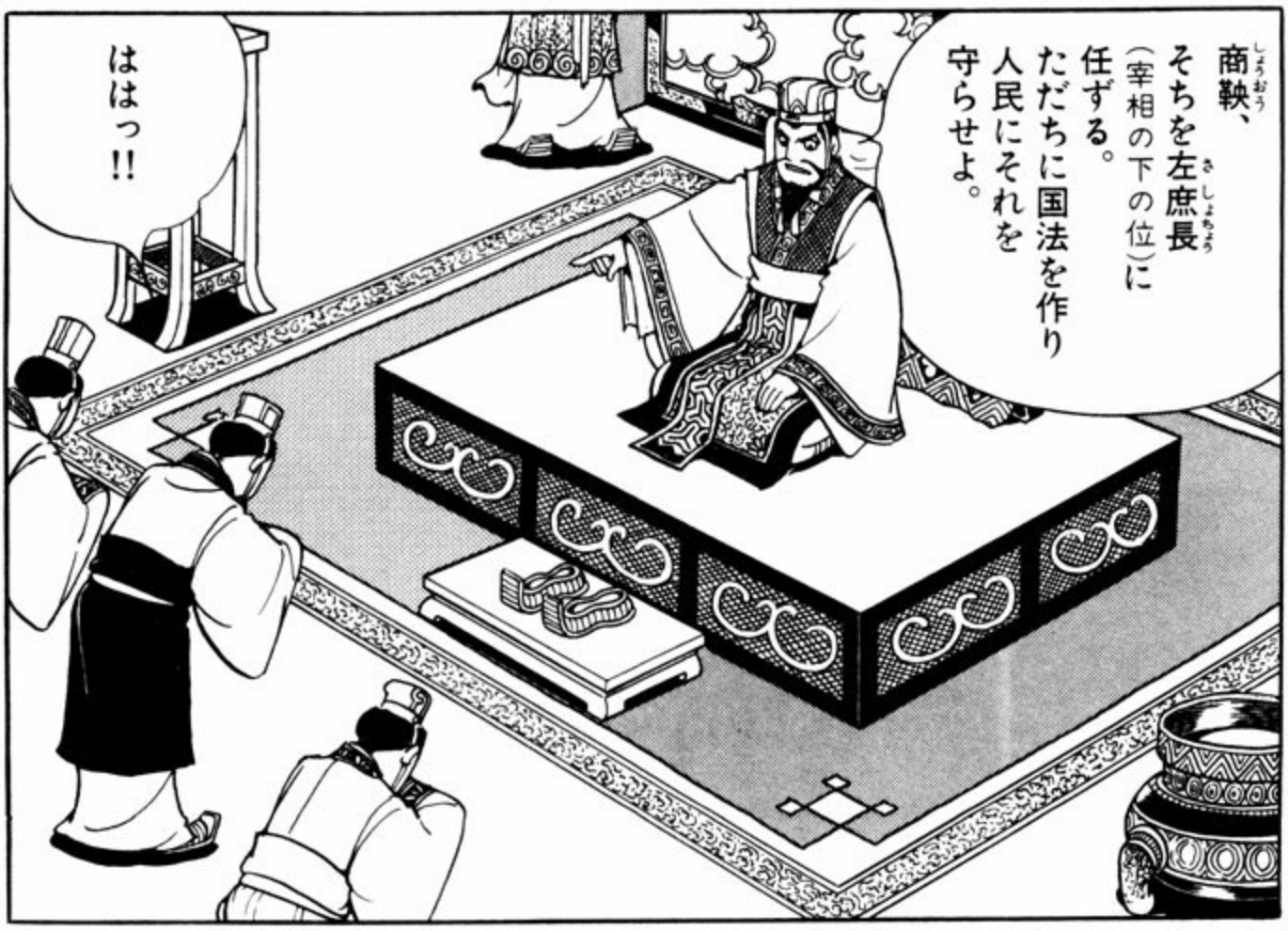
いつの時代でも智者が法をつくり凡人がそれに従う、賢者が慣習を改めると愚者はその慣習にこだわり束縛されていくのです。

商鞅どの、どんな道具にしても効果が十倍なければ変えないもの。まして法となれば利が百倍あるものでなければ変えてはなりませぬ。今まで通りやっていれば間違いは起こりませぬ。

古の慣習に反するからといって非難すべきものでもなく、慣習に従うからといって誉めるべきものでもありませぬ。
……
……

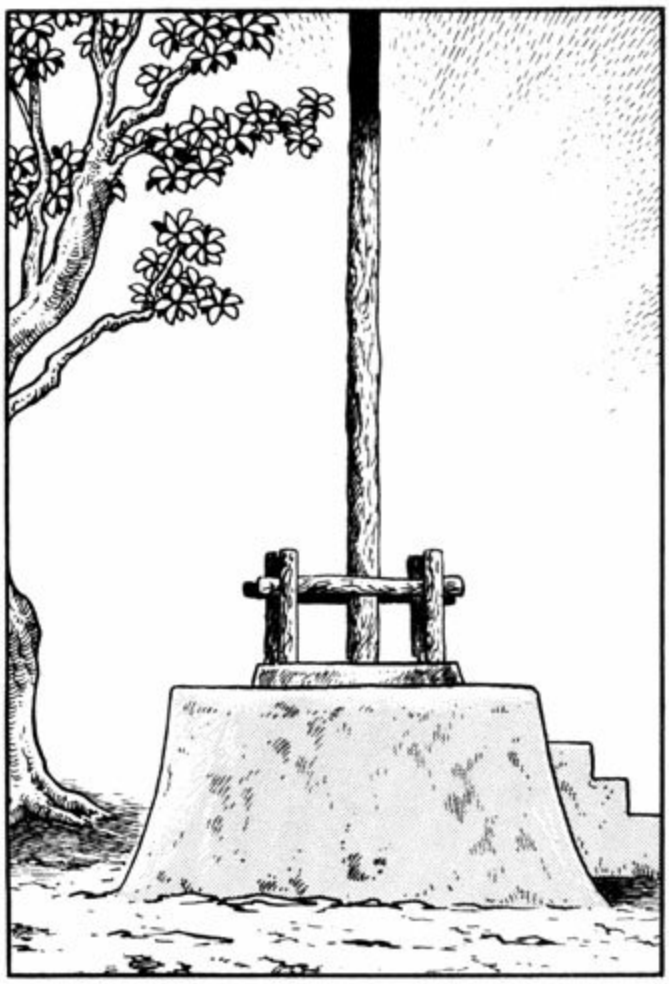
なるほど、そちの申す通りだ。将来のためにも国内改革を断行しよう。

27


商鞅、そちを左庶長(宰相の下の位)に任ずる。ただちに国法を作り人民にそれを守らせよ。
ははっ!!

五人組十人組の制度を作り、互いに監視させ、
誰かが罪を犯せば組の者みな連座させる。
悪事があっても訴えない者は、腰斬の刑に処す。
悪事を訴えでた者には、敵の首を取ったと
同じ賞を与える。
罪人をかくまった者には、敵に降伏したのと
同じ罰を与える。
一家に男子二人以上あって、分家しなければ
課税を倍とする。
軍功をあげた者には、その程度に応じて
爵位を与える。
私闘した者は、その程度に応じて刑に処す。
食糧や織物をたくさん上納した者には、
国家事業の労働を免除する。
働かずして貧しくなった者は、奴隷とする。
公の一族でも軍功がなければ、公族の籍を
剝奪する。
身分の等級を定め、田地屋敷の広さ、衣服は、
この等級によって定める。
功績をあげた者には贅沢を許すが、功のない者は、
金持ちであっても贅沢は許さない。

28



29

そんな馬鹿なことがあるものか！ただで金をもらうようなものだ。

そんなうまい話なんてねえ。誰かのいたずらだろう……。

人民は誰一人信用しなかった。

おい、こんどはなんだ。
それが移動した者には五十金与えるとさ。

30

五十金……！
本当かねえ？

31

32

国王の出される法令には嘘いつわりはない。

こうして新法は公布された。

33

だが 新法には不平不満が続出し、不便だと訴える者が後を断たなかった。

商鞅よ、新法の評判はすこぶる悪いぞ。国内に不満が充満している。
新しいことには、慣れるまで時間がかかります。

それより問題なのは、上の者が法を守らぬゆえ人民もついてきませぬ。

上の者……？

34

太子は毎日贅沢三昧！これは「どんな金持ちでも功績をあげなければ贅沢は許さない」という新法を犯しています。罪に問わねば城主や人民は法を軽んじ……。
ままてっ、太子はわしの世継ぎじゃぞ!!

この新法は国を強くするための法、太子であろうとも罰せねばなりませぬ。
しかし……

だが、お世継ぎを罰するわけにはいきませぬ。

その罪は待従長の公子虔教育係の公孫賈にあります。二人が法の大切さを説いておれば国法を犯すようなことはしなかったはず……。

大王さま、公子虔 公孫賈に罪を与えることをお許しくださりますよう。大王の決意が人民に伝わりまする。
ムムム……。

35

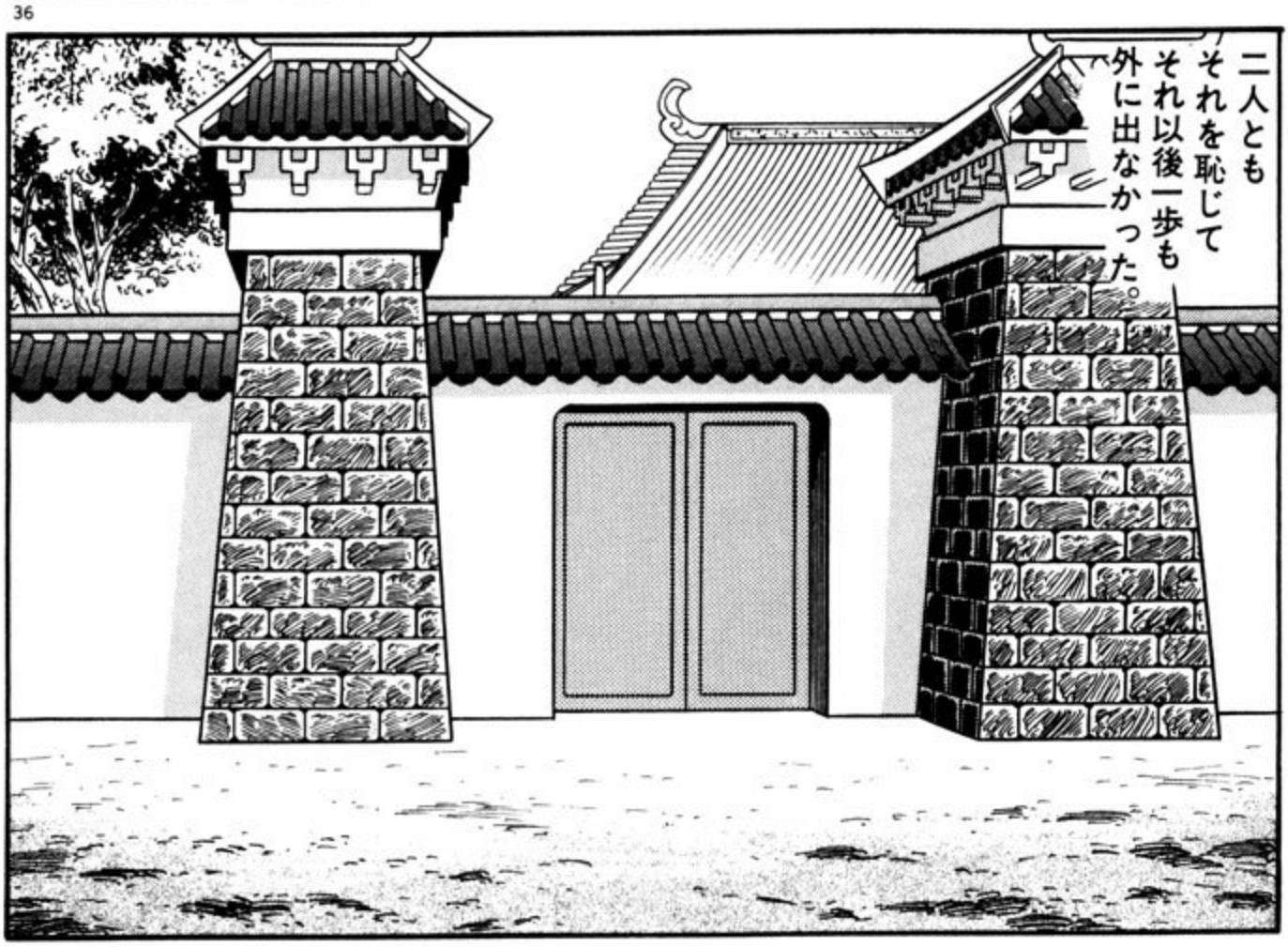
わかった！任せる……。

ご決断ありがとうございます。すべて秦国の将来のためにございます。

こうして公子虔は
鼻そぎの刑に
処せられ……

公孫賈は
ひたいに入れ墨を
入れられた。

36


二人とも
それを恥じて
それ以後一歩も
外に出なかった。

人民は仰天して
懸命に働きだした。
「働かずして貧しく
なった者は奴隷と
する」との法が
あるからである。

こうして
十年が流れた。
税収は増え
国は富み、
秦は再び
強国となって
いった。

37

商鞅(しょうおう)は少しずつ
法を強めていった。
このため秦では
落し物があっても
誰も拾わず、
盗賊も
出なくなった。

この功績により
商鞅は宰相になった。

秦は、その後
雍(よう)から咸陽(かんよう)へ
遷都した。

38

そして、孝公は
天子から贈り物を
受けた。これは
よほどのことがなければ
贈られぬ物で、
天子が孝公を覇者と
認めたことである。

大王、わが国にとって魏国は体内の病気のようなものにございます。倒すか倒されるか道は二つに一つです。

魏は中原の富を独り占めにし、有利とみればわが国を攻め、不利とみれば東国を狙いまする。

うむ……。

その魏も先年 斉との戦いで孫臏の策にはまり、馬陵で将軍龐涓を失い大敗して国力が弱っておりまする。攻めるなら今、絶好の機会です。

39

魏は わが国の攻撃を防ぎきれず、東に都を移すでしょう。そうなれば わが国は天然の山河を要害にして東方の諸侯を制圧できまする。これこそ帝王の業です。

うむ、確かにその通りだ…。

よし、そちに魏討伐を命ずる。

ははっ!!

こうして商鞅は魏へ進軍した。

秦

商

40

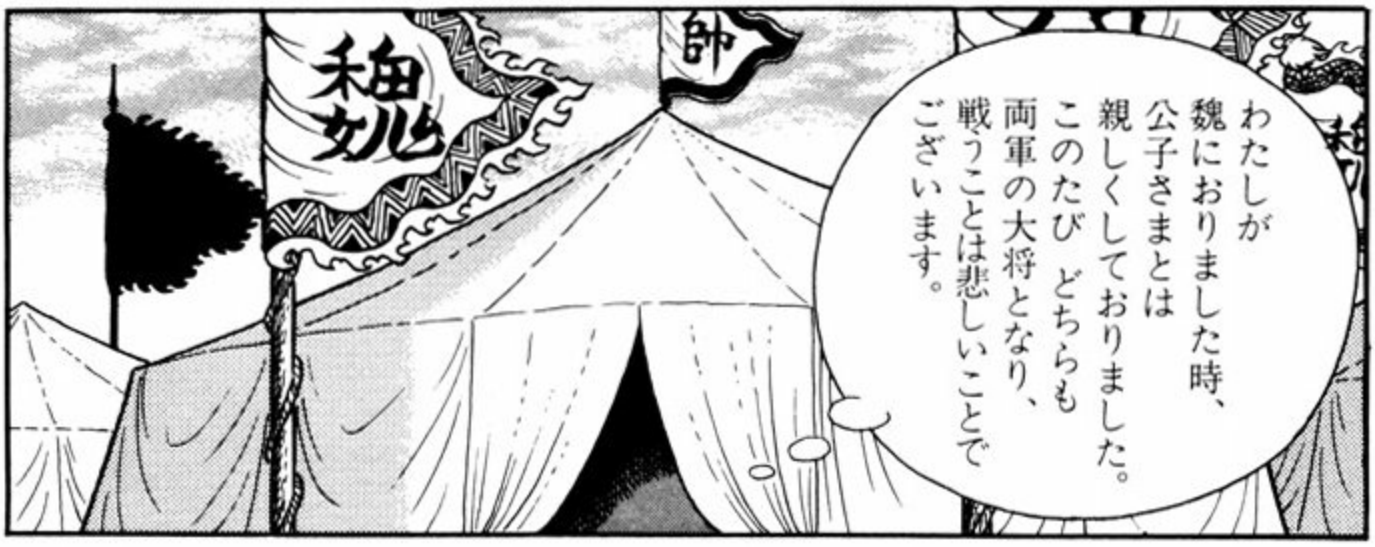
魏も公子卬を総大将として秦軍を迎え撃つために出陣した。

両軍は対峙した。

魏

41

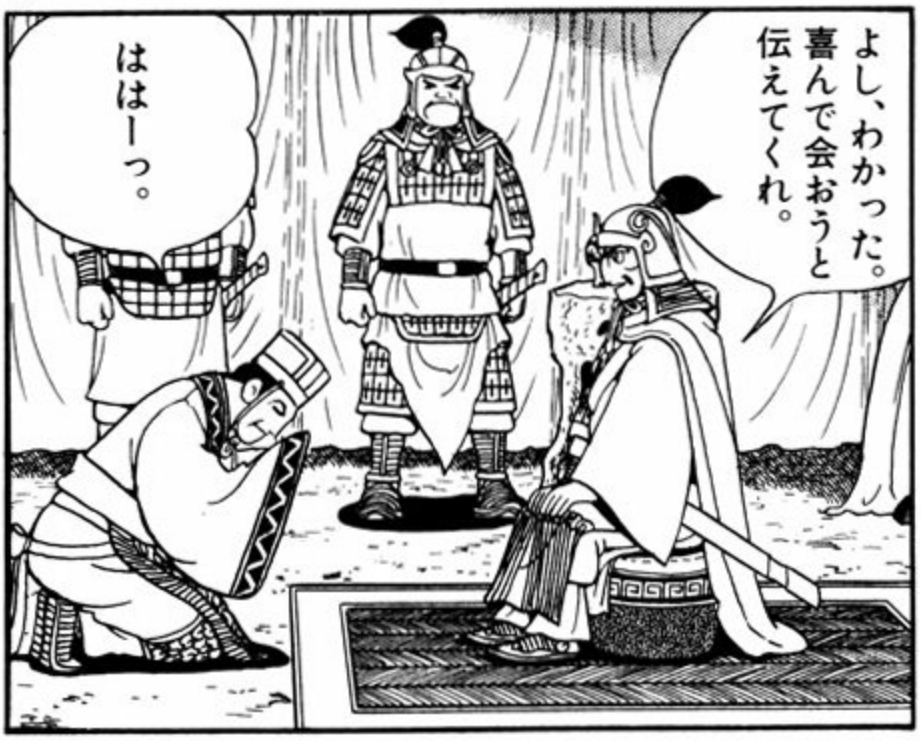
ここで商鞅は公子卬に親書を送った。


秦
帥
わたしが魏におりました時、公子さまとは親しくしておりました。このたび どちらも両軍の大将となり、戦うことは悲しいことでございます。

できますれば直接お目にかかり、和平を誓い、お互いに気持ちよく兵を退こうではありませぬか。そうすれば貴国もわが国も安泰と申せましょう。

42

なるほど、商鞅どののいう通りだ。


よし、わかった。喜んで会おうと伝えてくれ。
ははーっ。

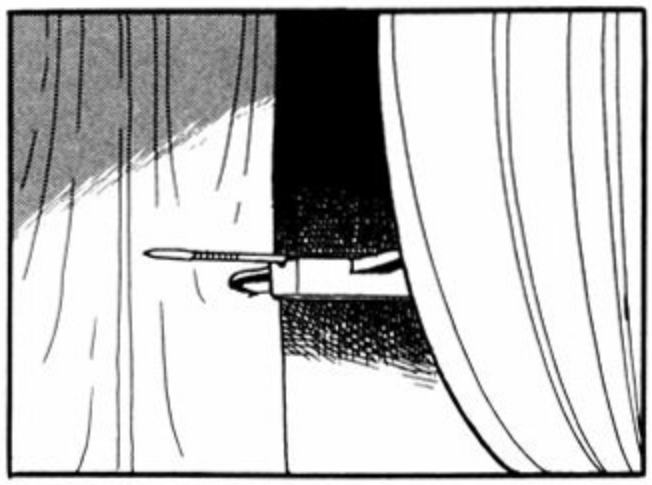
こうして
日を定めて
二人は会見した。

商鞅どのも、
秦の宰相とは
立派に出世
されたのう。

公子さまも
立派な武将に
なられました。

43

だが　この時
商鞅は兵を伏せて
いたのである。

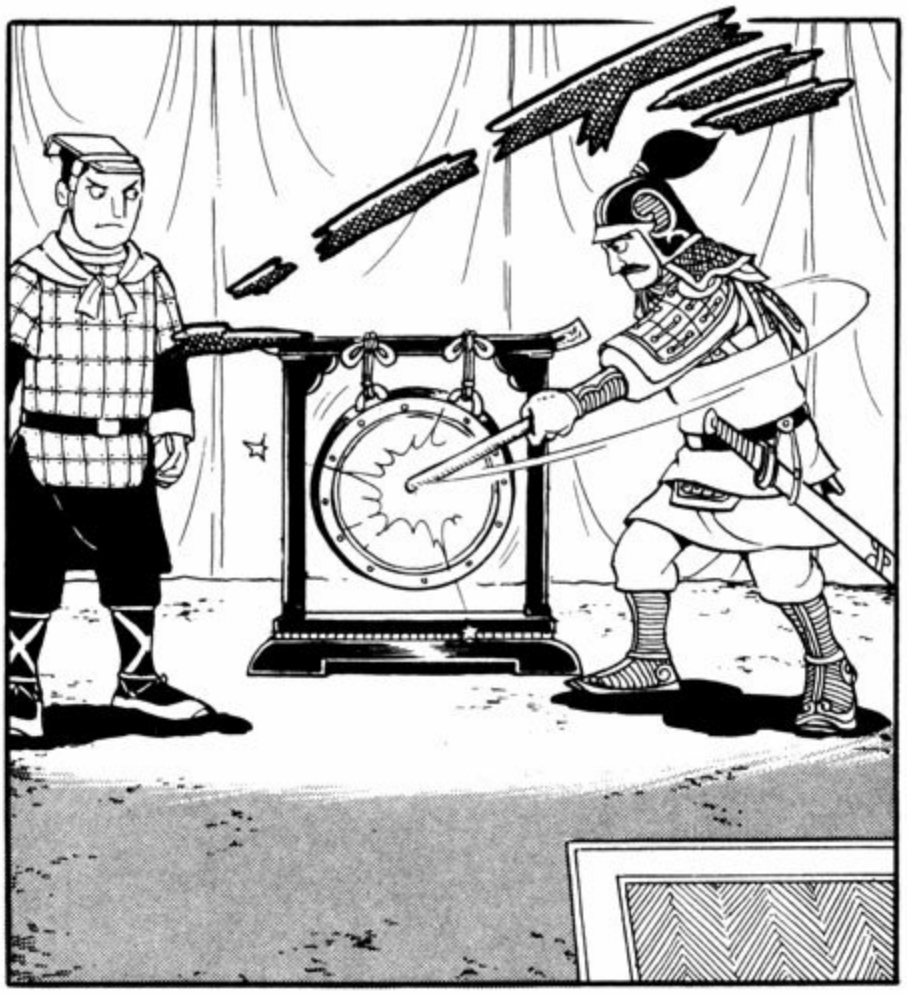


44

両雄並び立たず。生き残るためには手段はいといませぬ。

ぬうっ、商鞅よ…いずれおまえも人に裏切られるぞ……！

よし、総攻撃の合図を!!



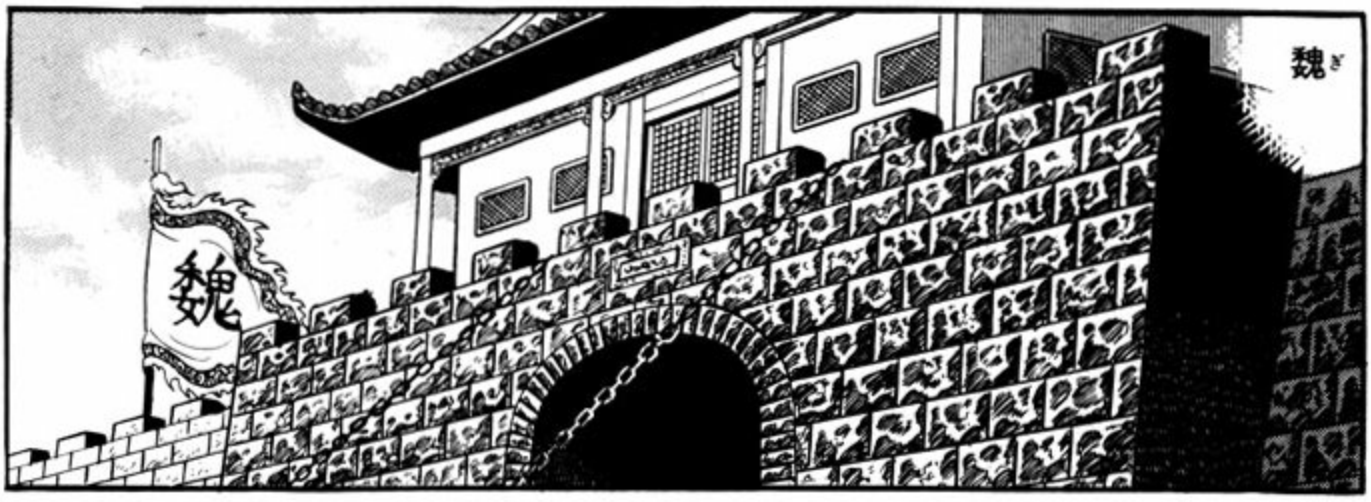
はっ!!

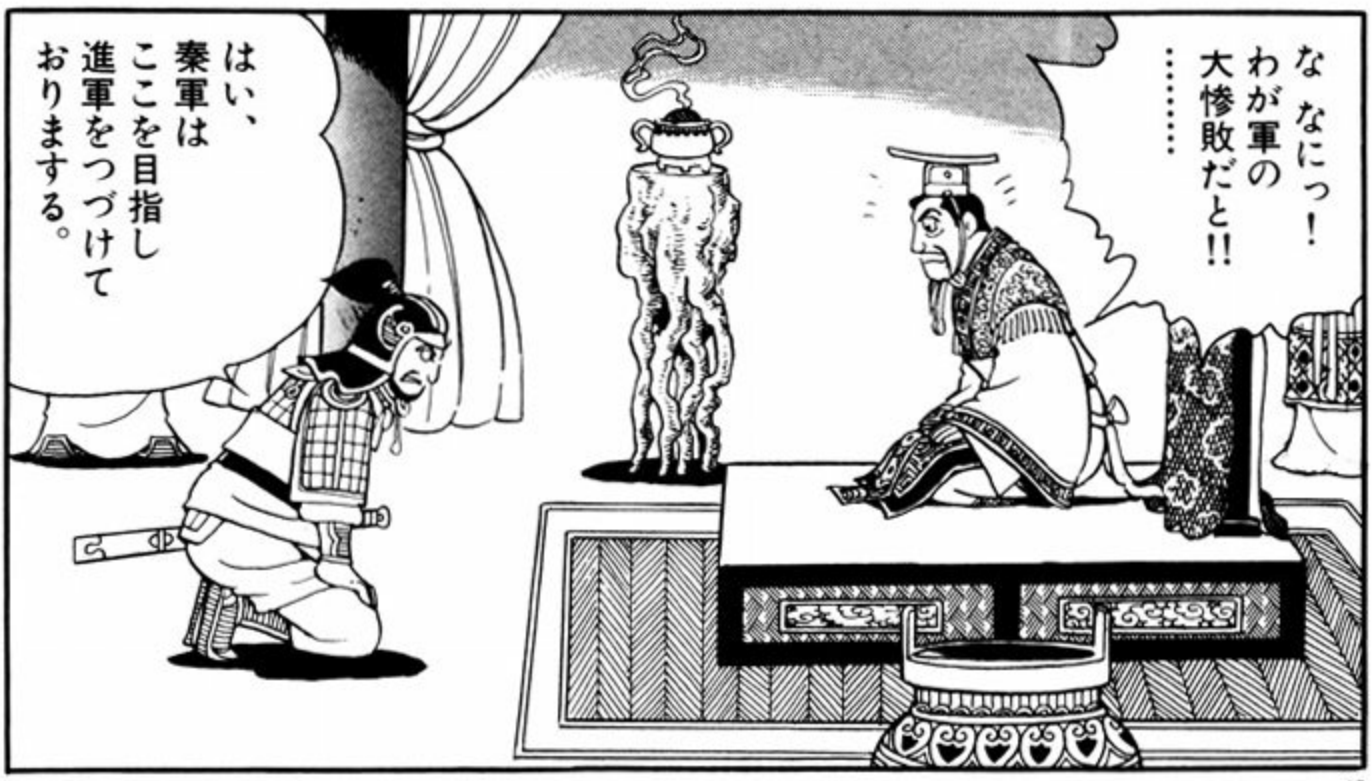
秦軍は
攻撃を開始した。
「軍功をあげた者には
爵位を与える」と
あるため
兵士は目の色を
変えて
突撃した。

それに反し、
総大将を失った
魏軍は混乱し
……

46

大惨敗を喫し
敗走した。

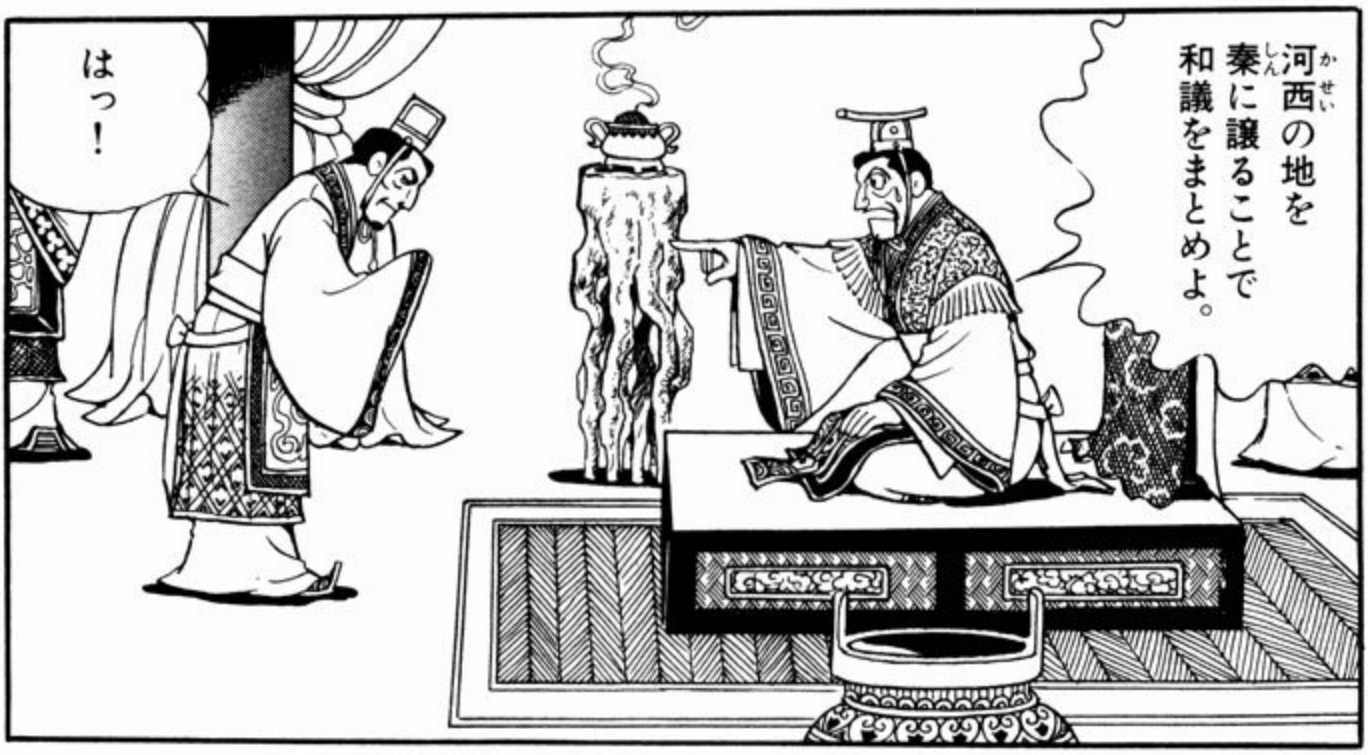

魏
魏


なにっ！
わが軍の
大惨敗だと!!
……
はい、
秦軍は
ここを目指し
進軍をつづけて
おりまする。

47

恵王さま、先年
斉との合戦で
わが軍の兵は
底をついて
おりまする。
とても防ぎきれ
ませぬ。

和議じゃ、
和議を申し込め……！


河西の地を秦に譲ることで和議をまとめよ。
はっ！

ぬうう…、公叔痤の言葉を聞き入れ、殺しておくべきであった。

48

まてよ…、先年は斉に領土を削られ、今また 河西の地を秦に与えた…。首都をここに置くのは危険だ。

不安にかられた魏の恵王は、あわてて首都を安邑(あんゆう)から大梁(だいりょう)に遷都した。

49

すべて商鞅の読み通りであった。商鞅は秦に凱旋(がいせん)した。

この手柄により
秦の孝公は
商鞅を商・於の地に
封じた。
（商君とか商鞅と
呼ばれるのは
この時からである）

なにっ、
わしの法が
厳しすぎると
申すか！

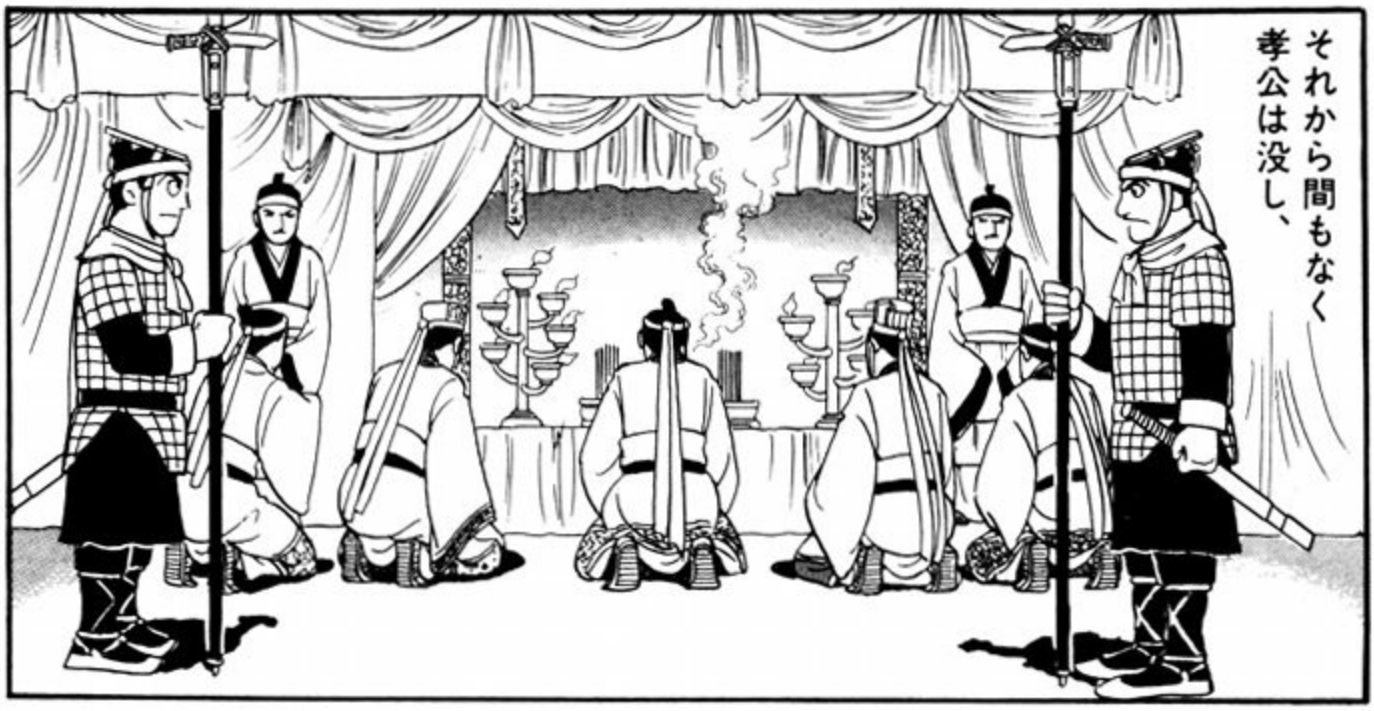
はい、公子や貴族は
特権を奪われ、
不満をつのらせて
おりまする。これ以上
恨みを買わぬため、
少し法を緩めては
いかがでしょう…。

50

いや、秦がここまで
強くなったのは
法律のおかげだ。
怠け者はいなくなり
国は富み、
将軍達は爵位を
奪われまいと
懸命に戦う。

人民も功により爵位を
与えられるのだから
喜んで戦いに
参加している。
これなくして秦は
天下を統一できようか。

しかし…鼻そぎの刑となった公子虔の一族が商鞅さまの落ち度をかぎまわっているとか……今のうちに商・於の地を返して どこかに隠居なされたほうが安全でございます。
趙良よ、わしの身を心配してくれるのはありがたいが、まだ法治国家として完成したわけではない。わしはつづける。

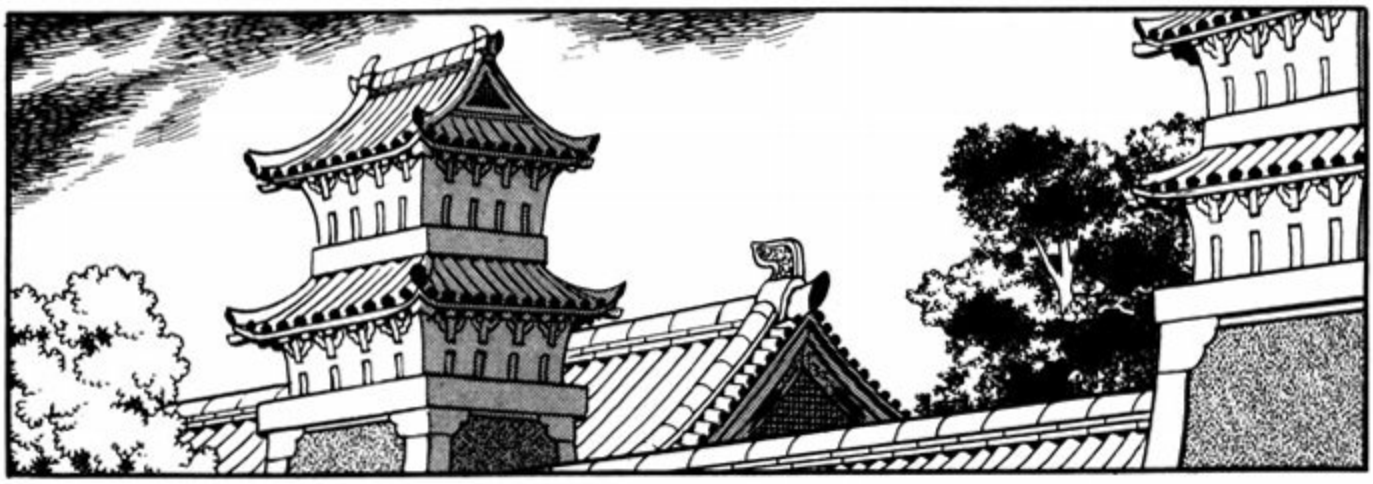

それから間もなく孝公は没し、

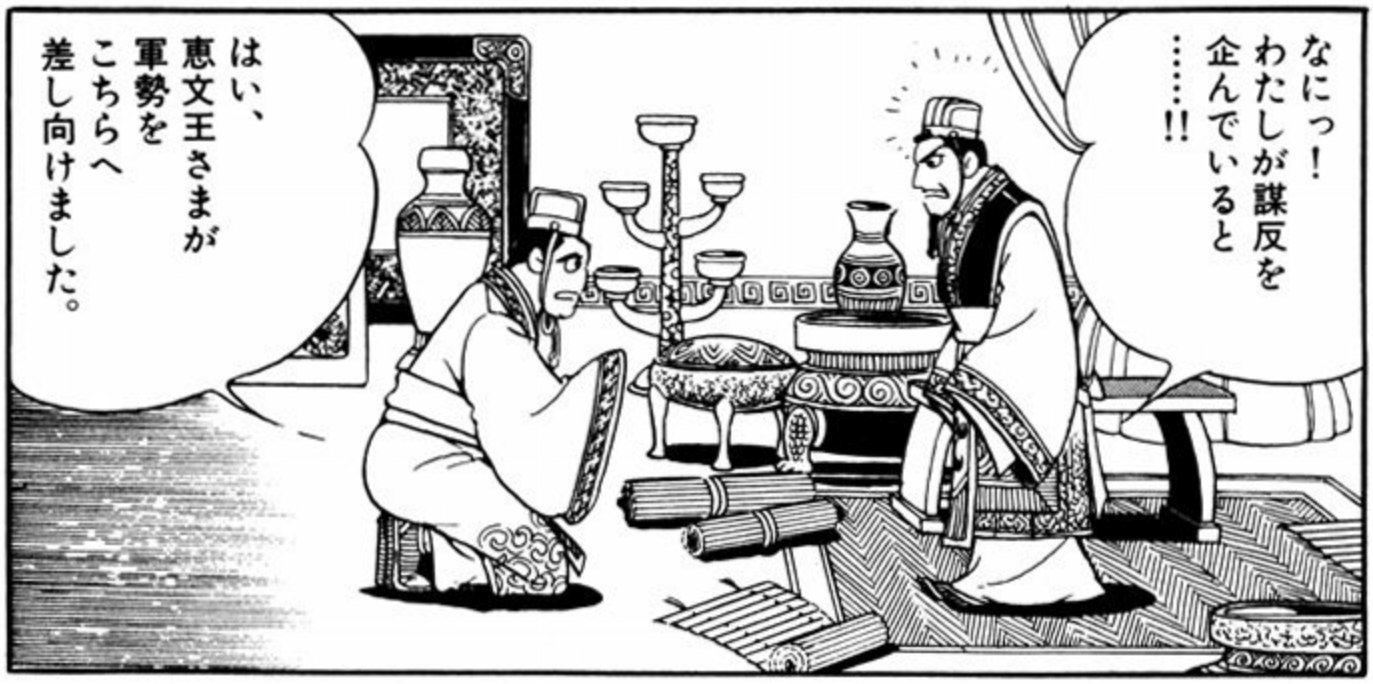
51

太子が即位し、秦の国を継いだ。秦の恵文王である。

この時とばかり、鼻そぎの刑に処された公子虔の一族がもっともらしい理由をつけて、商鞅が謀反を企んでいると訴えたのである。

52




なにっ！
わたしが謀反を
企んでいると
……!!
はい、
恵文王さまが
軍勢を
こちらへ
差し向けました。

誰も
弁護をする者は
いなかったのか？
……
はい。

53

すべて秦を
強国にするために
やったこと……。
それが謀反人
扱いか……。

ともかく、一刻も早く他国へ亡命してくださりませ。

わかった……。他国でまた国造りをやろう。

商鞅はわずかの供を連れて亡命をはかった。

54

そして函谷関までたどりつき、そこで宿をとろうとした。

なにっ、泊められぬと申すか…。

はい、商鞅さまの決めた法律で手形のない者を泊めるとわたしが罪に問われます。

ふむう…、法律もいき過ぎるとこれほどにもなるものか……。

商鞅はいき過ぎた法律の弊害に気づいたが時すでに遅かった。

55

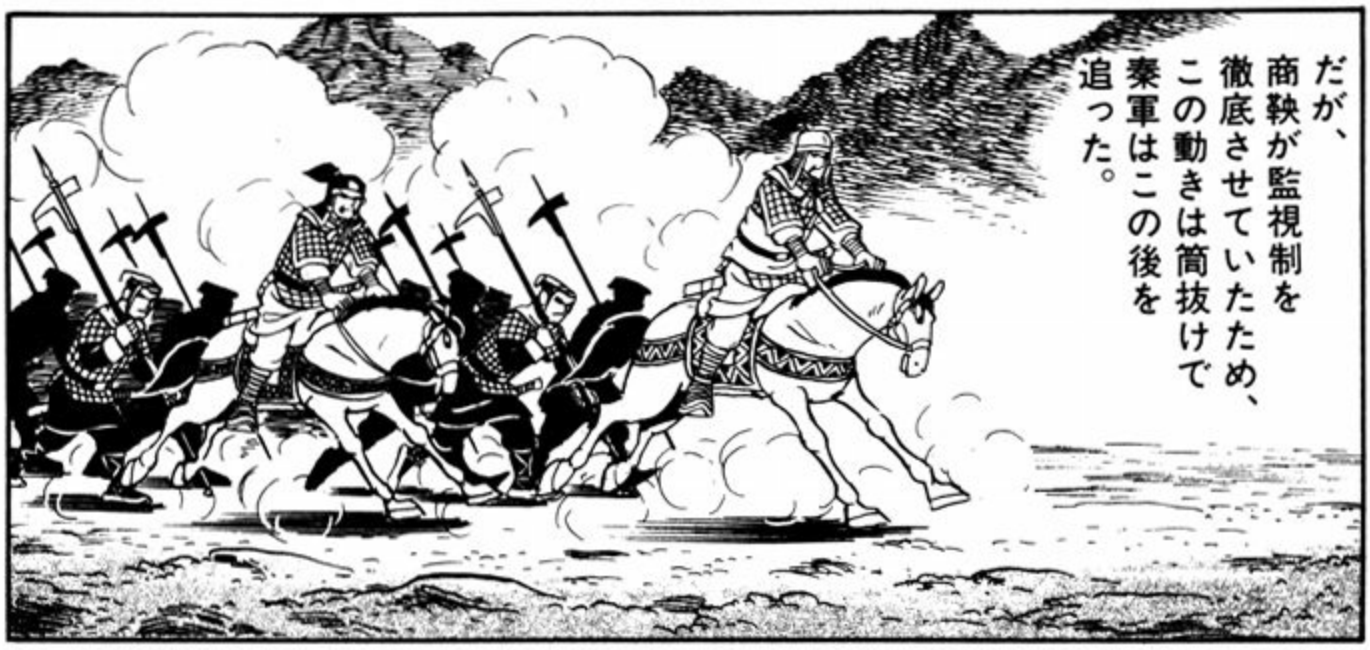
商鞅は間道を伝わって魏に逃げ込もうとした。

だが 魏の人々は
彼が公子卬(こう)を
だまして
魏軍を破ったことを
忘れていなかった。

56

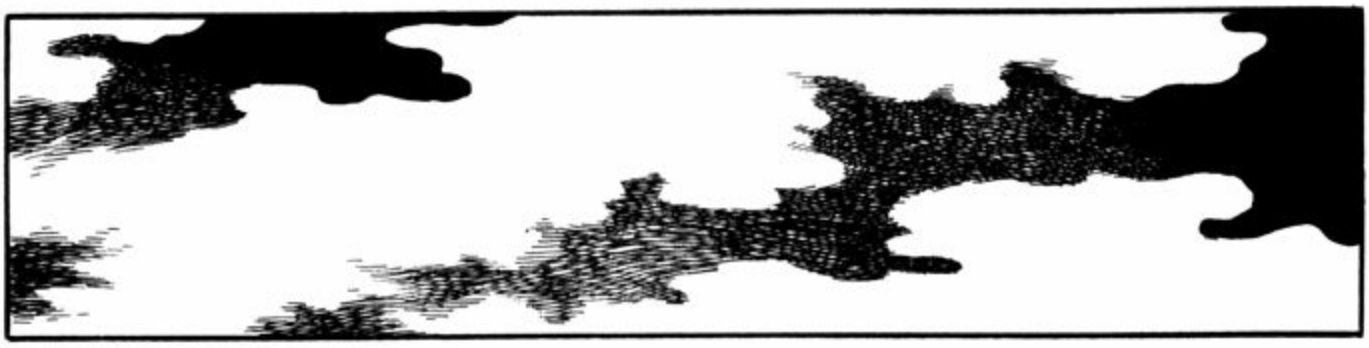
魏は 強国秦の
謀反人をかくまっては
侵略の口実を
与えるといって、
商鞅を秦の国境まで
護送してしまった。

商鞅は北方の
鄭に活路を
求めようとした。


だが、
商鞅が監視制を
徹底させていたため、
この動きは筒抜けで
秦軍はこの後を
追った。

57

そして鄭の澠池で
商鞅を捕えた。



商鞅よ、そちは謀反を企んだ。よって法に従い車裂きの刑とする。
わたしは無罪だ!!

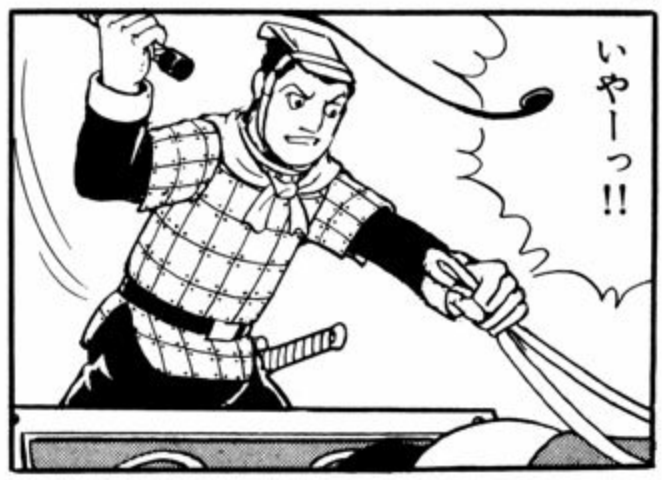
58

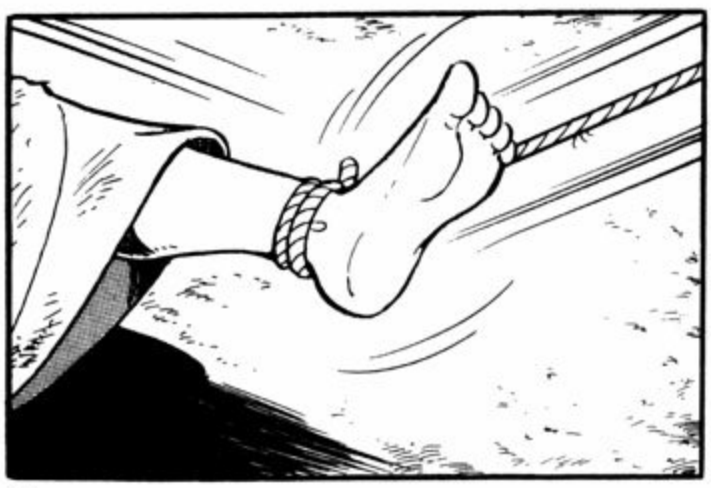
問答無用！王命である。そなたの定めた法律でそなたを裁く!!

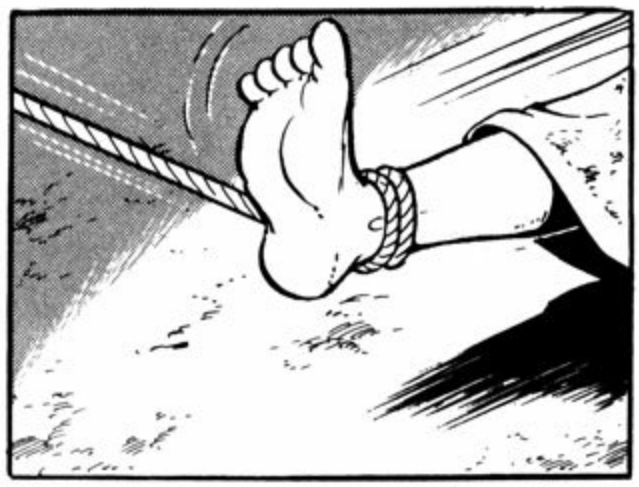
そんなものはでっちあげだ!!

だまれ!!訴人もいれば証拠もある。

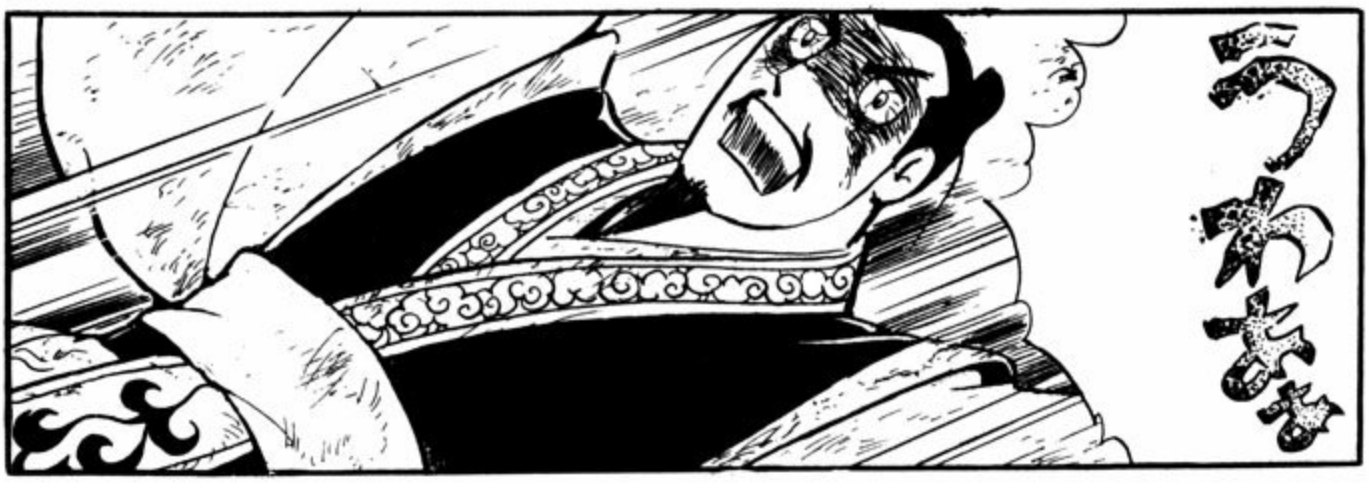
59

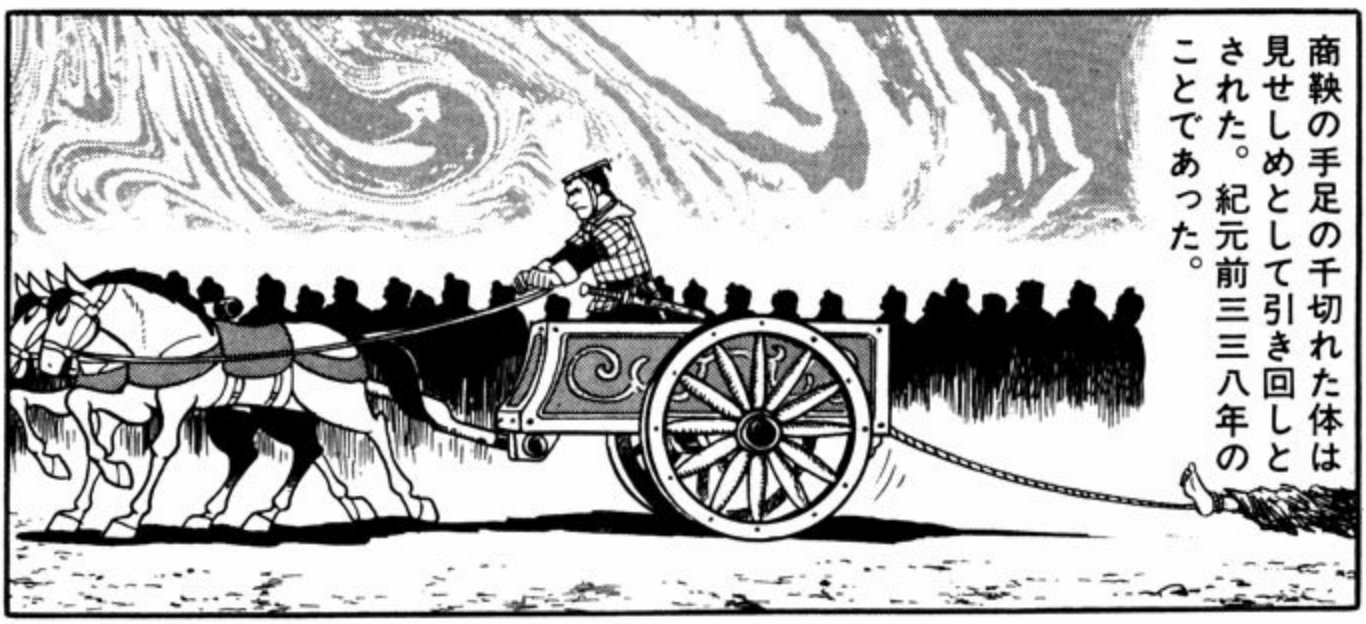






60





しかし 秦は
商鞅(しょうおう)の法治国家の姿勢は
そのまま継承した。
それが やがて中国統一を
なした始皇帝を生む
強国秦の土台となった。

「史記」第3集—完—

■『史記』関連年表

紀元前	中国	紀元前	世界の国々
2550	黄帝、顓頊、帝嚳、堯、舜の五帝が支配した伝説の時代。	4000頃	エジプト初期王朝時代始まる。王都メンフィスを創設。
2144	夏、始まる。	2700頃	エジプト、ピラミッドを造営。
1711	殷、始まる。	2500頃	インダス文明はじまる。日本、縄文文化中期（発展期）。
1066	周、始まる。	1600頃	日本、縄文時代後期。
1065	魯、燕、衛、晋、曹、蔡、呉、陳、宋、斉、楚の諸侯、成立。	955	ソロモン（ダビデの子）イスラエル王となる。
770	東周、始まる。秦、諸侯に列する。	776	ギリシア、オリンピアで第1回オリンピア競技会開催。
722	春秋時代、始まる。	753	ローマ建国。
686	斉の襄公、公孫無知の謀反により死す。		
685	斉の桓公、管仲を宰相に迎える。		
667	斉の桓公、周王より伯（覇者）を賜わる。	625	新バビロニア王朝はじまる。

666	晋の**驪姫**、その子・奚斉を立てようとし、**重耳**らの追放をはかる。	
645	斉の宰相**管仲**死す。	
636	重耳、亡命19年ののち即位し、晋の**文公**となる。	
546	宋の向戌の提唱で、晋、楚、魯、蔡、衛、秦など13か国間の和平成立。以降40年間休戦となる。	
522	楚の**平王**、**伍奢**とその子**伍尚**を死罪に処す。伍尚の弟**伍子胥**、呉に逃げる。	
515	呉の公子光、王、僚を討ち王位につく。名を**闔廬**と改める。	
511	呉、**伍子胥**の計を用いて楚に侵入。	
506	呉、楚軍を破り、楚の都郢に入る。	
505	越、呉に侵入。楚の**申包胥**、秦の援軍を得て楚を救う。呉敗北。	
496	呉王**闔廬**、越王**句践**と戦い、矢傷を負い敗死。	
494	呉王**夫差**、**句践**を会稽山で破る。	
484	呉王**夫差**、艾陵で斉軍を破る。**伍子胥**、呉王夫差より死を命ぜられ自害。	
482	呉王**夫差**、黄池で覇権を争う。その隙をついて越王**句践**、呉に侵入。呉、大敗を喫す。	
481	**春秋時代**終わる。	

539	新バビロニア王朝滅亡。ペルシア帝国隆盛期。	
500	ペルシア戦争始まる。	
500頃	日本、縄文晩期時代。	
490	マラトンの戦いでペルシア、ギリシアに敗れる。	
457	ギリシア、オリンピアにゼウス神殿完成。	

紀元前	中国
473	越王**句践**、呉を滅亡させ、覇者となる。
453	大国・晋、韓・魏・趙の三氏に分裂される。これより三晋おこる。
446	魏、文侯即位。魏の国力盛んとなる。
403	**戦国時代**始まる。
387	魏の文侯没す。**呉起**、楚に移り宰相となる。
384	秦、殉死を禁止。
381	楚の悼王没す。**呉起**、楚の貴族たちに殺される。
367	周、**西周**と**東周**に分裂。
359	秦の孝公、**商鞅**を左庶長に任じ、新法を公布、国内改革を断行。
350	秦、咸陽へ遷都。
341	斉の将軍**田忌**、**孫臏**の計により魏軍を破る。魏の将軍龐涓、自害。
340	秦の**商鞅**、魏軍を破り、商・於に封じられる。
338	秦の孝公没す。**商鞅**、車裂きの刑に処される。
221	**秦**、天下統一。秦王政、**始皇帝**と名を改める。

紀元前	世界の国々
449	アテネ艦隊、キプロス島でペルシアを破る。ペルシア戦争終わる。
447	ギリシア、パルテノン神殿着工。
340頃	日本、弥生前期時代。
336	アレクサンドル大王即位。
331	ペルシア帝国滅亡。
317	インド、マウリア王朝を興す。
269	ローマ、銀貨を初めて鋳造。
268	インド、アショーカ王即位。マウリア王朝最盛期に。

214	万里の長城の建設始まる。	
210	始皇帝、沙丘で死去。	
202	劉邦、項羽を破り、漢王朝を興す。	
	劉邦、皇帝・高祖を名のる。	
145	司馬遷、生まれる。（異説あり）。	
140	武帝、天下の大学者、董仲舒を得る。	
136	武帝、五経博士を置く。	
110	武帝、泰山で封禅を行なう。	
104	太初暦（陰暦）完成。	
99	匈奴軍に降った李陵を弁護したため、司馬遷宮刑に処される。	
96	司馬遷、大赦により出獄し、中書令に任命される。	
87	武帝死去。	
86	司馬遷死去。（異説あり）。	

144	ローマ、マルキア水道建設。	
87	民衆派ローマを占領。恐怖政治始まる。	

ビッグゴールドコミックス

史記
悲劇の改革者

3

1994年5月20日　初版第一刷発行

著者
横山光輝
©1994 MITSUTERU YOKOYAMA
発行者
白井勝也

発行所
株式会社　小学館

〒101-01東京都千代田区一ツ橋2-3-1
[編集]TEL03・3230・5481[販売]TEL03・3230・5749

印刷所
株式会社美松堂(カバー、表紙)
中央精版印刷株式会社

装幀
海野一雄
＋
Bay Bridge Studio

●本書の一部あるいは全部を無断で複写・転載・上演・放送等をすることは、
法律で認められた場合を除き、著作者および出版者の権利侵害となります。あらかじめ小社あて許諾を求めてください。
●造本には十分注意しておりますが、万一、落丁・乱丁など不良品がありましたら、「業務部」あてにお送りください。
送料小社負担にてお取り替えいたします。業務部(TEL0120-336-082)
Ⓡ本書の一部または全部を無断で複写(コピー)することは、著作権法上での例外を除き禁じられています。
本書から複写を希望される場合は、日本複写権センター(TEL03-3269-5784)にご連絡ください。

検印廃止

ISBN4-09-189043-1

Printed in Japan

●四六変型判●各224～288ページ
●定価（各）650円～700円〈税込〉

好評発売中！

舞台はエジプト第18王朝。ツタンカーメンと王妃の愛、そして多神教から一神教へと移り行く宗教のドラマ!!

里中満智子「アトンの娘」①～②巻

一球に泣いた男、戦わずしてグランドから去って行く者たち。白球の中に見た多くの人びとの人情ロマンをじっくりと!!

水島新司「平成野球草子」①～②巻

貧しい農民に生まれ、苦闘のすえに農政の実務家となった男、再建コンサルタント・二宮金次郎の現代的な魅力!!

ジョージ秋山「博愛の人」①～②巻

宮刑に処せられてなお、歴史を記すことに生涯を賭けた司馬遷の「史記」、中国第一の歴史書の完璧なコミック化。古代英雄列伝。

横山光輝「史記」①～③巻

ビッグゴールド BGC コミックス

鍛え抜かれた兵士はどんな状況でも対応できる。そんな強者たちが、極限状態で見たものは!?リニューアルされた戦場ロマン・シリーズ!!

松本零士「ケースハード」①～②巻

マンガ家水木しげる、幸福観察学会会長ねずみ男、謎の怪人等々。強烈な個性が入り乱れて綴る「幸福」をめぐるユーモラスな連作。

水木しげる「妖怪博士の朝食」①～②巻

迷いようもない整然とした町、真っすぐのびた道路の果ては!?ニュータウンの住宅地に住む人びとの悲喜こもごも…!!

齋藤なずな作品集①「迷路のない町」

戦乱の銃声高まる中国大陸にたくましく生きた日本人の芸妓たち!!日中近代史を女性の側から見直す…!!

竹宮恵子「紅(くれなる)にほふ」①巻

※続刊●水島新司「平成野球草子」③巻●青柳裕介作品集①「男の船出」●6月1日ごろ発売！

永遠の珠玉作!!「ロストワールド」「魔法屋敷」「ファウスト」など、全てはここから始まった。今、巨匠から現代人に…!

手塚治虫「手塚治虫初期傑作集」①〜⑧巻

悪とは何か!?略奪、恐喝、誘拐、詐欺、殺戮…。現代人の心に巣食う様々な悪徳の姿を鋭く描破!!

手塚治虫「MムウW」全②巻

謎の奇病モンモン病に挑む青年医師〝小山内桐人〟。彼の直面する現実は、自らの病の罹患と、医学界の権力争い…!!

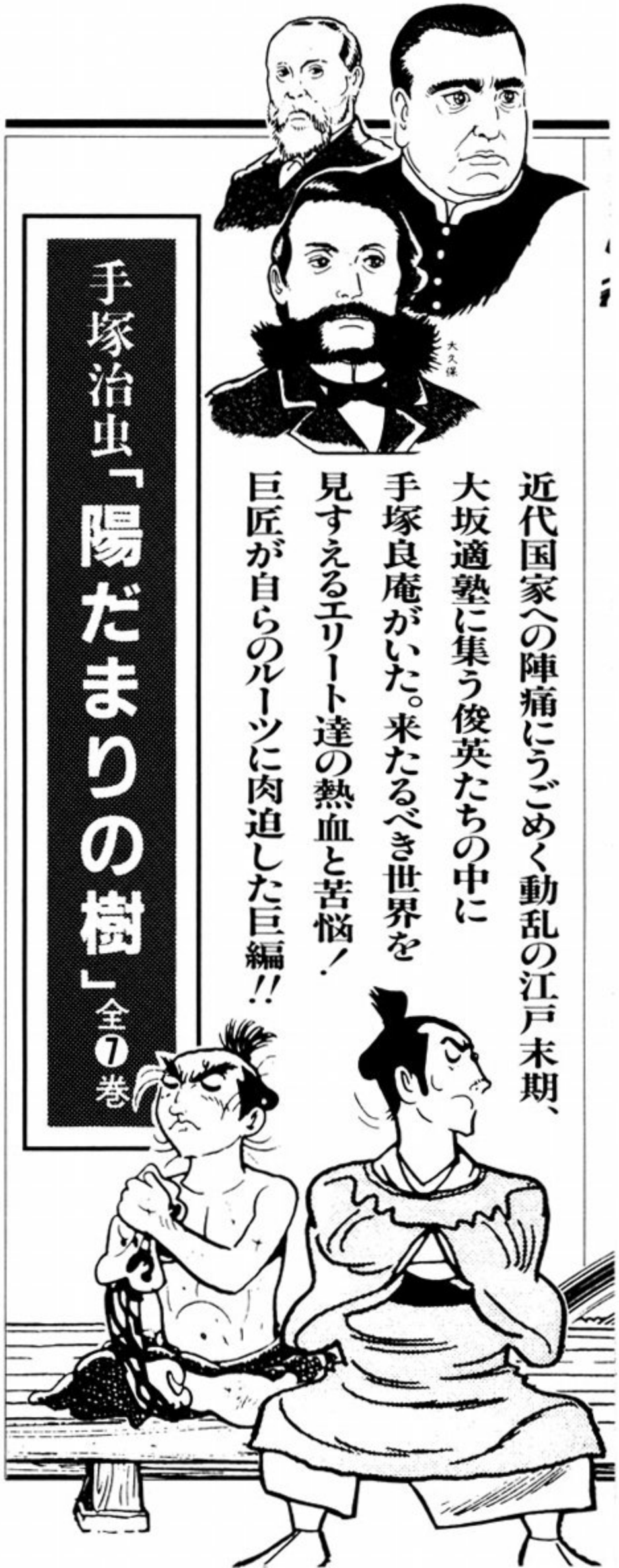
手塚治虫「きりひと讃歌」全②巻

BIG OF BIG COMICS

愛蔵版コミック
小学館叢書

SHOGAKUKAN SOHSHO

BIG OF BIG COMICS
愛蔵版コミック
小学館叢書
必読コミックの全集です。

〈好評発売中!!〉

白土三平「カムイ伝」	全15巻
白土三平「サスケ」	全8巻
白土三平「忍者武芸帳」	全8巻
白土三平「忍法秘話」	全5巻
手塚治虫「陽だまりの樹」	全7巻
手塚治虫「きりひと讃歌」	全2巻
手塚治虫「M(ムウ)W」	全2巻
手塚治虫「手塚治虫初期傑作集」	1〜8巻
ちばてつや「のたり松太郎」	1〜8巻
松本零士「銀河鉄道999」	全10巻
松本零士「ザ・コクピット」	全5巻
松本零士「1000年女王」	全3巻
松本零士「四次元世界」	全1巻
松本零士「ワダチ」	全1巻
古谷三敏「寄席芸人伝」	1〜2巻
つげ義春「ねじ式・紅い花」	全1巻
つげ義春「ヨシボーの犯罪」	全1巻
横山光輝「伊賀の影丸」	1〜4巻
藤子・F・不二雄「藤子・F・不二雄異色短編集」	全3巻
楳図かずお「おろち」	全3巻
小池一夫 平野仁「青春の尻尾」	全4巻
村上もとか「岳人(クライマー)列伝」	全1巻
石ノ森章太郎「佐武と市捕物控」	1〜4巻
上村一夫「凍鶴」	全1巻
一ノ関圭「一ノ関圭作品集」	全2巻
さいとう・たかを「ゴルゴ13」	1〜6巻
林　静一「赤色エレジー」	全1巻
萩尾望都「Marginal(マージナル)」	全3巻
萩尾望都「トーマの心臓」	全1巻
萩尾望都「ポーの一族」	全3巻
大島弓子「大島弓子短編集」	全2巻
竹宮惠子「風と木の詩」	全9巻
竹宮惠子「イズアローン伝説」	全6巻
吉田秋生「カリフォルニア物語」	全4巻
吉田秋生「吉祥天女」	上・下巻